



瑜伽行思想研究会

梵藏漢對校

E-TEXT

*ABHIDHARMASAMUCCAYA*

ཚེས་མདོན་པ་ཀུན་ལས་བརྒྱས་པ་

『大乘阿毘達磨集論』

AND

*ABHIDHARMASAMUCCAYABHĀṢYA*

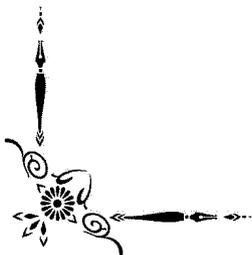
ཚེས་མདོན་པ་ཀུན་ལས་བརྒྱས་པའི་རྣམ་པར་བཤད་པ་

『大乘阿毘達磨雜集論』

Volume I



2003



**Shiga, Japan: Private Issue.  
September 11, 2003.**

All graphic images are copyrighted  
by Reiko Kusumoto.

(別紙様式11)

# インド大乘仏教瑜伽行唯識学派における 聖典継承と教義解釈の研究

課題番号：13610019  
平成13年度～平成14年度  
科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)

## 研 究 成 果 報 告 書



研究代表者 早 島 理  
(滋賀医科大学・医学部 教授)

2003年5月



## まえがき

インド大乘仏教瑜伽行唯識思想は、弥勒 Maitreya (350-430) 無著 Asaṅga (395-470) 世親 Vasubandhu (400-480) の系譜のうちに確立されたと云われる。この三者のうち、無著には、彼の主著でもあり瑜伽行唯識の教理を大成した『攝大乘論』をはじめ、『顯揚聖教論』、『大乘阿毘達磨集論』、『金剛般若經論』、『六門教授習定論』、『順中論』など多くの著作が帰せられている。

これらの著作のうち、『瑜伽師地論』の要義に基づいて著したとされるのが『顯揚聖教論』、『大乘阿毘達磨集論』である。両論書には密接な関係があり、『瑜伽師地論』に依拠しつつ、瑜伽行唯識思想形成に大きな役割を果たしたと考えられている。この両論書のうち、漢訳玄奘訳一本のみに残存する『顯揚聖教論』に比して、『大乘阿毘達磨集論』は断片ながら梵文が伝わり、蔵訳、漢訳も備わっている。さらに玄奘訳に「安慧菩薩糞」と伝わる注釈書『大乘阿毘達磨雜集論』があり、この論書は幸いなことに、梵・蔵・漢の三本が完備している。このように、『大乘阿毘達磨集論』は文献資料の視点からも、瑜伽行唯識思想研究には欠かせない重要な論書といえよう。

この『大乘阿毘達磨集論』研究には、したがって、個々の当該箇所につき、『大乘阿毘達磨集論』と『大乘阿毘達磨雜集論』両者の梵・蔵・漢テキストをそろえて精読する必要がある。本「E(lectric)-TEXT」は、『大乘阿毘達磨集論』・『大乘阿毘達磨雜集論』研究の便宜のために、左右見開きに『大乘阿毘達磨集論』と『大乘阿毘達磨雜集論』の当該セクションを対比させ、それぞれに梵・蔵・漢の三本対照テキストを作成し提示することを意図したものである。つけくわえるにこの企画は本来、瑜伽行思想研究会の責任で漢訳『瑜伽師地論』・『阿毘達磨大毘婆沙論』がホームページからすでに公開されているように (<http://www.shiga-med.ac.jp/public/yugagyoo/>)、如上の形式での電子テキスト(E-TEXT)を作成し、ホームページから公開することを意図して始められたものである。

本「E-TEXT」は、後にも記すように科学研究費研究成果報告書として2003年5月に提出した暫定版に、修正を施したものである。ただ今回は諸般の理由で、暫定版と同じように「*LAKṢAṆASAMUCCAYA Mtshan nyid kun las btus pa* 本事分」に限定して試験的に公開することになった。この版は瑜伽行唯識思想研究者に配布する予定である。必ずしも校正が充分とは言えない『大乘阿毘達磨集論』・『大乘阿毘達磨雜集論』の蔵訳電子データにおける入力ミスのご指摘をはじめとして、本書の形式、その他のデータ入力ミスなどについて、ご指摘ご批判をいただければ幸いである。なお近い将来に、今回の「Volume I 本事分」に引き続いて「決擇分」(2巻に分冊)の「E-TEXT」を作成・刊行し、さらに両者の電子テキストをホームページから公開することを約束しておきたい。

この「E-TEXT」作成にあたり、コンピューターによる具体的な編集作業はすべて楠本信道氏（博士（文学）、広島大学大学院修了）のお手を煩わせた。彼の協力なくしてこの企画は成就しなかったであろう。心から感謝の意を表するものである。

また *Abhidharma-Samuccaya-Bhāṣya* (Tatia本, 梵文『大乘阿毘達磨雜集論』) の電子データは佐久間秀範博士（筑波大学教授）からご提供をいただいた。さらに *Abhidharma-Samuccaya* (Gokhale本, Pradhan本, 梵文『大乘阿毘達磨集論』) の梵文入力は上記楠本氏、さらに櫻井良彦（浄土真宗本願寺派教学伝道研究センター研究員）・上野康弘（京都大学大学院）・松島央龍（龍谷大学大学院）・金才権（龍谷大学大学院）の諸君のご協力によるものである。ともにここに明記して深謝の意を表するものである。

なお梵文断片のGokhale本に対し、Pradhan本は周知のように還元サンスクリットである。ここに収めることに疑問を抱かれるむきもあろうかと思われるが、参考として提示した。

さらに、『大乘阿毘達磨集論』・『大乘阿毘達磨雜集論』蔵訳電子データ入手はカワチェンの Kelsang Tahuwa 氏に依頼した。また両論書の漢訳電子データと脚注電子データは、それぞれ『大正新脩大藏經』テキストデータベース SAT と瑜伽行思想研究会蔵のものを使用した。関係各位に深くお礼を申し上げる次第である。

ところで『大乘阿毘達磨集論』と『大乘阿毘達磨雜集論』両者の梵・蔵・漢を対比させたテキストを作成するというアイデアは、早くに藤田祥道氏（龍谷大学非常勤講師）、毛利俊英氏（北九州市小倉西宗寺住職）、松下了宗氏（高松市教法寺）などの龍谷大学仏教学研究グループが発案し、すでに十数年前に、コピーした資料を切り張りする形式ではあるが、私家版として作成している。監修者早島もその私家版の恩恵に与った一人である。今回この「E-TEXT」作成に際し、この私家版は多いに参考にさせていただいた。ここに明記して関係者に謝意を表したい。

最後に、表紙デザイン・ロゴマーク  ・トレードマーク  は、すべて楠本礼子氏 (<http://www5.ocn.ne.jp/~reikusu/>) が本書のために創作してくれたオリジナルである。ここに記して感恩の意を表するものである。

なお、この「E-TEXT」作成は、平成13年~14年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) (2) 「インド大乘仏教瑜伽行唯識学派における聖典継承と教義解釈の研究」(課題番号: 13610019, 研究代表者 早島 理) の研究成果の一端としてなされたものである。末尾ながらここに明記し、関係各位に深謝の意を表する次第である。

2003年9月11日

滋賀医科大学 医学部 教授

早 島 理

# 目次

## Volume I

まえがき .....	i
目次 .....	iii
Abbreviations and Literature.....	iv
監修・編集・データ提供及び入力.....	v
凡例 .....	vi
梵蔵漢対校 E-TEXT.....	1
Preface.....	5
Chapter I..... <i>LAKṢAṆASAMUCCAYA</i> ..... (§1).....	13

## Volume II

目次.....	i
梵蔵漢対校 E-TEXT.....	323
Chapter II..... <i>SATYAVINIŚCAYA</i> ..... (§53).....	327

## Volume III

目次.....	i
梵蔵漢対校 E-TEXT.....	599
Chapter III..... <i>DHARMAVINIŚCAYA</i> ..... (§112).....	603
Chapter IV..... <i>PRĀPTIVINIŚCAYA</i> ..... (§139).....	709
Chapter V..... <i>SĀMKATHYAVINIŚCAYA</i> ..... (§198).....	857

## Abbreviations and Literature

### Abbreviations

- AS *Abhidharmasamuccaya* (Asaṅga).  
(a): V. V. Gokhale, ed. *Fragments from the Abhidharmasamuccaya of Asaṅga*. JRAS, Bombay Branch, New Series 23, 1947, pp.13-38.  
(b): P. Pradhan, ed. *Abhidharma Samuccaya of Asaṅga*. Visva-Bharati Series 12. Santiniketan 1950.
- AS(Tib) *Abhidharmasamuccaya* (Asaṅga) (Tib. *Chos mngon pa kun las btus pa*): D 4049, P 5550.
- ASBh *Abhidharmasamuccaya-bhāṣya*.  
Nathmal Tatia, ed. *Abhidharmasamuccaya-Bhāṣyam*. Tibetan Sanskrit Works Series 17. Patna: K. P. Jayaswal Research Institute, 1976.
- ASBh(Tib) *Abhidharmasamuccaya-bhāṣya* (Jinaputra) (Tib. *Chos mngon pa kun las btus pa'i bshad pa*): D 4053, P 5554.
- ASVy *Abhidharmasamuccaya-vyākhyā*. See ASVy(Tib) and 雜集論.
- ASVy(Tib) *Abhidharmasamuccaya-vyākhyā* (Jinaputra) (Tib. *Chos mngon pa kun las btus pa'i rnam par bshad pa*): D 4054, P 5555.
- Ch 大正新脩大藏經 .
- D Derge edition of Tibetan Tripiṭaka: *SDE DGE TIBETAN TRIPITAKA BSTAN HGYUR*, preserved at the Faculty of Letters, University of Tokyo. TSHAD MA. 20 vols. Tokyo, 1981-84.
- Go, Gokhale See AS (a).
- P Peking edition of Tibetan Tripiṭaka: D. T. Suzuki, ed. *The Tibetan Tripiṭaka, Peking edition*. Reprinted under the supervision of the Otani University, Kyoto. 168 vols. Tokyo and Kyoto, 1955-1961.
- Pr, Pradhan See AS (b).
- T 大正新脩大藏經 .
- Ta, Tatia See ASBh.
- 『集論』 無著菩薩造 『大乘阿毘達磨集論』, tr. 玄奘: T31 (No. 1605).
- 『雜集論』 安慧菩薩糝 『大乘阿毘達磨雜集論』, tr. 玄奘: T31 (No. 1606).

### Literature

- 佐久間秀範  
1996 『タティア校訂版 『阿毘達磨雜集論』 梵語索引およびコリゲンダ』 山喜房佛書林 .

## 監修・編集・データ提供及び入力

監修	早島理（滋賀医科大学教授）
編集	楠本信道（広島大学大学院修了）
データ提供及び入力	
AS (a) (Gokhale本)	楠本信道
AS (b) (Pradhan本)	櫻井良彦（浄土真宗本願寺派教学伝道研究センター 研究員）・ 上野康弘（京都大学大学院）・松島央龍（龍谷大学大学院）・ 金才権（龍谷大学大学院）・楠本信道
ASBh (Tatia本)	佐久間秀範（筑波大学教授）
AS(Tib) ASVy(Tib)	早島がカワチェン の Kelsang Tahuwa 氏を通じてチベット人 に入力を依頼・入手
『集論』・『雑集論』	『大正新脩大藏經』テキストデータベース(SAT) <a href="http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~sat/">http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~sat/</a>
『集論』・『雑集論』脚注	瑜伽行思想研究会

## 凡 例

- 1) 左ページには、AS(a)・AS(b)・AS(Tib)・『集論』を対校させ、右ページには、ASBh・ASVy(Tib)・『雑集論』を対校させる。左右のページも可能な限り対校させる。
- 2) 段落わけは、ASBhのTatia本のセクション番号に基本的に従い、文脈によっては任意に分ける。議論が続く場合は、セクション番号の後に、‘(1)’、‘(2)’と順に番号を付ける。AS・蔵訳・漢訳についても、同じ番号を付ける。
- 3) AS (a)とAS (b)の異読は脚注で示す。‘/’、‘//’及び‘,’については異読に数えない。また、samdhiはそれぞれのテキストの表記に従い、異読に数えない。また、{sam<sup>°</sup>}{saṃ<sup>°</sup>}{san<sup>°</sup>}等の鼻音等の変化も異読に数えない。
- 4) Pradhan本上の脚注番号については、その番号に‘+’と‘( )’を付加するが、その内容については脚注には入力しない。
- 5) E-TEXT上での単語の検索を容易するために、単語の途中に入っている、ページ数・その他の記号類については、単語が格変化するところまで右へ移動させる。複合語がかなり長い場合には左へ移動させる。
- 6) 蔵訳は、デルゲ版をもとに入力している。異読については、セクションを分節する際に、編集者が気づいた箇所のみ脚注で挙げている。
- 7) 漢訳は、SATと瑜伽行思想研究会の両データベースを比較させた上で作成している。漢訳の脚注は、大正新脩大蔵經の脚注を採用する瑜伽行思想研究会のデータを用いている。
- 8) 漢訳本論の外字については、文字鏡研究会の文字鏡フォントを使って表示させているが (<http://www.mojikyo.org/>)、漢訳脚注においてShift-JISで表示できない外字及び記号については、‘ ’で代用する。

梵藏漢對校  
E-TEXT



E-TEXT

PART

I

*ABHIDHARMASAMUCCAYA*

ཚེས་མདོན་པ་ཀུན་ལས་བརྒྱས་པ་

『大乘阿毘達磨集論』

E-TEXT

PART

II

*ABHIDHARMASAMUCCAYABHĀṢYA*

ཚེས་མདོན་པ་ཀུན་ལས་བརྒྱས་པའི་རྣམ་པར་བཤད་པ་

『大乘阿毘達磨雜集論』





Preface

*Preface*  
*Abhidharmasamuccaya §0*

[AS §0: Gokhale 15,18-19]

p.15,18 Abhidharmasamuccaya

p.15,19 (Lacuna: Skt. 1-2; Tib. 47a6-50b7; Ch 663a1-664a3)

[AS §0: Pradhan]

[AS(Tib) §0: D 44b1; P 51a3]

rgya gar skad du / abhidharmasamuccaya<sup>1</sup> / bod skad du / chos mngon pa kun las btus pa / bam po dang po // 'jam dpal gzhon nur gyur pa la phyag 'tshal lo //

[集論 §0: T31.663a02-07]

No.1605 [cf. No.1606]

大乘阿毘達磨集論卷第一

無著菩薩造

<sup>2</sup>三藏法師玄奘奉 詔譯

本事分中三法品第<sup>3</sup>一

---

<sup>1</sup> D and P: abhidharmasamucchaya.

<sup>2</sup> (唐) + 三藏(明) \*

<sup>3</sup> 一 + (之二) (明)

Preface  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §0

[ASBh §0: Tatia 1,1]

p.1,1

[Ta 1] abhidharmasamuccayabhāṣyam

[ASVy(Tib) §0: D 117a5-117b4; P 143b2-144a2]

// rgya gar skad du abhidharmasamuccayavyākhyā<sup>4</sup> nāma / bod skad du / mngon pa chos kun nas btus pa'i rnam par bshad pa zhes bya ba / 'phags pa gsung gi dbang po la phyag 'tshal lo // rtogs pa nges gnas dri med don // gang spyod rgya mtsho'i pha rol gshegs // chos kun dbang phyug bsam mi khyab // 'dul ba'i thabs kyis 'dren pa can / gzhal med legs gyur yon tan ni // rang dang gzhan don gnyis la brten // sangs rgyas chos dang 'phags pa yi // tshogs la'ang de phyir phyag 'tshal lo // mdo sde rnam par bshad pa'i tshig / bstan bcos gang gis yang dag bsdu // rnam par dbye ba rnams kyang ste // rtogs par dka' rnams yang dag dgrol // [D 117b] tshigs su bead pa 'di dag gis ni dkon mchog gsum gyi yon tan rgya cher bshad pa rnams nye bar bsdu te phyag mdzad pa dang / mdo sde'i rnam par bshad pa byed pa por mdzad de / ji ltar 'byung ba dang gang mdzad pa rnams bstan bcos gzhan gyi gnas de rnams kun nas btus pa'i phyir ro // de la sangs rgyas bcom ldan 'das kyis mdo'i sde dang / dbyangs kyis bsnyad pa'i sde dang / lung du bstan pa'i sde la sog pa'i chos bstan pa kun la brten pa dang / slob dpon rang gis chos kyi de kho na nyid mngon par rtogs pa bzhin de'i stobs kyis de ma thag par bstod pa la rab tu zhugs te / de'i rnam pa 'dir bstan pas 'phags pa slob pa'i sde la gnas shing phyir mi ldog pa'i chos kyi dbyings kyi gnas nyid kyi rgyu mthun [P 144a] pa'i phyir ro // mdo sde'i rnam bshad mdzad pa dag gis bcom ldan 'das kyi che ba'i yon tan gyi chos gcig bstan na'ang / blo chung ba rnams thos pa dang / bsam pa dang / bsgom pa'i rtogs pa la brten nas rjes su 'jug cing bstan bcos la spyod pa'i phyir ro //

[雜集論 §0: T31.694b12-694c03]

No. 1606 [cf. No. 1605]

<sup>5</sup>大乘阿毘達磨雜集論卷第一

<sup>6</sup>安慧菩薩糝

<sup>7</sup>大唐三藏法師玄奘奉 詔譯

<sup>8</sup>本事分中三法品第一<sup>9</sup>之一

諸會眞淨究竟理	超聖行海 <sup>10</sup> 昇彼岸
證得一切法自在	善 <sup>11</sup> 權化導不思議
無量希有勝功德	自他並利所依止
敬禮如是大覺尊	無等妙法諸聖衆
敬禮開演本論師	親承聖旨分別者
由悟契經及解釋	爰發正勤乃參綜

今此頌中無倒稱讚最勝功德敬申頂禮。以供養三寶及造此論經釋二師隨其所應所以者何。此論所依及能起故。佛薄伽梵是契經等一切教法平等所依。無師自悟諸法實性。一分教起所依處故。從此無間聖弟子衆[Ch 694c]依法隨學法爲依者。法界所流故。經釋二師亦契如來所說正法。一分無倒聞思修行。爲依止故隨而造論。

<sup>4</sup> D and P: abhidharmasamucchayavyākhyā.

<sup>5</sup> ((大乘· · · 第一)) 十二字 = ((卷一)) 二字 (聖)

<sup>6</sup> [安慧· · · 譯] 十六字 - (聖)

<sup>7</sup> [大] - (明) \*

<sup>8</sup> (大乘阿毘達磨雜集論) + 本事分 (聖)

<sup>9</sup> [之一] - (宋) (元) (宮) (聖)

<sup>10</sup> 昇 = 升

<sup>11</sup> 權 = 歡 (聖)

*Preface*  
*Abhidharmasamuccaya §0(1)*

[AS §0(1): Gokhale ]

[AS §0(1): Pradhan ]

[AS(Tib) §0(1)]

*Preface*  
*Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā ṣ0(1)*

[ASBh ṣ0(1): Tatia ]

[ASVy(Tib) ṣ0(1): D 117b4-118a; P 144a2-144b3]

de la dang po'i tshigs su bcad pa gnyis po de dag gis ni bcom ldan 'das yang dag par rdzogs pa'i sangs rgyas kyi don drug yongs su bstan te / rang gi ngo bo dang / rgyu dang / 'bras bu dang / phrin las dang / sbyor ba dang / 'jug pa mams so // de la re zhig / rtogs pa nges gnas dri med don // zhes bya ba 'dis ni rang gi ngo bo yongs su bstan te / sangs rgyas bcom ldan 'das kyi chos kyi sku nram pa thams cad gnas pa la yongs su zhugs pa'i mtshan nyid kyi phyir ro // gang spyod rgya mtsho'i pha rol gshegs // zhes pa 'dis ni rgyu'i don te / byang chub sems dpa' rnam kyis rab tu dga' ba la sogs pa'i sa bcu'i spyod pa nram pa thams cad pa mtha' yas pa dus bskal pa grangs med par yongs su goms pa'i rgyus nges par 'gyur ba'i phyir ro // chos kun dbang phyug ces pa 'dis ni 'bras bu'i don te / nyon mongs pa dang / shes bya'i sgrub pa bag chags dang bcas pa mtha' yas pa bcom pa'i phyir dang yon tan bla na med par gyur ba'i rdzogs pa'i byang chub kyi 'bras bu thob pa na chos kun la dbang sgyur ba'i [D 118a] phyir ro // bsam mi khyab / 'dul ba'i thabs kyis 'dren pa can // zhes pa 'dis ni phrin las kyi don te / kun shes pas 'das pa'i yul kun brjod pa dang / rdzu 'phrul dang / rjes su bstan pa'i cho 'phrul la sogs pa dpag tu med pa 'dul ba'i thabs kyis btul te / sems can gyi sems kyi khams yongs su dag par 'dul ba'i phyir ro // gzhal med legs gyur yon tan ni // zhes pa 'dis ni sbyor ba'i don te / rtog pa dang dpyod pa las shin tu [P 144b] 'das pa yongs su phan pa'i nram pa ma lus pas dka' ba spyod pa'i nges par 'byung ba dang / bla na med pa'i snying rje chen po dang / stobs dang / mi 'jigs pa la sogs pa'i chos dkon mchog la sbyor ba'i phyir ro // rang dang gzhan don gnyis la brten // zhes pa 'dis ni 'jug pa'i don te / rang dang gzhan gyi don gnyis la gnas pa'i mtshan nyid kyi phyir dang / longs spyod rdzogs pa'i sku dang / sprul pa'i sku dang / ngo bo nyid kyi de bzhin gshegs pa'i sku nrams ji ltar rigs par rang don gtso che ba la brten pa dang / mtha' yas pa'i gzhan don gtso che ba nyid la brten pa'o // brten zhes pa ni sku ston zhes pa'i don te /<sup>12</sup>

[雜集論 ṣ0(1): T31.694c03-19]

初二頌顯示如來應正等覺勝德六義。所謂自性因果業相應差別義。諸會真淨究竟理者。顯自性義謂諸佛法身以一切種轉依真如為體性故。超聖行海昇彼<sup>13</sup>岸者。顯因義。謂佛菩提從一切種極喜等十地聖行無量無數大劫。圓滿修習因所生故。證得一切法自在者。顯果義。謂永斷一切煩惱障所知障及彼餘習。證得無邊希有功德無上三菩提果。於一切法自在轉故。善權化導不思議者。顯業義。謂以超非一切智境。神通記說教誡變現等無量調伏方便。導引可化有情令心界清淨故。無量希有勝功德者。顯相應義。謂超尋思數量。無邊種種難行苦行。所生無上大悲力無畏等功德法實相應故。自他並利所依止者。顯差別義。謂如來受用變化自性身。<sup>14</sup>如其次第自他並利所依<sup>15</sup>故。所依者。身義體義。無差別也。

<sup>12</sup> P: to //.

<sup>13</sup> 岸 = 升 (聖)

<sup>14</sup> 如 = 知 (宮)

<sup>15</sup> (止) + 故 (聖)

*Preface*  
*Abhidharmasamuccaya §0(2)*

[AS §0(2): Gokhale ]

[AS §0(2): Pradhan ]

[AS(Tib) §0(2)]

*Preface*  
*Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §0(2)*

[ASBh §0(2): Tatia ]

[ASVy(Tib) §0(2): D 118a-118b1; P 144b3-145a1]

gn̄yis la brten zhes pa ni gtso cher spyad par bya ba ste / longs spyod rdzogs pa'i sku ni sangs rgyas mams kyi rang don gtso che ba ste / 'khor gyi dkyil 'khor chen po mams su nges yongs su dgyes par zab mo'i chos kyi longs spyod so sor rjes su myong ba'i phyir ro / gzhan don gtso che ba des phyogs bcu'i 'jig rten gyi khams thams cad du so so ji lta bar rang nyid bzo'i las la sogs pa'i sprul pa mams kyis sems can gyi bya ba kun bsgrub pa'i phyir ro // ngo bo nyid kyi sku de bzhin gshegs pa kun dang thun mong pa shin tu phra ba'i sgrib pa thams cad de bzhin nyid kyi gn̄as su yongs su sgyur ba'i mtshan nyid chos kyi sku rang don gtso che ba mthob pa thob par byed pa zhes bya ba la sogs pa de bzhin gshegs pa'i sku'i dbye ba mam pa gsum la 'jug par byed do // bstod pa 'di nyid kyis chos dang / dge 'dun gyi yon tan kyang bshad par rig par bya ste / rang gi ngo bo dang / rgyu dang / 'bras bu'i [D 118b] don bzung nas chos dkon mchog gi'o // de slob pa dang / mi slob pa'i nges par 'byung ba'i phyir dge 'dun dkon mchog gi'o // slob ma mams kyis rtogs sla ba'i don du bstan [P 145a] bcos kyi lus rnam par gzhas pa'ang mdzad de /

[雜集論 §0(2): T31.694c19-29]

自他並利所依者。就勝而說。謂受用身自利最勝處大會中。能受第一廣大甚深法聖財故。

變化身者。他利最勝遍於十方一切世界。能起無間。猶工巧業等諸變化事。建立有情所應作故。

自性身者。謂諸善逝共有法身最極微細一切障轉依真如為體故。於自他利並為最勝。由證此身得餘身故。此三佛身是差別義。

當知此中亦讚法僧功德。法寶者。自<sup>16</sup>性因果等義所攝故。僧寶者。隨此修學所生故。庶令學者無諸怖畏。方造論端建茲體性

---

<sup>16</sup> 性 = 體 (宮)



Preface



Chapter I

*LAKṢAṆASAMUCCAYA*

本事分

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §1

[AS §1: Gokhale ]

[AS §1: Pradhan 1,1-13]

- p.1,1 [Pr 1] namo buddhāya  
p.1,2 [Ch 1b] [athā<sup>(1+)</sup> mūlavastuni tridharmaparicchedaḥ prathamah /]  
p.1,3 [T. 47b] tridharmaḥ saṃgrahaḥ saṃprayogo 'nvayaś ca lakṣaṇe /  
p.1,4 viniścaye satyadharmāu prāptiḥ sām̐kathyam eva ca //  
p.1,5 kati kasmād upādānaṃ vyavasthānaṃ ca lakṣaṇam /  
p.1,6 anukramārthadṛṣṭāntabhedā jñeyāḥ samuccaye //<sup>(2+)</sup>  
p.1,7 skandhā dhātava āyatanāni ca kati / skandhāḥ pañca / rūpaskandho vedanāskandhaḥ  
p.1,8 saṃjñāskandhaḥ saṃskāraskandho vijñānaskandhaś ca // dhātavo 'ṣṭādaśa / cakṣurdhātū  
p.1,9 rūpadhātus cakṣurvijñānadhātuh śrotradhātuh śabdadhātuh śrotravijñānadhātur ghrāṇadhātur  
gandhadhātur  
p.1,10 ghrāṇavijñānadhātur jihvādhātū rasadhātur jihvāvijñānadhātuh kāyadhātuh spraṣṭavyadhātuh  
p.1,11 kāyavijñānadhātur manodhātur dharmadhātur manovijñānadhātus ca // āyatanāni dvādaśa /  
cakṣurāyatanam  
p.1,12 rūpāyatanam śrotrāyatanam śabdāyatanam ghrāṇāyatanam gandhāyatanam jihvāyatanam rasāyatanam  
p.1,13 kāyāyatanam spraṣṭavyāyatanam manaāyatanam dharmāyatanam ca //

[AS(Tib) §1: D 44b1-7; P 51a3-51b3]

sdom ni / du dang ci phyir nyer len dang // mtshan nyid de yi nram gzhaḡ dang // go rims don dang dpe dbye dang // bsdus la sogs  
pa mnam pa bzhi // bsdus dang mtshungs ldan ldan pa dang // mnam par nges pa bzhir dbye ste // bden dang chos 'thob 'bel gdam ni //  
mnam par nges pa'i dbye ba ste // kun las btus pa'i spyi sdom yin // phung po mams ni du / khams rnams ni du / skye mched rnams ni  
du zhe na / phung po rnams ni lnga ste / gzugs kyi phung po dang / tshor ba'i phung po dang / 'du shes kyi phung po dang / 'du byed  
kyi phung po dang / mnam par shes pa'i phung po'o // khams rnams ni bco<sup>17</sup> brgyad de / mig gi khams dang / gzugs kyi khams dang /  
mig gi mnam par shes pa'i khams dang / rna ba'i khams dang / sgra'i khams dang / rna ba'i mnam par shes pa'i khams dang / sna'i  
khams dang / dri'i khams dang / sna'i mnam par shes pa'i khams dang / lce'i khams dang / ro'i khams dang / lce'i mnam par shes pa'i  
khams dang / lus kyi khams dang / reg bya'i khams dang / lus kyi mnam par [P 51b] shes pa'i khams dang / yid kyi khams dang / chos  
kyi khams dang / yid kyi mnam par shes pa'i khams so // skye mched rnams ni bcu gnyis te / mig gi skye mched dang / gzugs kyi skye  
mched dang / rna ba'i skye mched dang / sgra'i skye mched dang / sna'i skye mched dang / dri'i skye mched dang / lce'i skye mched  
dang / ro'i skye mched dang / lus kyi skye mched dang / reg bya'i skye mched dang / yid kyi skye mched dang / chos kyi skye mched  
do //

[集論 §1: T31.663a08-17]

本事與決擇	是各有四種
三法攝應成	諦法得論議
幾何因取相	建立與次第
義喻廣分別	集總頌應知

蘊界處各有幾。蘊有五。謂色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊。界有十八。謂眼界色界眼識界。耳界聲界耳識界。鼻界香界  
鼻識界。舌界味界舌識界。身界觸界身識界。意界法界意識界。處有十二。謂眼處色。處耳處聲處。鼻處香處。舌  
處味處。身處觸處。意處法處

<sup>17</sup> D: btsva.

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §1

[ASBh §1: Tatia 1,2-13]

- p.1,2 Chapter I [I (1)]  
p.1,3 lakṣaṇasamuccayo nāma prathamah samuccayaḥ  
p.1,4 [Ms. 1B] oṃ namo ratnatrayāya  
p.1,5 (§1) §1. [T. 1B] [Ch 695A] kim artham idaṃ sāstram ārabdham skandhādīn  
p.1,6 (§1) ārabhya kati kasmād ity evamādiṣu cintāsthāneṣu [T. 2A] kauśalyakaraṇārtham  
p.1,7 (§1) tathā hy anena kauśalyena dvidividho 'nuśaṃso labhyate manaskārānuśaṃsaḥ  
sāṃkathyavinīscayānuśaṃsāś  
p.1,8 (§1) ca tatra (i) manaskārānuśaṃsaḥ śamathānukūlyād vipaśyanāvṛddhyānukūlyāc ca  
p.1,9 (§1) veditavyaḥ śamathānukūlyam punar eṣu sthāneṣu kṛtakauśalasya niḥsaṃdehatayā yatheṣṭam  
p.1,10 (§1) ālambane aikāgryayogena sukhaṃ cittasamādhānataḥ [T. 2B] vipaśyanāvṛddhyānukūlyam  
p.1,11 (§1) bahubhiḥ prakāraiḥ jñeyaparīkṣayā prajñāprakarṣagamataḥ (ii)  
sāṃkathyavinīscayānuśaṃsa  
p.1,12 (§1) eṣu sthāneṣu kuśalasya [Ms. 2A] sarvaprāśnavyākaraṇaśaktiyogād vaiśāradyapratilambhato  
p.1,13 (§1) draṣṭavyaḥ

[ASVy(Tib) §1: D 118b1-119a3; P 145a1-145b4]

du dang ci'i phyir nyer len rnam // mtshan nyid de yi gnas rnam te // go rims don dang dper dbye dang // bsdu pa la sogs bzhi po ni // bsdu pas sbyor dang ldan de nyid // rnam par nges dang dbye ba bzhi // bden dang chos thob yang dag gnam // rnam par nges pa'i dbye ba ste // kun nas btus pa'i spyi sdom mo // ci'i phyir bstan bcos 'di brtsams she na // phung po la sogs pa las brtsams te / du dang ci'i phyir zhes bya ba la sogs pa bsam pa'i gnas rnam la mkhas par bya ba'i phyir brtsams so // 'di ltar mkhas pa 'dis ni phan yon rnam pa gnyis thob ste / yid la byed pa'i phan yon dang / yang dag pa'i gnam gnam la 'bebs pa'i phan yon no // de la yid la byed pa'i phan yon ni / zhi gnas kyi rjes su mthun pa dang / lhag mthong 'phel ba'i rjes su mthun par rig par bya'o // zhi gnas kyi rjes su mthun pa ni / gnas 'di dag la'ang mkhas par byas pa na / the tshom med pas ji ltar dmigs pa la sems rtse gcig pa'i tshul gyis bde bar sems mnyam par 'jog pa'i phyir ro // lhag mthong 'phel ba'i rjes su mthun pa ni / rnam pa mang por shes bya yongs su brtags pas / shes rab khyad zhugs par 'gro ba'i phyir ro // yang dag pa'i gnam gnam la 'bebs pa'i phan yon ni / gnas 'di dag la mkhas pas 'dri ba thams cad lung ston pa'i mthu dang ldan pas mi 'jigs pa thob par blta'o // phung po rnam ni du / khams rnam ni du / skye mched rnam ni du / phung po rnam ni lga ste / gzugs kyi phung po dang / tshor ba'i phung po dang / 'du shes kyi phung po dang / 'du byed kyi phung po dang / rnam par shes pa'i phung po'o // khams rnam ni bco bryad de / mig gi [P 145b] khams dang / gzugs kyi khams dang / mig gi rnam par shes pa'i khams dang / rna ba'i khams dang / sgra'i khams dang / rna ba'i rnam par shes [D 119a] pa'i khams dang / sna'i khams dang / dri'i khams dang / sna'i rnam par shes pa'i khams dang / lce'i khams dang / ro'i khams dang / lce'i rnam par shes pa'i khams dang / lus kyi khams dang / reg bya'i khams dang / lus kyi rnam par shes pa'i khams dang / yid kyi khams dang / chos kyi khams dang / yid kyi rnam par shes pa'i khams so // skye mched rnam ni bcu gnyis te / mig gi skye mched dang / gzugs kyi skye mched dang / rna ba'i skye mched dang / sgra'i skye mched dang / sna'i skye mched dang / dri'i skye mched dang / lce'i skye mched dang / ro'i skye mched dang / lus kyi skye mched dang / reg bya'i skye mched dang / yid kyi skye mched dang / chos kyi skye mched do //

[雜集論 §1: T31.695a01-22]

[Ch 695a] 本事與<sup>18</sup>決擇 是各有四種

三法攝應成 諦法得論議  
幾何因取相 建立與次第  
義喻廣分別 集總頌應知

問何故論端先辯蘊等。答欲令學者於幾何因等諸思擇處得善巧故。所以者何。由此善巧能得二種稱讚利益。所謂作意稱讚利益。

論議 \* 決擇稱讚利益。作意稱讚利益者。謂善順增長奢摩他毘鉢舍那故。善順增長奢摩他者。謂於如是諸思擇處已作善巧。得無疑故。隨其所樂於一境界正觀現前。心易定故。善順增長毘鉢舍那者。以無量門觀察一切所知境界。速令正慧究竟滿故。論議決擇稱讚利益者。由於如是諸思擇處善通達故。成就一切問答自在。於諸異論得無所畏

問蘊界處各有幾種。答蘊有五種。謂色蘊受蘊想蘊行蘊識蘊。界有十八。謂眼界色界眼識界。耳界聲界耳識界。鼻界香界鼻識界。舌界味界舌識界。身界觸界身識界。意界法界意識界。處有十二。謂眼處·色處·耳處·聲處·鼻處·香處·舌處·味處·身處·觸處·意處·法處

<sup>18</sup> 決 = 快 (聖) \*

*Chapter 1*  
*Abhidharmasamuccaya §2A-2C*

[AS §2A-2C: Gokhale ]

[AS §2A-2C: Pradhan 1,14-2,4]

- p.1,14 kim upādāya skandhāḥ pañcaiva / pañcākārātmavastūdbhāvanatām upādāya /  
saparigrahadehātmavastu<sup>(3+)</sup>
- p.1,15 upabhogātmavastu abhilāpātmavastu [T. 48a] sarvadharmādharmābhisaṃskārātmavastu [Pr 2]
- p.2,1 tadāśrayātmavastu<sup>19(4+)</sup> copādāya // kim upādāya dhātavo<sup>20</sup> 'ṣṭādaśaiva /
- p.2,2 dvābhyāṃ dehaparigrahābhyāṃ atītavarttamānaṣaḍākāropabhogadhāraṇatām upādāya // kim  
upādāyāyatanāni
- p.2,3 dvādaśaiva / dvābhyāṃ dehaparigrahābhyāṃ anāgataṣaḍākāropabhogāyadvāratām
- p.2,4 upādāya //

[AS(Tib) §2A-2C: D 44b7-45a2; P 51b3-6]

ci'i phyir phung po rnam lnga kho na zhe na / bdag gi gzhi rnam pa lnga brjod pa'i phyir te / bdag gi gzhi lus yongs su gzung ba dang bcas pa brjod pa dang / bdag gi gzhi longs [D 45a] spyod brjod pa dang // bdag gi gzhi tha snyad brjod pa dang // bdag gi gzhi chos dang chos ma yin pa mngon par 'du byed pa brjod pa dang // bdag gi gzhi de dag gi gnas brjod pa'i phyir ro // ci'i phyir khams rnam bco<sup>21</sup> brgyad kho na zhe na // lus dang yongs su gzung ba gnyis kyis / 'das pa dang da ltar gyi nye bar spyod pa rnam pa drug 'dzin pa'i phyir ro // ci'i phyir skye mched rnam bcu gnyis kho na zhe na // lus dang yongs su gzung ba gnyis nyid / ma 'ongs pa'i nye bar spyod pa rnam pa drug skye ba'i sgo'i phyir ro //

[集論 §2A-2C: T31.663a18-23]

何因蘊唯有五。為顯五種我事故。謂身具我事。受用我事。言說我事。造作一切法非法我事。彼所依止我自體事。  
何因<sup>22</sup>界唯十八。由身具等能持過現六行受用性故。  
何因處唯十二。唯由身具能與未來六行受用為生長門故。

<sup>19</sup> Pr: °ātmasvastu.

<sup>20</sup> Pr: dhātovo.

<sup>21</sup> D: brtsa.

<sup>22</sup> (何) + 界 (三) (宮)

*Chapter 1*  
*Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §2A-2C*

[ASBh §2A-2C: Tatia 1,14-2,4]

- p.1,14 (§2A) §2A. [As. P. 1] pañcākārātmavastūdbhāvanatām upādāyety atra caturākāram  
p.1,15 (§2A) ātmano vastv ity ātmavastu pañcamaṃ tv ātmalakṣaṇam eva vastv ity ātmavastv iti  
p.1,16 (§2A) veditavyam saparigrahadehagrahaṇena bāhyasyādhyātmikasya ca rūpaskandhasya grahaṇam  
veditavyam  
p.1,17 (§2A) vedanādīnām upabhogāditvaṃ tallakṣaṇanirdeśe jñāpayiṣyate [As. P. 2] tadāśrayātmavastu  
p.1,18 (§2A) vijñānam teṣāṃ saparigrahadehādīnām āśrayam ātmalakṣaṇam vastv ity arthaḥ  
p.1,19 (§2A) tathā hi loke prāyeṇa [Ch 695B] vijñāne ātmagrāhaḥ śeṣeṣv ātmīyagraha iti  
p.1,20 (§2B) §2B. dehaparigrahābhyām iti cakṣu[rādī]ndriyaṣaḍkena rūpādiviṣayaṣaḍkena  
p.1,21 (§2B) ca ṣaḍākāro 'tīto vartamānaś copabhogo vijñānaṣaḍkam tasya dhāraṇam  
āśrayālambanabhāvataḥ  
p.1,22 (§2B) ity evaṃ taddhāraṇatvena [Ms. 2B] dvādaśānām indriyaṣayaṇām dhātutvam  
p.2,1 (§2B) [Ta 2] vijñānānām punar upabhogalakṣaṇadhāraṇatvena [T. 3A] dhātutvaṃ veditavyam  
yathātītapratyutpannāḥ  
p.2,2 (§2B) cakṣurādāya upabhogalakṣaṇadhāraṇakā naivam anāgatāḥ  
p.2,3 (§2C) §2C. āyadvāramātratvād indriyārthamātragrahaṇena dvādaśaivāyatanāni vyavasthāpitāni  
p.2,4 (§2C) na tūpabhogalakṣaṇam vijñānaṣaḍkam iti

[ASVy(Tib) §2A-2C: D 119a3-119b4; P 145b4-146a8]

ci'i phyir phung po nmam pa lnga kho na / bdag gi dngos po nmam pa lnga 'byung ba nye bar len pa'i phyir te / bdag gi dngos po  
lus yongs su gzung ba dang bcas pa 'byung ba nye bar len pa'i phyir dang / bdag gi dngos po nye bar longs spyod pa 'byung ba nye  
bar len pa'i phyir dang / bdag gi dngos po tha snyad 'byung ba nye bar len pa'i phyir dang / bdag gi dngos po chos dang chos ma  
yin par 'byung ba nye bar len pa'i phyir dang / bdag gi dngos po de mams kyi rten 'byung ba nye bar len pa'i phyir ro // bdag gi  
dngos po nmam pa lnga 'byung ba nye bar len pa'i phyir te zhes bya ba 'di la nmam pa bzhi ni bdag gi gnas yin pas bdag gi dngos  
po'o // lnga pa ni bdag gi mtshan nyid kho na ste / rten yin pas bdag gi dngos por rig par bya'o // lus yongs su gzung ba dang bcas  
pas ni phyi dang nang gi gzugs kyi phung po bsdu par rig par bya'o // tshor ba la sogs [P 146a] pa ni nye bar longs spyod pa la  
sogs pa nyid de / de dag gi mtshan nyid ston par shes par bya'o // de dag gi rten ni bdag gi dngos po nmam par shes pa ste / lus  
yongs su gzung ba dang bcas pa la sogs pa de dag gi rten ni de dag gi rten ni de dag gi mtshan nyid de dngos po zhes bya ba'i don  
to // 'di ltar 'jig rten phal ches nmam par shes pa la ni bdag tu 'dzin la / lhag ma nmams la ni bdag gir 'dzin pa'i phyir ro // ci'i phyir  
kham nmams [D 119b] bco bryad kho na / lus dang yongs su gzung ba nmams kyi 'das pa dang / da ltar gyi nye bar spyod pa  
nmam pa drug 'dzin pa nye bar len pa'i phyir ro // lus dang yongs su gzung bdag gi zhes bya ba ni / mig la sogs pa'i dbang po drug  
gis dang / gzugs la sogs pa'i yul drug gis so // 'das pa dang da ltar gyi nye bar spyod pa nmam pa drug ni nmam par shes pa drug ste /  
de 'dzin pa ni rten dang dmigs pa'i dngos por 'dzin to // dbang po dang yul nmams te / bcu gnyis ni de ltar de 'dzin pa'i phyir kham  
nyid do // nmam par shes pa nmams ni yang nye bar longs spyod pa'i mtshan nyid 'dzin pa'i phyir kham nyid du rig par bya'o // ji  
ltar 'das pa dang da ltar byung ba'i dmigs pa la sogs pa nye bar longs spyod pa'i mtshan nyid 'dzin pa can ni ma 'ongs pa nyid do //  
ci'i phyir skye mched nmams bcu gnyis kho na / lus dang yongs su gzung ba gnyis nyid kyi ma 'ongs pa'i nyer spyod nmam pa drug  
gi sgo nye bar len pa'i phyir ro // skye ba'i sgo tsam yin pa'i phyir / dbang po dang don tsam gzung bas skye mched bcu gnyis kho  
na nmam par gzhag pa yin te / nye bar longs spyod pa'i mtshan nyid nmam par shes pa drug gi skye mched ni med pa'i phyir ro //

*Chapter 1*  
*Abhidharmasamuccaya §2A-2C*

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §2A-2C

[雜集論 §2A-2C: T31.695a23-695b12]

問何因蘊唯有五答爲顯五種我事故謂爲<sup>23</sup>顯身具我事。受用我事。言說我事。造作一切法非法我事。彼所依止我自體事。

於此五中前四是我所事。第五即我相事。<sup>24</sup>言身具者。謂內外色蘊所攝。受等諸蘊受用等義。相中當說。彼所依止我自體事者。謂識蘊是身具等所依我相事義。所以者何。世間有情多[Ch 695b]於識蘊計執爲我。於餘蘊計執我所

問何因界唯十八。答由身具等能持過現六行受用性故。身者。謂眼等<sup>25</sup>六根。具者。謂色等六境。過現六行受用者。謂六識。能持者。謂六根六境能持六識。所依所緣故。過現六識能持受用者。不捨自相故。當知十八以能持義故說名界

問何因處唯十二。答唯身及具能與未來<sup>26</sup>六行受用爲生長門故。謂如過現六行受用相爲眼等所持。未來六行受用相。以根及義爲生長門亦爾。所言唯者。謂唯依根境立十二處。不依六種受用相識

---

<sup>23</sup> 顯身 = 身別 (聖)

<sup>24</sup> 言 = 受 (聖)

<sup>25</sup> 六根 = 根六 (聖)

<sup>26</sup> 六 + (持) (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §3-4A

[AS §3-4A: Gokhale ]

[AS §3-4A: Pradhan 2,5-14]

- p.2,5 kasmāt skandhā upādānam ity ucyante<sup>(5+)</sup> / upādānena sahitatvāt skandhā  
p.2,6 upādānam<sup>(6+)</sup> ity ucyante / upādānaṃ katamat / skandheṣu<sup>(6+)</sup> cchando rāgaś ca / kasmāt cchando  
p.2,7 rāgaś copādānam ity ucyate / anāgatavarttamānaskandhānām abhinirvarttanato 'parihārataś ca /  
p.2,8 anāgato 'bhilāṣād varttamāne 'dhyavasānāc ca<sup>(7+)</sup> cchando rāgaś copādānam ity ucyate /  
p.2,9 kasmād dhātava āyatanāni ca sopādānadharmā ity ucyante / tatra skandhavan nirddeśaḥ //  
p.2,10 kiṃlakṣaṇaṃ rūpaṃ<sup>(1+)</sup> / <sup>(2+)</sup>rūpaṇalakṣaṇaṃ rūpaṃ / tad dvididham / sparśena  
p.2,11 rūpaṇaṃ pradeśena rūpaṇaṃ<sup>(4+)</sup> ca / sparśena rūpaṇaṃ<sup>(3+)</sup> katamat /  
karacaraṇapāṣāṇasastradaṇḍaśītoṣṇakṣutpipāsāmaśakadaṃśasarpavṛścikādīnāṃ  
p.2,12 sparśena vyāvādhānam<sup>(5+)</sup> / pradeśena rūpaṇaṃ  
p.2,13 katamat / [T. 48b] deśena<sup>(6+)</sup> rūpaṇaṃ<sup>(7+)</sup> idaṃ cedaṃ ca rūpaṃ evaṃ caivaṃ ca rūpaṃ iti  
p.2,14 praṇihitāpraṇihitaceto vitarkaṇa<sup>(8+)</sup> prativimbacitrīkārātā //

[AS(Tib) §3-4A: D 45a3-45b1; P 51b6-52a6]

ci'i phyir nye bar len pa'i phung po mams zhes bya zhe na / nyer bar len pa dang ldan pas de'i phyir nye bar len pa'i phung po  
mams zhes bya'o // nye bar len pa gang zhe na / 'dir 'dun pa dang / 'dod chags gang yin pa'o // ci'i phyir 'dun pa dang 'dod chags nyid  
nye bar yin pa zhes bya zhe na / ma 'ongs pa dang da ltar gyi phung po mngon par 'grub pa dang / yongs su mi gtong ba'i phyir te /  
ma 'ongs pa la 'dod pa dang / da ltar la lhaḡ par chags [P 52a] pa'i phyir ro // ci'i phyir khams mams dang / skye mched mams nye  
bar len pa dang bcas pa'i chos mams zhes bya zhe na / de la phung po bzhin du bshad do // gzugs kyi phung po'i mtshan nyid ci zhe  
na // gzugs su yod pa mam pa gnyis kyi gzugs la yod pa'i mtshan nyid de / reg pas gzugs su yod pa dang / yul dpyad pas gzugs su  
yod pa'o // reg pas gzugs su yod pa gang zhe na / lag pa'i 'dus te reg pas reg na gzugs su rung ba dang // bor ba'i 'dus te reg pa dang /  
dbyig pa'i 'dus te reg pa dang / mtshon cha'i 'dus te reg pa dang / grang ba dang / tsha ba dang / bkres pa dang / skom pa dang /  
sbrang bu dang / sha sbrang dang / rung dang / sdig sprul gyi 'dus te reg pas reg na gzugs su rung ba'o // yul dpyad pas gzugs su yod  
pa gang zhe na / gang yul la gzugs 'di dang 'di'o // gzugs 'di lta [D 45b] bu dang 'di lta bu'o // zhes mnyam par gzhag pa'am / mnyam  
par ma bzhaḡ pa'i yid rtog pa dang mtshungs par ldan pas bkra bar 'dzin pa'o //

[集論 §3-4A: T31.663a23-663b04]

何故名取蘊。以取合故名爲取蘊。何等爲取。謂諸蘊中所有欲貪。何故欲貪說名爲取。謂於未來現在諸蘊能引不捨故。希求未來染著現在欲貪名取。

何故界處名有取法。應如蘊說。

色蘊何相。變現相是色相。此有二種。一觸對變壞。二方所示現。云何名爲觸對變壞。[Ch 663b]謂由手足塊石刀杖寒熱飢渴蚊虻蛇蠍。所觸對時即便變壞。云何名爲方所示現。謂由方所可相。示現如此如此色。如是如是色或由定心。或由不定尋思相應種種構畫。

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §3-4A

[ASBh §3-4A: Tatia 2,5-12]

- p.2,5 (§3) §3. upādānaṃ chando rāgaś ca tatra chando 'bhilāṣaḥ rāgo 'dhyavasānam  
p.2,6 (§3) chandenānāgatam ātmabhāvam abhilāṣamukhenopādatte yenānāgatān skandhān  
abhinirvartayati  
p.2,7 (§3) rāgena vartamānam ātmabhāvam adhyavasānamukhenopādatte yena vartamānān skandhān  
na  
p.2,8 (§3) parityajati tasmād etad eva dvayam upādānam ity ucyate tatra skandhavan nirdeśa iti  
p.2,9 (§3) upādānena yuktās tasmāt sopādānadharmā iti veditavyam  
p.2,10 (§4A) §4A. (i) sparśena rūpaṇā anyathībhāvo veditavyaḥ yā deśe ity abhimukhapradeśe  
p.2,11 (§4A) idaṃ cedaṃ cety asthiśaṃkalādikaṃ [Ms. 3A] jñeyavastusabhāgaṃ pratibimbam  
p.2,12 (§4A) evaṃ caivaṃ ceti varṇasaṃsthānabhedaiḥ citrikārateti tathāsaṃjñā

[ASVy(Tib) §3-4A: D 119b4-120a5; P 146a8-147a2]

ci'i phyir nye bar len pa'i phung po mams zhes brjod / nye bar len par sbyor bas des na nye bar len pa'i phung po mams zhes  
brjod do // nye bar len pa'i mam pa [P 146b] gang 'dir 'dun pa dang / 'dod chags nyid nye bar len pa ste / ma 'ongs pa dang da ltar  
gyi phung po mngon par 'grub pa dang / yongs su mi gtong bar nye bar len pa'i phyir te / ma 'ongs pa la 'dod pa dang da ltar la  
lhag par chags pa'i phyir / nye bar len pa ni 'dun pa dang 'dod chags te / de la 'dun pa ni 'dod pa'o // 'dod chags ni lhag par chags  
pa'o // 'dun pas ni ma 'ongs pa'i lus 'dod pa'i sgo nas len te / des ma 'ongs pa'i phung po mams mngon par 'grub bo // 'dod chags  
kyis ni da ltar gyi lus la lhag par chags pa'i sgo nas len te / des na lta ba'i phung po mams yongs su mi btong ngo // de bas na de  
gnyi ga la nye bar len pa zhes brjod par bya'o // rgyu gang [D 120a] gis kham dang skye mched mams nye bar len pa dang bcas  
pa'i chos zhes brjod / de la phung po ltar bshad do zhes bya ba ni nye bar len pa dang ldan pa mams te / de'i phyir nye bar len pa  
dang bcas pa'i chos mams zhes rig par bya'o // gzugs mams kyi phung po'i mtshan nyid mams gang gzugs kyi mtshan nyid rnam  
pa gnyis kyi tshul te / reg pas gzugs dang yul spyad pa'i gzugs so // reg pa gzugs gang lags pas kun du reg na reg pa gzugs te /  
bong bas kun du reg pa'am / dbyig pas kun du reg pa'am / mtshon chas kun du reg ba'am / grang ba'am / tsha ba'am / bkres pa'am /  
skom pa'am / sbrang bu'am / sha sgrang ngam / rlung ngam / gdung ba'am / sdrig sbrul gyis kun du reg pa reg na gzugs so // reg  
pas gzugs ni gzugs mams la reg na dngos po gzhan du 'gyur bar rig par bya'o / yul dpyad pa gang gang yul 'di dang 'di'o // gzugs  
'di nyid dang 'di lta bu zhes mnyam par bzhas pa'am / [P 147a] mnyam par ma bzhas pa'i yid rtog pa dang ldan pas sna tshogs su  
byed pa'o // gang yul la zhes bya ba ni mngon du gyur pa'i phyogs la'o // 'di dang 'di'o zhes bya ba ni / keng rus kyi rigs la sogs pa  
shes bya'i dngos po dang 'dra ba'i gzugs brnyan no // 'di nyid dang 'di lta bu zhes bya ba ni kha dog dang dbyibs kyi bye brag go //  
sna tshogs su byed ces bya ba ni de ltar 'du shes so //

[雜集論 §3-4A: T31.695b13-29]

問云何名取蘊。答以取合故名爲取蘊取者。謂諸蘊中所有欲貪。何故欲貪說名爲取。謂於未來現在諸蘊能引不捨  
故。希求未來染著現在欲貪名取

欲者希求相。貪<sup>27</sup>者染著相。由欲希求未來自體爲方便故。引取當蘊令起現前。由貪染<sup>28</sup>著現在自體爲方便故。執  
取現蘊令不捨離。是故此二說名爲取。

問何<sup>29</sup>故界處<sup>30</sup>說有取法。答應如蘊說。當知界處與取合故名有取法

問色蘊何相。答變現相是色相。此有二種。一觸對變壞。二方所示現。觸對變壞者。謂由手足乃至蚊蛇所觸對時  
即便變壞。方所示現者。謂由方所可相示現如<sup>31</sup>此如 \* 此色。如是如是色或由定心。或由不定尋思相應種種構畫。

方所者。謂現前處所。如此如此色者。謂骨鎖等所知事同類影像。如是如是色者。謂形顯差別。種種構畫者。謂  
如相而想

<sup>27</sup> [者] - (聖)

<sup>28</sup> 著 = 者 (元)

<sup>29</sup> [故] - (聖)

<sup>30</sup> (不) + 說 (聖)

<sup>31</sup> 此 = 是 (聖) \*

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §4A(1)

[AS §4A(1): Gokhale ]

[AS §4A(1): Pradhan 2,14-3,2]

- p.2,14 kiṃlakṣaṇā vedanā /  
p.2,15 anubhavalakṣaṇā vedanā<sup>(9+)</sup> / nānāvidhānām<sup>(10+)</sup> śubhāśubhānām karmaṇām phalavipākam  
pratyanubhavanty  
p.2,16 anenety anubhavaḥ<sup>(11+)</sup> // kiṃlakṣaṇā saṃjñā / saṃjñānālakṣaṇā saṃjñā<sup>(12+)</sup> / saṃjñā  
nānādharmaṇāprativimbodgrahaṇa[svabhāvā]<sup>(13+)</sup>  
p.2,17 yayā dṛṣṭāsrutamataṅgavijñānānānānā vyavaharati //  
p.2,18 kiṃlakṣaṇaḥ saṃskāraḥ / abhisamskāralakṣaṇaḥ saṃskāraḥ<sup>(14+)</sup> / <sup>32</sup>saṃskārābhisamskāra[svabhāvo]  
p.2,19 yena kuśalakuśalāvyakṛteṣu<sup>(15+)</sup> pakṣeṣu cittam prerayati<sup>(16+)</sup> // kiṃlakṣaṇam [Pr 3]  
p.3,1 vijñānam / vijñānālakṣaṇam vijñānam<sup>(17+)</sup> / vijñānam yena rūpaśabdagandharasasparśadharmān  
p.3,2 nānāviṣayān<sup>(18+)</sup> vijñānāti //

[AS(Tib) §4A(1): D 45b1-5; P 52a6-52b2]

tshor ba'i mtshan nyid ci zhe na // myong ba'i mtshan nyid de / myong ba'i ngo bo gang gis dge ba dang mi dge ba'i las mams kyi  
'bras bu nmam par smin pa so sor myong ba'o // 'du shes kyi mtshan nyid ci zhe na / 'dus te shes par byed pa'i mtshan nyid te / mtshan  
mar 'dzin pa dang / bkra bar 'dzin pa'i ngo bo gang gis ji ltar mthong ba dang / thos pa dang / bye brag phyed pa dang / nmam par shes  
pa'i don nmams la tha snyad 'dogs pa'o // 'du byed nmams kyi mtshan nyid ci zhe na / mngon par 'du byed pa'i mtshan nyid de / sems  
kyi mngon par 'du phyed pa'i ngo bo gang gis dge ba dang / mi dge ba dang / lung du ma bstan pa dang / [P 52b] gnas skabs sna  
tshogs nmams su sems 'jug par byed pa'o // nmam par shes pa'i mtshan nyid ci zhe na / nmam par shes par byed pa'i mtshan nyid de /  
nmam par shes par phyed pa'i ngo bo gang gis / gzugs mams kyang nmam par shes pa dang / sgra dang dri dang ro dang reg bya dang /  
chos nmams kyang nmam par shes pa'o //

[集論 §4A(1): T31.663b04-11]

受蘊何相。領納相是受相。謂由受故。領納種種淨不淨業諸果異熟。  
想蘊何相。構了相是想相。謂由想故。構畫種種諸法像類。隨所見聞覺知之義起諸言說。  
行蘊何相。造作相是行相。謂由行故。令心造作於善不善無記品。中驅役心故。  
識蘊何相。了別相是識相。謂由識故。了別色聲香味觸法種種境界。

<sup>32</sup> Pr: saṃskārābhisamskāra°.

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §4A(1)

[ASBh §4A(1): Tatia 2,13-19]

- p.2,13 (§4A) (ii) [Ch 695C] śubhānām karmaṇām sukho 'nubhavaḥ phalavipākaḥ aśubhānām duḥkhaḥ ubhayeṣām aduḥkhāsukhaḥ  
p.2,14 (§4A) tathā hi śubhānām aśubhānām vā vipāka ālayavijñānaṃ [T. 3B]  
p.2,15 (§4A) nityam upekṣayaiva saṃprayuktaṃ bhavati saiva cātrophekṣā vipākaḥ sukhaduḥkhayos tu  
p.2,16 (§4A) vipākajātāvā vipākopacāraḥ (iii) dṛṣṭāśrutamatavijñātān arthān iti dṛṣṭaṃ yac cakṣuṣā  
p.2,17 (§4A) anubhūtam śrutaṃ yac chrotreṇānubhūtam mataṃ yat svayam abhyūhitam evaṃ caivaṃ ca bhavitavyam  
p.2,18 (§4A) iti vijñātaṃ yat pratyātmam anubhūtam iti vyavaharatīty abhilāpaiḥ prāpa[ya]tīty arthaḥ  
p.2,19 (§4A) (iv) nānāvasthāsu ceti sukhaduḥkhādyāsu

[ASVy(Tib) §4A(1): D 120a5-120b5; P 147a2-147b4]

tshor ba mams kyi mtshan nyid rams gang / rjes su myong ba'i mtshan nyid de / gang rjes su myong ba'i ngo bos dge ba'am / mi dge ba mams kyi las kyi mam par smin pa'i 'bras bu so so'i rjes su myong ba'o // las dge ba mams kyi 'bras bu rnam par smin pa ni bde ba rjes su myong ba'o // las mi dge ba mams kyi 'bras bu rnam par smin pa ni sdug bsngal rjes su myong ba'o // gnyis ka'i 'bras bu rnam par smin pas sdug bsngal ba yang ma yin bde ba yang ma yin pa rjes su myong ba ste / 'di ltar dge ba dang mi dge ba rams kyi rnam par smin pa len pa'i rnam par shes pa ni rtang tu btang snyoms nyid dang mtshungs par ldan pa yin te / btang snyoms de nyid rnam par smin pa'o // bde [D 120b] ba dang sdug bsngal ba ni rnam par smin pa las byung ba'i phyir / mam par smin pa zhes nye bar btags so // 'du shes kyi mtshan nyid rams gang rab tu shes pas mtshan nyid de / mtshan mar 'dzin pa'am / bkra bar byed pa'i ngo bos gang ji ltar mthong ba dang / thos pa dang / zhen pa dang / rnam par zhes pa'i don rams kyi tha snyad do // mthong ba dang thos pa dang / zhen pa dang / rnam par shes pa'i don rams la zhes bya ba la mthong ba la ni gang mig gis myong ba'o // thos pa ni gang rna bas myong ba'o zhes pa ni gang 'di lta bu dang 'di lta bur 'gyur ro zhes bdag nyid kyi mngon par rtogs pa'o // rnam par shes pa ni gang so so rang gis myong ba'o // [P 147b] tha snyad 'dogs pa zhes bya ba ni mngon par brjod pa mams kyi go bar byed ces bya ba'i don to // 'du byed rams kyi mtshan nyid rams gang / mngon par 'du byed pa'i mtshan nyid rams te / gang sems kyi mngon par 'du byed pa'i ngo bos dge ba'am / mi dge ba'am / lung du ma byas pa'am / gnas skabs sna tshogs rams su sems 'jug go // gnas skabs sna tshogs rams su ni bde ba la sogs pa'i gnas skabs rams so'o // rnam par shes pa rams kyi mtshan nyid rams gang / rnam par shes pas mtshan nyid de / gang mam par shes pa'i ngo bos gzugs rams kyang rnam par shes pa dang / sgra rams dang / dri mams dang / ro rams dang / reg bya rams dang / chos rams kyang mam par shes pa'o //

[雜集論 §4A(1): T31.695c01-16]

[Ch 695c]問受蘊何相。答領納相是受相。謂由<sup>33</sup>受故領納種種淨不淨業所得異熟。若清淨業受樂異熟。不清淨業受苦異熟淨不淨業受不苦不樂異熟。所以者何。由淨不淨業感得異熟阿賴耶識。恒與捨受相應。唯此捨受是實異熟體。苦樂兩受從異熟生故。假說名異熟」

問想蘊何相。答構了相是想相。由此想故構<sup>34</sup>畫種種諸法像類。隨所見聞覺知之義起諸言說。見聞覺知義者。眼所受是見義。耳所受是聞義。自然思構應如是。如是是覺義。自內所受是知義。諸言說者。謂<sup>35</sup>詮辯義

<sup>36</sup>問行蘊何相。答造作相是行相。由此行故令心造作。謂於善惡無記品<sup>37</sup>中驅役心故。又<sup>38</sup>於種種苦樂等位驅役心故

問識蘊何相。答了別相是識相。由此識故了別色聲香味觸法等種種境界

<sup>33</sup> (此) + 受 (三) (宮)

<sup>34</sup> 畫 = 畫 (聖)

<sup>35</sup> 詮 = (聖)

<sup>36</sup> 問 = 問 (宮)

<sup>37</sup> 中 + (是行相由) (聖)

<sup>38</sup> [於] - (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §4B-4C

[AS §4B-4C: Gokhale ]

[AS §4B-4C: Pradhan 3,3-11]

- p.3,3 cakṣurdhātuḥ kiṃlakṣaṇaḥ / yena cakṣuṣā rūpāṇi dṛṣṭavān paśyati yac ca tasya  
p.3,4 bijam upacitam ālayavijñānaṃ tac cakṣuḥ // yathā cakṣurdhātulakṣaṇaṃ tathā  
śrotraghrāṇajihvākāyamanodhātūnām  
p.3,5 api lakṣaṇāni / rūpadhātuḥ kiṃlakṣaṇaḥ / rūpaṃ yaccakṣuṣā dṛṣṭaṃ dṛśyate  
p.3,6 ca yac ca tatra cakṣurdhātor ādhipatyam tadrūpadhātulakṣaṇaṃ [T. 49a] / yathā rūpadhātulakṣaṇaṃ  
p.3,7 tathā śabdagandharasasparśadharmadhātūnām api lakṣaṇāni // cakṣurvijñānadhātuḥ  
p.3,8 kiṃlakṣaṇaḥ / cakṣurāśrayā rūpālambanā rūpaprativijñaptiḥ yac ca tasya bijam upacitam  
p.3,9 vipākālayavijñānaṃ tac cakṣurvijñānadhātulakṣaṇaṃ // yathā cakṣurvijñānadhātulakṣaṇaṃ  
p.3,10 tathā śrotraghrāṇajihvākāyamanovijñānadhātūnām api lakṣaṇāni //  
p.3,11 āyanaṃ kiṃlakṣaṇaṃ / dhātuvad [Ch 2a] yathāyogaṃ veditavyam //

[AS(Tib) §4B-4C: D 45b5-46a3; P 52b2-53a1]

mig gi khams kyi mtshan nyid gang zhe na / mig gang gis gzugs mams mthong bar gyur pa dang / lta ba dang / de'i sa bon bsags pa dang / rnam par smin pa'i kun gzhi rnam par shes pa gang yin pa de mig gi khams kyi mtshan nyid do // mig gi khams kyi mtshan nyid ci lta ba bzhin du / rna ba dang sna dang lce dang lus ngang yid kyi khams kyi mtshan nyid kyang de bzhin no // gzugs kyi khams kyi mtshan nyid gang zhe na / mig gang gis gzugs gang dag mthong bar gyur pa dang / mthong pa rnam dang / de la mig gi khams dbang byed pa nyid gang yin pa de gzugs kyi khams kyi mtshan nyid do // gzugs kyi khams kyi mtshan nyid ji lta ba bzhin du / sgra dang dri dang ro dang reg bya dang / chos kyi khams kyi mtshan nyid kyang de bzhin no // mig gi rnam par shes [D 46a] pa'i khams kyi mtshan nyid gang zhe na / rten mig dang dmigs pa gzugs kyis / gzugs su snang ba'i rnam par rig pa gang yin pa dang / de'i sa bon bsags pa dang / rnam par smin pa'i kun gzhi rnam par shes pa gang yin pa de / mig gi rnam par shes pa'i khams kyi mtshan nyid do // mig gi rnam par shes pa'i khams kyi mtshan nyid ji lta ba bzhin du // rna ba dang sna dang lce dang lus dang / yid kyi rnam par [P 53a] shes pa'i khams kyi mtshan nyid kyang de bzhin no // skye mched kyi mtshan nyid gang zhe na / de ni khams bzhin du blta ste / de yang ji ltar mthun mthun du sbyar ro //

[集論 §4B-4C: T31.663b11-18]

眼界何相。謂眼曾現見色。及此種子積集異熟阿賴那識。是眼界相。如眼界相耳鼻舌身意識界相亦爾。  
色界何相。謂色眼曾現見。及眼界於此增上。是色界相。如色界相聲香味觸法界相亦爾。  
眼識界何相。謂依眼緣色似色了別。及此種子積集異熟阿賴那識。是眼識界相。如眼識界相耳鼻舌身意識界相亦爾。  
處何相。如界應知隨其所應

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §4B-4C

[ASBh §4B-4C: Tatia 2,20-3,2]

- p.2,20 (§4B) §4B. (i) [As. P. 3] yena cakṣuṣā rūpāṇi dr̥ṣṭavān ity atītavijñānopabhogadhāraikatvena  
p.2,21 (§4B) dhātutva darśayati paśyatīti [Ms. 3B] vartamānavijñānopabhogadhāraikatvena  
p.2,22 (§4B) yac ca tasya cakṣuṣo bījaṃ upacitam ālayavijñānaṃ yata āyatyaṃ cakṣur  
p.2,23 (§4B) nirvartisyate vaipākyaṃ ca yato nirvṛttam tad api dvividhaṃ bījaṃ cakṣurdhātūr ity ucyate  
p.2,24 (§4B) cakṣuṣo hetuvāt yac cakṣurdhātoḥ rūpe ādhipatyam iti rūpindriyādhipatyena  
bāhyaviṣayanirvartanāt  
p.2,25 (§4B)  
p.3,1 (§4C) [Ta3] §4C. [Ch 696A] tad dhātuvad draṣṭavyaṃ tac ca yathāyogam iti yena cakṣuṣā  
p.3,2 (§4C) rūpāṇi draṣṭyati yac ca tadbījaṃ ity evamādi yojayitavyam

[ASVy(Tib) §4B-4C: D 120b5-121a6; P 147b4-148a6]

mig gi khams kyi mtshan nyid gang / gang mig mams la gzugs rnams mthong ba can dang / blta ba ste / gang de'i sa bon nye bar bsags pa mam par smin pa'i mam par shes pa rab tu len pa de mig gi khams kyi mtshan nyid mams so // gang gis mig rnams la gzugs rnams mthong ba can dang / blta ba ste zhes bya ba ni 'das pa'i rnam par shes pa nye bar spyod pa 'dzin pa nyid kyis khams nyid du bstan to // blta ba zhes bya ba ni da ltar gyi rnam par shes pa nye bar spyod pa 'dzin pa nyid kyis so // mig gi sa bon nye bar bsags pa kun du len pa'i rnam par shes pa gang yin yang khams te / gang las phyi ma la mig 'grub [D 121a] pa'o // rnam par smin pa'ang khams te / gang las grub zin pa'o // sa bon rnam pa de gnyi ga yang mig gi rgyu yin pas mig gi khams zhes brjod par bya'o // mig gi khams ji lta bar / rna ba dang / sna dang / lce dang / lus dang / yid kyi khams kyang de bzhin no // gzugs kyi khams kyi mtshan nyid gang / mig gang rnams la [P 148a] gzugs rnams mthong ba dang ldan pa dang mthong ba rnams te / gang de la mig gi khams dbang bde gzugs kyi khams kyi mtshan nyid do // mig gi khams ni gzugs la dbang byed pa ste / dbang po'i dbang gis phyi rol gyi yul 'grub pa'i phyir te / rang gi rten dang dmigs pa'i bye brag can no // gzugs kyi khams ji lta bar sgra dang / dri dang / ro dang / reg bya dang / chos kyi khams kyi mtshan nyid kyang de bzhin no // mig gi rnam par shes pa'i khams kyi mtshan nyid gang / rten mig gis dmigs pa gzugs kyis so sor snang ba'i rnam par shes pa ste / gang de'i sa bon nye bar bsags pa dang / rnam par smin pa len pa'i rnam par shes pa de mig gi rnam par shes pa'i khams kyi mtshan nyid do // de bzhin du rna ba dang / sna dang / lce dang / lus dang / yid kyi rnam par shes pa'i khams kyi mtshan nyid kyang ngo // skye mched kyi mtshan nyid gang / de khams bzhin blta bar bya ste / de yang ji ltar rigs par khams bzhin blta bar bya'o // de yang ji ltar rigs par zhes pa ni mig gang gis gzugs rnams mthong bar 'gyur ba dang / gang de'i sa bon zhes bya ba la sogs pa yang sbyar ro //

[雜集論 §4B-4C: T31.695c17-696a03]

問眼界何相。答謂眼曾現見色。及此種子積集異熟阿賴耶識是眼界相。眼曾見色者。謂能持過去識受用義以顯界性。現見色者。謂能持現在識受用義以顯界性。及此種子積集異熟阿賴耶識者。謂眼種子。或唯積集。為引當來眼<sup>39</sup>根故。或已成熟。為生現在眼根故。此二種名眼界者眼生因故。

如眼界相耳鼻舌身意。界相亦爾。

問色界何相。答<sup>40</sup>諸色眼曾現見。及眼界於此增上。是色界相。眼界於此增上者。謂<sup>41</sup>依色根增上力外境生故。如色界相聲香味觸法界相亦爾

問眼識界何相。答謂依眼緣色似色了別。及此種子積集異熟阿賴耶識是眼識界相。如[Ch 696a]眼識界耳鼻舌身意識界相亦爾

問處何相。答如界應知隨其所應。謂眼當見色。及此種子等隨義應說

<sup>39</sup> [根] - (聖)

<sup>40</sup> 諸 = 謂 (明)

<sup>41</sup> 依 = 於 (宮)、依 + (有) (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §5

[AS §5: Gokhale ]

[AS §5: Pradhan 3,12-23]

- p.3,12 rūpaskandhavyavasthānaṃ katamat / yat kiṃcid rūpaṃ sarvaṃ tac catvāri mahābhūtāni  
p.3,13 catvāri ca mahābhūtāny upādāya // katamāni catvāri mahābhūtāni / pṛthivīdhātuḥ  
p.3,14 abdhātuḥ tejodhātuḥ vāyudhātuḥ ca // pṛthivīdhātuḥ katamaḥ / kaṭhinatā // abdhātuḥ  
p.3,15 katamaḥ / niṣyandatā<sup>(1+)</sup> // tejodhātuḥ katamaḥ / uṣṇatā // vāyudhātuḥ katamaḥ /  
p.3,16 kampanatā<sup>(2+)</sup> // upādāya rūpaṃ katamat / cakṣurindriyaṃ śrotrendriyaṃ ghrāṇendriyaṃ  
p.3,17 jihvendriyaṃ kāyendriyaṃ rūpaśabdagandharasapraṣṭavyānām ekadeśo dharmāyatanaṣaṃgrhītaṃ<sup>(3+)</sup>  
ca  
p.3,18 rūpaṃ // cakṣurindriyaṃ katamat / catvāri mahābhūtāny upādāya cakṣurviññānā<sup>42</sup> [T. 49b]  
p.3,19 śrayo rūpaprasādaḥ // śrotrendriyaṃ katamat / catvāri mahābhūtāny upādāya śrotraviññānāśrayo  
p.3,20 rūpaprasādaḥ / ghrāṇendriyaṃ katamat / catvāri mahābhūtāny upādāya  
p.3,21 ghrāṇaviññānāśrayo rūpaprasādaḥ // jihvendriyaṃ katamat / catvāri mahābhūtāny upādāya  
p.3,22 jihvaviññānāśrayo rūpaprasādaḥ // kāyendriyaṃ katamat / catvāri mahābhūtāny upādāya  
p.3,23 kāyaviññānāśrayo rūpaprasādaḥ //

[AS(Tib) §5: D 46a3-46b1; P 53a2-8]

gzugs kyi phung po rnam par gzhag pa gang zhe na / gzugs gang yin pa ci yang rung ste / de thams cad 'byung ba chen po bzhi dag dang / 'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa'o // 'byung ba chen po bzhi dag gang zhe na / sa'i khams dang chu'i khams dang / me'i khams dang / rlung gi khams so // sa'i khams gang zhe na / sra ba nyid do // chu'i khams gang zhe na / gsher ba nyid do // me'i khams gang zhe na / tsha ba nyid do // rlung gi khams gang zhe na / yang zhing g-yo ba nyid do // rgyur byas pa'i gzugs gang zhe na / mig gi dbang po dang / ma ba'i dbang po dang / sna'i dbang po dang / lce'i dbang po dang / lus kyi dbang po dang / gzugs dang / sgra dang / dra dang / ro dang / reg bya'i phyogs gcig dang / chos kyi skye mched pa'i gzugs so // mig gi dbang po gang zhe na / 'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa // mig gi rnam par shes pa'i rten gzugs dang pa'o // ma ba'i dbang po gang zhe na / 'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa / ma ba'i rnam par shes pa'i rten gzugs dang pa'o // sna ba'i dbang po gang zhe na / 'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa / sna'i rnam par shes pa'i rten gzugs dang pa'o // lce'i dbang po gang zhe na / 'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa / lce'i rnam par shes pa'i rten gzugs [D 46b] dang pa'o // lus kyi dbang po gang zhe na / 'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa / lus kyi rnam par shes pa'i rten gzugs dang pa'o //

[集論 §5: T31.663b19-29]

云何建立色蘊。謂諸所有色。若四大種及四大種所造。

云何四大種。謂地界水界火界風界。何等地界。謂堅韌性。何等水界。謂流濕性。何等火界。謂溫熱性。何等風界。謂輕等動性。

云何所造色。謂眼根耳根鼻根舌根身根。色聲香味所觸一分。及法處所攝色。何等眼根。謂四大種所造眼識所依清淨色。

何等耳根。謂四大種所造耳識所依清淨色。何等鼻根。謂四大種所造鼻識所依清淨色。何等舌根。謂四大種所造舌識所依清淨色。何等身根。謂四大種所造身識所依清淨色。

<sup>42</sup> Pr: cakṣurviññānā

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §5

[ASBh §5: Tatia 3,3-10]

- p.3,3 (§5) §5. [T. 4A] catvāri ca mahābhūtāny upādāyeti katham upādāyarūpam  
p.3,4 (§5) catvāri mahābhūtāny upādāya jananasamṃsrayapratīṣṭhopastambhōpabrṃhaṇahetutvena  
jananādihetutvaṃ  
p.3,5 (§5) punar bhūtānām upādāyarūpe pañca vidhaṃ hetutvaṃ adhikṛtya (i) utpattihetutvaṃ  
p.3,6 (§5) tair vinā tad anutpatteḥ (ii) vṛttihetutvaṃ bhūtāni pratyākhyāyopādāyarūpasya  
pṛthagdeśāvaṣṭambhasāmarthyābhāvāt [Ms. 4A]  
p.3,7 (§5) (iii) anuvṛttihetutvaṃ bhūtavikāreṇa tatpratiṣṭhitopādāyarūpavikriyāgamanāt  
p.3,8 (§5) (iv) sthithetutvaṃ sadṛśotpattikāle bhūtair upādāyarūpasamṫānasya  
p.3,9 (§5) anupacchedayogena saṃdhāraṇāt (v) upacayahetutvaṃ vṛttikāle  
p.3,10 (§5) bhūtair upādāyarūpāpyāyanād iti

[ASVy(Tib) §5: D 121a6-121b7; P 148a6-149a1]

gzugs kyi phung po'i mam par gnas pa gang / gzugs gang cung zad de thams cad 'byung ba chen po bzhi dang / 'byung ba chen po bzhi mams kyi nye bar blangs pa'o // 'byung ba chen po bzhi mams kyi nye bar blangs pa'i zhes bya ba la / nye bar blangs pa'i gzugs ji lta bu zhe na / skyed pa dang / rjes su 'gyur ba dang / gnas par byed pa dang / gnod pa dang / 'phel bar byed pa'i rgyu yin pa'i phyir ro // 'byung ba mams kyi nye bar blangs pa'i gzugs la ni / rgyu mam pa lga'i dbang [D 121b] du byas nas bskyed pa la sogs pa nyid rgyu yin te / bskyed pa'i rgyu nyid ni de dag med na de mi 'byung ba'i phyir ro // rjes su 'gyur [P 148b] ba'i rgyu nyid ni 'byung ba mams gyur na de la gnas pa nye bar blangs pa'i gzugs mams mi gnas par 'gyur ba'i phyir ro // gnas par byed pa'i rgyu nyid ni mtshungs par 'byung ba'i dus na 'byung ba mams kyi nye bar blangs pa'i gzugs kyi rgyu rgyun mi 'chad pa'i tshul du 'dzin pa'i phyir ro // gnod pa'i rgyu nyid ni 'byung ba mams bsal na nye bar blangs pa'i gzugs la so sor yul gnod pa'i mthu med pa'i phyir ro // 'phel bar byed pa'i rgyu nyid ni 'phel ba'i dus na 'byung ba mams kyi nye bar blangs pa'i gzugs yongs su rgyas par byed pa'i phyir ro // 'byung ba chen po bzhi mams gang / sa'i khams dang / chu'i khams dang / me'i khams dang / rlung gi khams so // sa'i khams gang / sva ba nyid do // chu'i khams gang / gsher ba nyid do // me'i khams gang / dro ba nyid do // rlung gi khams gang / yang zhing g-yo ba nyid do // nye bar blangs pa'i gzugs gang / mig gi dbang po dang / rna ba'i dbang po dang / sna'i dbang po dang / lce'i dbang po dang / lus kyi dbang po dang / gzugs dang / sgra dang / dri dang / ro dang / reg bya'i phyogs gcig dang / chos kyi skye mched pa'i gzugs so // mig gi dbang po gang / 'byung ba chen po bzhi mams kyi nye bar blangs pa mig gi mam par shes pa'i rten gzugs dang ba'o // rna ba'i dbang po gang / 'byung ba chen po bzhi mams kyi nye bar blangs pa rna ba'i mam par shes pa'i rten gzugs dang ba'o // sna'i dbang po gang / 'byung ba chen po bzhi mams kyi nye bar blangs pa sna'i mam par shes pa'i rten gzugs dang ba'o // lce'i dbang po gang / 'byung ba chen po bzhi mams kyi nye bar blangs pa lce'i mam par shes pa'i rten gzugs dang ba'o // lus kyi dbang po gang / 'byung ba chen po bzhi mams kyi nye bar blangs pa lus kyi mam par shes pa'i rten gzugs dang [P 149a] ba'o //

[雜集論 §5: T31.696a04-21]

云何建立色蘊。謂諸所有色。若四大種及四大種所造。所造者。謂以四大種爲生依立持養因義。

即依五因說名爲造。生因者即是起因。謂離大種色不起故。依因者即是轉因。謂捨大種諸所造色無有功能。據別處故。立因者即隨轉因。<sup>43</sup>由<sup>44</sup>大變異能依造色隨變異故。持因者即是住因。謂由大種諸所造色相似相續生。持令不絕故。養因者即是長因。謂由大種養彼造色令增長故

四大種者。謂地水火風界。地界者堅動性。水界者流濕性。火界者溫<sup>45</sup>熱性。風界者輕動性。

所造色者。謂眼等五根。色聲香味所觸一分及法處所攝色。眼根者。謂四大種所造眼識所依。清淨色爲體。耳根者。謂四大種所造耳識所依。清淨色爲體。鼻<sup>46</sup>根者。謂四大種所造鼻識所依。清淨色爲體。舌根者。謂四大種所造舌識所依。清淨色爲體。身根者。謂四大<sup>47</sup>種所造身識所依。清淨色爲體

<sup>43</sup> [由] - (聖)

<sup>44</sup> 大+ (種) (聖)

<sup>45</sup> [熱] - (聖)

<sup>46</sup> [根] - (聖)

<sup>47</sup> [種] - (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §5A-5B

[AS §5A-5B: Gokhale ]

[AS §5A-5B: Pradhan 3,23-4,4]

- p.3,23 rūpaṃ katamat / catvāri mahābhūtāny upādāya cakṣurindriyagocaro  
p.3,24 'rthaḥ / yathā nīlaṃ pītaṃ lohitaṃ avadātaṃ dīrghaṃ hrasvaṃ vṛttaṃ parimaṇḍalaṃ  
p.3,25 sthūlaṃ sūkṣmaṃ unnaṭaṃ avanataṃ sātaṃ viśātaṃ ātapaḥ chāyā āloko 'ndhakāraṃ abhraṃ dhūmo  
p.3,26 rajo mahikā ca / abhyavakāśarūpaṃ<sup>(4+)</sup> vijñaptirūpaṃ<sup>(5+)</sup> nabha ekavaṇṇaṃ rūpaṃ // tat [Pr 4]  
p.4,1 punas tridhā / śobhanaṃ aśobhanaṃ ubhayaviparītaṃ ca // śabdaḥ katamaḥ / catvāri mahābhūtāny  
p.4,2 upādāya śrotrendriyagrāhyo 'rthaḥ / manojño vā amanojño vā ubhayaviparīto<sup>(6+)</sup>  
p.4,3 vā / upāttamahābhūtaḥetuko vā anupāttamahābhūtaḥetuko vā tadubhayo vālokaprasiddho  
p.4,4 vā siddhapanīto vā parikalpito vā āryer deśīto [T. 50a] vā tīrthyaidaśīto vā //

[AS(Tib) §5A-5B: D 46b1-6; P 53a8-53b6]

gzugs [P 53b] gang zhe na / 'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa / mig gi dbang po'i spyod yul gyi don gang yin pa ste / 'di  
lta sta / sngon po dang / ser po dang / dmar po dang / dkar po dang ring po dang / thung du dang / lham pa dang / zlum po dang / rdul  
phra mo dang / rags pa dang / phyal le ba dang / phyal le ma yin pa dang / mthon po dang / dma' ba dang / grib ma dang / nyi ma  
dang / snang ba dang / mun pa dang / sprin dang / du ba dang / rdul dang / khug rna dang / mngon par skabs yod pa dang / rna par rig  
byed dang / nam mkha' kha dog gcig pa'o // de yang kha dog bzang po dang / kha dog ngan pa dang / de gnyi ga'i bar mar gnas pa  
dang / kha dog dang 'dra ba'o // sgra gang zhe na / 'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa / ma ba'i dbang po'i gzung ba'i don gang  
yin pa ste / yid du 'ong ba dang / yid du mi 'ong dang / gnyi ga yin pa dang / zin pa'i 'byung ba chen po'i rgyu las byung ba dang / zin  
pa ma yin pa'i 'byung ba chen po'i rgyu las byung ba dang / de gnyi ga dang / 'jig rten gyi grags pa dang / grub pas bstan pa dang /  
kun brtags pa dang / 'phags pas tha snyad btags pa dang / 'phags pa ma yin pas tha snyad btags pa'o //

[集論 §5A-5B: T31.663c01-08]

[Ch 663c]何等爲色。謂四大種所造眼根所行義。謂青黃赤白長短方圓。麤細高下正不正。光影明闇雲煙塵霧。  
迴色表色空一顯色。此復三種。謂妙不妙俱相違色。

何等爲聲。謂四大種所造耳根<sup>48</sup>所取義。或可意或不可意。或俱相違。或執受大種爲因。或不執受大種爲因。或  
俱大種爲因。或世所極成。或成所引。或遍計所起。或聖言所攝。或非聖言所攝。

<sup>48</sup> 所 = 可 (三) (宮)

*Chapter 1*  
*Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §5A-5B*

[ASBh §5A-5B: Tatia 3,11-22]

- p.3,11 (§5A) §5A. nīlādīnām pañcaviṃśatīnām rūpāṇām vyavasthānam ṣaḍbhir ākārair veditavyam  
p.3,12 (§5A) (i) lakṣaṇataḥ (ii) saṃniveśato (iii) 'nugrahopaghātataḥ (iv) kriyāsaṃniśrayataḥ  
p.3,13 (§5A) (v) kriyālakṣaṇataḥ (vi) maṇḍanataś ca caturṇām daśānām aṣṭānām ekaikasya ca  
p.3,14 (§5A) yathākramam tatrābhyavakāśas tadanyaprativāraḥ prakāśaḥ yathāyogāyānāḥ  
p.3,15 (§5A) [T. 4B] yad upaniṣṭān nīlam dr̥śyate  
p.3,16 (§5B) §5B. [Ch 696B] [As. P. 4] śabdavyavasthānam lakṣaṇato 'nugrahopaghātataḥ  
p.3,17 (§5B) hetuprabhedato deśanāprabhedato vyavahāraprabhedataś ca lakṣaṇataḥ śrotrendriyagrāhyo  
p.3,18 (§5B) yo 'rtha iti [Ms. 4B] deśanāprabhedato lokaprasiddhādayas trayāḥ śeṣam yathāyogaṃ  
p.3,19 (§5B) veditavyam tatropāttamahābhūtahetukas tadyathā vākśabdaḥ anupāttamahābhūtahetukas  
tadyathā  
p.3,20 (§5B) vṛkṣaśabdaḥ tadubhayas tadyathā hastamṛdaṅgaśabdaḥ lokaprasiddho  
laukikabhāṣāsaṃgr̥hītaḥ  
p.3,21 (§5B) siddhohanīta āryair deśitaḥ parikalpitas tīrthyair deśitaḥ āryānāryavyāvahārikau  
p.3,22 (§5B) tu dr̥ṣṭādīn aṣṭau vyavahārān adhikṛtya veditavyau

[ASVy(Tib) §5A-5B: D 121b7-122b2; P 149a1-149b4]

gzugs gang / 'byung ba chen po bzhi rnam kyis nye bar blangs pa gang mig gi dbang [D 122a] po'i spyod yul gyi don te / ji  
lta r sngon po dang / ser po dang / dmar po dang / dkar po dang / ring ba dang / thung ba dang / lham pa dang / zlum po dang / rdul  
phran dang / rags pa dang / phyal le ba ma yin pa dang / mtho ba dang / dma' ba dang / grib ma dang / nyi ma dang / snang ba  
dang / mun pa dang / sprin dang / du ba dang / rdul dang / khug rna dang / mngon par gsal ba dang / rnam par rig byed dang / nam  
mkha' kha dog gcig pa'o // de yang kha dog bzang po dang / kha dog ngan pa dang / de gnyi ga'i bar na gnas pa dang / kha dog  
dang 'dra ba'o // sngon po la sogs pa gzugs rnam pa nyi shu rtsa lnga ni mtshan nyid dang / dbyibs dang / phan gnod dang / phyed  
pa'i rten dang / byed pa'i mtshan nyid dang / rgyan dang / rnam pa drug gi rnam par gzhag par rig par bya ste / bzhi dang bcu dang  
brgyad dang / gcig dang gcig gi go rims bzhin no // de la mngon par gsal ba zhes bya ba ni / de las gzhan pa thogs par byed pa'i  
rig bya dang bral ba'i phyogs gang yin pa'i dmigs pa'o // nam mkha' zhes bya ba ni gang steng na sngon por snang ba'o // sgra  
gang 'byung ba chen po bzhi rnam kyis nye bar blangs pa rna ba'i dbang po'i gzung ba'i don gang yid du 'ong ba'am / yid du mi  
'ong ba'am / gnyi ga min pa'am / zin pa'i 'byung ba chen po'i rgyu las sam / ma zin pa'i 'byung ba chen po'i rgyu las sam / 'jig rten  
pas rab tu rtogs pa'am / grub pas bstan pa'am / yongs su brtags pa'am / 'phags pa'i tha snyad dam / 'phags min gyi tha snyad do //  
sgra ni mtshan nyid dang / phan gnod pa rgyus rab tu dbye ba dang / bshad pas rab tu dbye ba dang / tha snyad kyis rab tu dbye  
ba'i rnam par gzhag go // mtshan nyid ni rna ba'i dbang [P 149b] po'i gzung ba'i don gang yin pa'o // bshad pa'i rab tu dbye ba ni /  
'jig rten pas rab tu rtogs pa la sogs pa gsum mo // lhag ma ni ji lta r mthun mthan du rig par bya'o // de la zin pa'i 'byung ba chen  
po'i rgyu las byung ba ni 'di lta ste / dag la sogs pa'i sgra'o // ma zin pa'i 'byung ba chen po'i rgyu [D 122b] las byung ba ni / 'di lta  
ste shing la sogs pa'i sgra'o / de gnyis ka ni 'di lta ste / lag pa dang rdza rda la sogs pa'i sgra'o // 'jig rten pas rab tu rtogs pa ni 'jig  
rten pa'i skad kyis bsduś pa'o // grub pas bstan pa ni 'phags pa rnam kyis bstan pa'o // yongs su brtags pa ni mu stegs can rnam  
kyis bstan pa'o // 'phags pa'i tha snyad dam / 'phags min gyi tha snyad ni mthong ba la sogs pa'i tha snyad brgyad kyi dbang du  
byas par rig par bya'o //

*Chapter 1*  
*Abhidharmasamuccaya §5A-5B*

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §5A-5B

[雜集論 §5A-5B: T31.696a22-696b12]

色者。<sup>49</sup>四大<sup>50</sup>種所造眼根所行義。謂青黃赤白長短方圓。麤細高下若正<sup>51</sup>不正。光影明闇雲煙塵霧。迺色表色空—<sup>52</sup>顯色。此<sup>53</sup>復三種。謂妙不妙俱相違色。

此青等二十五色建立。由六種因。謂相故安立故損益故作所依故作相故莊嚴故。如<sup>54</sup>其次第四十八—<sup>55</sup>一。迺色者。謂<sup>56</sup>離餘礙觸方所得。空—\*顯色者。謂上所見青等顯色[Ch 696b]

聲者四大種所造耳根所取義。若可意。若不可意。若俱相違。若因受大種。若因不受大種。若因俱大種。若世所共成。若成所引。若遍計所執。若聖言所攝。若非聖言所攝。

如是十一種聲。由五種因所建立。謂相故。損益故。因差別故。<sup>57</sup>說差別故。言差別故。相者。謂耳根所<sup>58</sup>取義。說差別者。謂世所共成等三。餘如其所應。因受大種者。謂語等聲。因不受大種者。謂樹等聲。因俱者。謂手鼓等聲。世所共成者。謂世俗語所攝。成所引者。謂諸聖所說。遍計所執者。謂外道所說。<sup>59</sup>聖非聖言所攝者。謂依見等八種言說

---

<sup>49</sup> (謂) + 四(三)(宮)  
<sup>50</sup> [種] - (聖)  
<sup>51</sup> 不 = 若亦(聖)  
<sup>52</sup> 顯 = 明(聖)\*  
<sup>53</sup> 復 = 後(聖)  
<sup>54</sup> 其 = 至(聖)\*  
<sup>55</sup> 一 = 二(宮)  
<sup>56</sup> 離 = 願(聖)  
<sup>57</sup> [說] - (聖)  
<sup>58</sup> 取 = 耳(聖)  
<sup>59</sup> 聖 + (言)(聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §5C-5F

[AS §5C-5F: Gokhale ]

[AS §5C-5F: Pradhan 4,5-14]

- p.4,5 gandhaḥ katamaḥ / catvāri mahābhūtāny upādāya ghrāṇendriyagrāhyo 'rthaḥ / yathā surabhir  
p.4,6 asurabhiḥ samagandhaḥ saha jagandhaḥ sāmyogikagandhaḥ pariṇāmikagandhaś ca // rasaḥ katamaḥ /  
p.4,7 catvāri mahābhūtāny<sup>60</sup> upādāya jihvendriyagrāhyo 'rthaḥ / tikto 'mlo madhuraḥ kaṭuko lavaṇaḥ  
p.4,8 kaṣāyaś ca / manojño vā amanojño vā ubhayaviparīto<sup>(7+)</sup> vā sahajo vā sāmyogiko  
p.4,9 vā pariṇāmiko vā // spraṣṭavyaikadeśaḥ katamaḥ / catvāri mahābhūtāny upādāya  
p.4,10 kāyendriya grāhyo 'rthaḥ / ślakṣṇatvaṃ karkaśatvaṃ laghutvaṃ gurutvaṃ picchilatvaṃ mandatvaṃ  
p.4,11 amandatvaṃ śītatvaṃ uṣṇatvaṃ<sup>(1+)</sup> jighatsā pipāsā tṛptir balaṃ daurbalyaṃ mūrcehā kaṇḍūtiḥ  
p.4,12 pūtir vyādhir jarāmarāṇaṃ klāntir viśrāma ūrjā ca // dharmāyatanaśaṃgrhītaṃ<sup>(2+)</sup> rūpaṃ katamat /  
p.4,13 pañcavidham / ābhisaṃkṣepikam ābhyaṅgākāśiṃkaṃ sāmādānikam parikṣiptam  
p.4,14 vaibhutvikiam ca /

[AS(Tib) §5C-5F: D 46b6-47a4; P 53b6-54a5]

dri gang zhe na / 'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa / sna'i dbang po'i gung ba'i don gang yin pa ste / dri zhim pa dang /  
drid ba dang / dri mnyam pa dang / lhan cig skyes pa dang / sbyang ba las byung ba dang / gyur pa las byung ba'o // ro gang zhe na /  
'byung ba chen po bzhi dag rgyur byas pa / lce'i dbang po'i gzung ba'i don gang yin pa ste / de yang kha ba dang / sbyar ba dang /  
tshe ba dang / bska ba dang / lan tshva dang / mngar ba dang / yid du 'ong ba dang / yid du mi 'ong ba dang / de gnyi ga ma yin pa  
dang / [D 47a] [P 54a] lhan cig skyes pa dang / sbyar ba las byung ba dang / gyur pa las byung ba'o // reg bya'i phyogs gcig gang zhe  
na / 'byung ba chen po bhi dag rgyur byas pa / lus kyi dbang pos gzung ba'i don gang yin pa ste / 'jam pa nyid dang / rtsub pa nyid  
dang / yang ba nyid dang / lci ba nyid dang / mnyen pa nyid dang / ltod pa nyid dang / ltod pa ma yin pa dang / grang ba dang / bkres  
pa dang / skom pa dang / tshim pa dang / nyam yod pa dang / nyam chung ba dang / brgyal ba dang / g-ya' ba dang / 'gred pa dang /  
ma ba dang / rga ba dang / 'chi ba dang / ngal ba dang / ngal sos pa dang / spungs che ba'o // chos kyi skye mched pa'i gzugs gang  
zhe na / de ni rnam pa lgar blta ste / bsdus pa las gyur pa dang / mngon par skabs yod pa dang / yang dag par blangs pa las byung  
ba dang / kun brtags pa dang / dbang 'byor pa'o //

[集論 §5C-5F: T31.663c08-17]

何等爲香。意四大<sup>61</sup>種所造鼻根所取義。謂好香惡香平等香俱生香和合香變異香。

何等爲味。謂四大種所造舌根所取義。謂苦酢甘辛鹹淡。或可意或不可意。或俱相違或俱生。或和合或變異。

何等所觸一分。謂四大種所造身根所取義。謂滑性澁性輕性重性軟性緩急冷飢渴飽力

劣悶癢黏病老死疲息勇。

何等法處所攝色。有五種應知謂極略色。極迴色。受所引色。遍計所起。色<sup>62</sup>定自在所<sup>63</sup>生色

<sup>60</sup> Pr: mahābhūtāny.

<sup>61</sup> [種] - (三) (宮)

<sup>62</sup> [定] - (三) (宮)

<sup>63</sup> 生 = 住 (宮)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §5C-5F

[ASBh §5C-5F: Tatia 3,23-4,5]

- p.3,23 (§5C-D) §5C-D. gandhavyavasthānam svalakṣaṇato 'nugrahopaghātataḥ prabhedaś ca  
p.3,24 (§5C-D) rasavyavasthānam apy evam eva veditavyam tatra saḥajo gandhaś candanādīnām sāmyogiko  
p.3,25 (§5C-D) dhūpayuktyādīnām pārīṇāmikaḥ pakvaphalādīnām iti  
p.3,26 (§5E) §5E. spraṣṭavyaikaśavyavasthānam āmarśanata ātulanataḥ sparśanata āpīḍanataḥ  
p.3,27 (§5E) saṃsargato dhātuvaiśamyasāmyataś [T. 5A] ca abvāyusaṃsargāc [Ms. 5A] chītam  
p.4,1 (§5E) [Ta 4] appṛthivisaṃsargāt picchalam viśrāmo balam ūrjā ca dhātusaṃyāt ūrjā  
p.4,2 (§5E) punar vaiśāradyaṃ veditavyam tṛptir ubhayathā śeṣā jighatsādayo dhātuvaiśamyād  
veditavyāḥ  
p.4,3 (§5F) §5F. ābhisāṃkṣepikaṃ paramāñurūpam ābhyavakāśikaṃ tad eva yathoktam  
p.4,4 (§5F) tadanyaprativārakaspraṣṭavyarahitam [Ch 696C] sāmādānikaṃ avijñaptirūpam  
p.4,5 (§5F) parikalpitaṃ pratibimbarūpam vaibhūtvikaṃ vimokṣadhyāyigocaraṃ yad rūpam

[ASVy(Tib) §5C-5F: D 122b2-123a4; P 149b4-150a8]

dri gang / 'byung ba chen po bzhi rnams kyis nye bar blangs pa sna'i dbang po'i gzung ba'i don gang / dri bzang ba'am / dri nga ba'am / dri mnyam pa'am / lhan skyes las sam / sbyar ba las sam / gyur pa las so // dri ni mtshan nyid dang / phan gnod dang / rab tu dbye ba nam par gzhag go // lhan skyes kyi dri ni tsan dan la sogs pa rnams so // sbyar ba ni bdug spos sbyar ba mams kyi'o // gyur pa ni shing tog smin pa la sogs pa mams kyi'o // ro gang / 'byung ba chen po bzhi rnams kyis nye bar blangs pa lce'i dbang po'i gzung ba'i don gang de yang kha ba'am / skyur ba'am / tsha ba'am / bska ba'am / lan tshva 'am / mngar ba'am / yid du 'ong ba'am / yid du mi 'ong ba'am / de gnyis ka las nam par grol ba'am / lhan skyes sam / sbyar ba las sam / gyur ba las so // ro'i nam par gzhag pa rnams ni dri ltar rig par bya'o // reg bya'i phyogs gcig gang / lus kyi dbang po'i gzung ba'i don gang 'byung ba chen po mams kyis nye bar blangs pa 'jam pa [P 150a] nyid dam / rtsub pa nyid dam / yang ba nyid dam / lci ba nyid dam / mnyen pa nyid dam / lhod pa nyid dam / lhod min nyid dam / grang ba'am / bkres pa'am / skom pa'am / tshim pa'am / stobs sam / stobs ngan nam / brgyal ba'am / g-ya' ba'am / 'gred pa'am / na ba'am / rga ba'am / 'chi ba'am / ngal ba'am / ngal sos pa'am / spungs che ba'o // reg bya'i phyogs gcig ni / kun du man pas pa dang / kun du gzhag ba dang / reg pa dang / kun du gnod pa dang / 'dus pa dang / khams [D 123a] snyoms ma snyoms kyi nam par gzhag go // chu dang rlung 'dus na grang ngo // chu dang sa 'dus na 'gred do // khams snyoms na ngal sos pa dang / stobs dang spungs che bar 'gyur te / spungs che ba ni mi 'jigs par rig par bya'o // tshim pa ni gnyi ga'o // bkres pa la sogs pa'i lhaq ma rnams ni khams ma snyoms par rig par bya'o // chos kyi skye mched kyi rang bzhin gang / de ni nam pa lgar blta ste / mngon par bsdu pa can nam / mngon par gsal ba can nam / yang dag par blangs pa can nam / yongs su brtags pa can nam / dbang 'byor pa can no // mngon par bsdu pa can ni rdul phra rab kyi gzugs so // mngon par gsal ba can ni de nyid de las gzhan pa thogs par byed pa'i reg bya dang bral ba'o // yang dag par blangs pa can ni nam par rig byed ma yin pa'i gzugs so // yongs su brtags pa can ni gzugs brnyan gyi gzugs so // dbang 'byor pa can ni nam par thar pa la bsam gtan pa'i spyod yul gyi gzugs gang yin pa'o //

[雜集論 §5C-5F: T31.696b13-696c03]

香者四大種所造鼻根所取義。謂好香惡<sup>64</sup>香平等香俱生香和合香變異香。當知此香三因建立。謂相故損益故差別故。俱生香者。旃<sup>65</sup>彈那等。和合香者。謂<sup>66</sup>和香等。變異香者。謂熟果等。

味者四大種所造舌根<sup>67</sup>所取義。謂苦酢甘辛鹹淡。若可意若不可意若俱相違。若俱生若和合若變異。建立此味應如香說。

所觸一分者四大種所造身根所取義。謂滑澁輕重軟緩急冷飢渴飽力劣悶癢黏病老死疲息勇。

此所觸一分由八因建立。謂相故摩故<sup>68</sup>稱故觸故執故雜故界不平等故界平等故。水風雜故冷。地水雜故黏。界平等故息力勇。勇者無畏飽。由二種界不平等故有飢等。餘觸

法處所攝色者。略有五種。謂極略色·極迥色·受所引色·遍計所起色·自在所生色。極略色者。謂極微色。極迥色者。謂即此離餘礙觸[Ch 696c]色。受所引色者。謂無表色。遍計所起色者。謂影像色。自在所生色<sup>69</sup>者。謂解脫靜慮所行境色。

<sup>64</sup> [香] - (聖)

<sup>65</sup> 彈 = 檀 (三) (宮)

<sup>66</sup> 和 + (合) (聖)

<sup>67</sup> [所] - (聖)

<sup>68</sup> 稱 = 雜

<sup>69</sup> [者] - (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §6

[AS §6: Gokhale ]

[AS §6: Pradhan 4,15-5,3]

p.4,15 vedanāskandhavyavasthānaṃ katamat / ṣaḍ vedanākāyāḥ / cakṣuḥsaṃsparśajā  
p.4,16 vedanā śrotagrāṇajihvākāyamaṇaḥ saṃsparśajā [T. 50b] vedanā // evaṃ ṣaḍ vedanākāyāḥ  
p.4,17 sukhā vā duḥkhā aduḥkhāsukhā vā<sup>(3+)</sup> // punaḥ sukhā kāyikī vedanā duḥkhā  
p.4,18 kāyikī vedanā aduḥkhāsukhā kāyikīvedanā sukhā caitasikī vedanā duḥkhā  
p.4,19 caitasikī vedanā aduḥkhāsukhā caitasikī vedanā sukhā sāmiṣavedanā duḥkhā  
p.4,20 sāmiṣavedanā aduḥkhāsukhā sāmiṣavedanā sukhā nirāmiṣavedanā duḥkhā nirāmiṣavedanā  
p.4,21 aduḥkhāsukhā nirāmiṣavedanā punaḥ sukhā gredhāśritavedanā duḥkhā gredhāśritavedanā  
p.4,22 aduḥkhāsukhā gredhāśritavedanā sukhā naiṣkramyāśritavedanā duḥkhā  
p.4,23 naiṣkramyāśritavedanā aduḥkhāsukhā naiṣkramyāñnitavedanā ca // kāyikī  
p.4,24 vedanā katamā / pañcaviññānasamprayuktā vedanā // caitasikī vedanā katamā /  
p.4,25 manovijñānasamprayuktā vedanā // sāmiṣavedanā katamā / ātmabhāvatrṣṇāsamprayuktā [Pr 5]  
p.5,1 vedanā // nirāmiṣavedanā katamā / tatrṣṇāviprayuktā vedanā<sup>(4+)</sup> //  
p.5,2 gredhāśritavedanā katamā / pañcakāmaguṇatrṣṇāsamprayuktā vedanā // naiṣkramyāśritavedanā  
p.5,3 katamā / tatrṣṇāviprayuktā vedanā<sup>(5+)</sup> /

[AS(Tib) §6: D 47a4-47b3; P 54a5-54b6]

tshor ba'i phung po'i mam par gzhas pa gang zhe na / tshor ba'i tshogs drug ste / mig gi 'dus te reg pa las byung ba'i tshor ba bde ba yang rung / sdug bsgal yang rung / sdug bsgal yang ma yin bde ba yang ma yin pa yang rung ba dang / ma ba dang / sna dang / lce dang / lus dang / yid kyi 'dus te reg pa las byung ba'i tshor ba bde ba yang rung / sdug bsgal yang rung / sdug bsgal yang ma yin bde ba yang ma yin pa yang rung ba ste / bde ba lus kyi yang rung / sdug bsgal lus kyi yang rung / sdug bsgal yang ma yin bde ba yang ma yin pa lus kyi yang rung / bde ba sems kyi yang rung / sdug bsgal sems kyi yang rung / sdug bsgal yang ma yin bde ba yang ma yin sems kyi yang rung / bde ba zang zing dang bcas [P 54b] pa yang rung / sdug bsgal dang / sdug bsgal yang ma yin bde ba yang ma yin pa bzang zang dang bcas pa yang rung / bde ba zang zing med pa yang rung / sdug bsgal dang / sdug bsgal yang ma yin bde ba yang ma yin pa bzang zing med pa yang rung / bde bzhin pa rten pa yang rung / [D 47b] sdug bsgal dang / sdug bsgal yang ma yin bde ba yang ma yin pa zhen pa rten pa yang rung / bde ba mngon par 'byung ba rten pa yang rung / sdug bsgal dang / sdug bsgal yang ma yin bde ba yang ma yin pa mngon par 'byung ba rten pa yang rung ba'o // lus kyi gang zhe na / mam par shes pa'i tshogs lnga dang mtshungs par ldan pa'o // sems kyi gang zhe na / yid kyi mam par shes pa dang mtshungs par ldan pa'o // zang zing dang bcas pa gzhan zhe na / lus la sred pa dang mtshungs pa ldan pa'o // zang zing med pa gang zhe na / de'i sred pa dang ni ldan pa'o // zhen pa rten pa gang zhe na / 'dod pa'i yon tan lang la sed pa dang mtshungs par ldan pa'o // mngon par 'byung ba rten pa gang zhe na / de dang mi ldan pa'o //

[集論 §6: T31.663c18-664a02]

云何建立受蘊。謂六受身。眼觸所生受。耳觸所生受。鼻觸所生受。舌觸所生受。身觸所生受。意觸所生受。如是六受身。或樂或苦或不苦不樂。復有樂身受苦身受不苦不樂身受。樂心受苦心受不苦不樂心受。

復有樂有味受苦有味受不苦不樂有味受。樂無味受苦無味受不苦不樂無味受。復有樂依耽嗜受苦依耽嗜受不苦不樂依耽嗜受。樂依出離受苦依出離受不苦不樂依出離受。

何等身受。謂五識相應受。何等心受。謂意識相應受。何等有味受。謂自體愛相應受。何等無味受。謂此愛不相應受。何等依耽嗜受。[Ch 664a]謂妙五欲愛相應受。何等依出離受。謂此愛不相應受。

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §6

[ASBh §6: Tatia 4,6-10]

- p.4,6 (§6) §6. vedanāskandhavyavasthānam āśrayataḥ svabhāvata āśrayasaṃkalanataḥ  
saṃkleśavyavadānataś  
p.4,7 (§6) ca tatra rūpāśrayasaṃkalanataḥ kāyikīvedanāvyavasthānam ārūpyāśrayasaṃkalanataś  
p.4,8 (§6) caitasikīvedanāvyavasthānam saṃkleśataḥ sāmiṣādīnām vyavadānato  
p.4,9 (§6) [As. P. 5] nirāmiṣādīnām vyavasthānaṃ veditavyam tattṛṣṇāviyukteti  
p.4,10 (§6) viśaṃyuktā viśaṃyogyānukūlā ca veditavyā

[ASVy(Tib) §6: D 123a4-123b4; P 150a8-151a1]

tshor ba'i phung po'i mam par gnas pa gang tshor ba'i tshogs drug ste / mig gi 'dus te reg pa las skyes pa'i che ba'i bde ba'am /  
sdug bsngal lam / sdug bsngal dang bde ba'ang [P 150b] min pa'o // rna ba dang / sna dang / lee dang / lus dang / yid kyi 'dus te  
reg pa las skyes pa'i tshor ba'i bde ba'am / sdug bsngal lam / sdug bsngal dang bde ba'ang min pa ste / bde ba lus kyis sam / sdug  
bsngal lus kyis sam / sdug bsngal dang bde ba'ang min pa lus kyis sam / bde ba sems kyis sam / sdug bsngal sems kyis sam / sdug  
bsngal dang bde ba'ang min par sems kyis sam / bde ba dug bcas sam / sdug bsngal lam sdug bsngal dang bde ba'ang min par dug  
bcas sam / bde ba dug med dam / sdug bsngal lam / sdug bsngal dang bde ba'ang min pa dug med dam / bde bzhin pa brten pa'am  
/ sdug bsngal lam / sdug bsngal dang bde ba'ang min pa zhen pa brten pa'am / bde ba mngon par 'byung ba brten pa'am / sdug  
bsngal lam / sdug [D 123b] bsngal dang bde ba'ang min pa mngon par 'byung ba brten pa'ang rung ngo // lus kyi gang / rnam par  
shes pa'i tshogs lnga dang mtshungs ldan no // sems kyi gang / yid kyi rnam shes dang mtshungs ldan no // dug bcas gang / lus la  
sred pa dang mtshungs ldan no // dug med gang / de'i sred pa dang mi ldan pa'o // zhen pa brten pa gang / 'dod pa'i yon tan lnga la  
sred pa dang mtshungs ldan no // mngon par 'byung ba la brten pa gang / de dang mi ldan pa'o // tshor ba'i phung po ni gnas dang /  
rang gi ngo bo nyid dang / gnas sdom pa dang / kun nas nyon mongs pa dang / rnam par byang bas rnam par gzhag go / de la  
gzugs kyi gnas sdom pas ni / lus kyi tshor ba rnam par gzhag go // gzugs med pa'i gnas sdom pas ni sems kyi tshor ba rnam par  
gzhag go // kun nas nyon mongs pas ni dug dang bcas pa la sogs pa rnam kyi'o // rnam par byang bas ni dug med pa la sogs pa  
rnam kyi mam par gzhag par rig par [P 151a] bya'o // de'i sred pa dang mi ldan pa ni nyon mongs pa rnam mtshungs par ldan pa  
ma yin par rig par bya'o //

[雜集論 §6: T31.696c03-18]

云何建立受蘊。謂六受身眼觸所生受。乃至意觸所生受。若樂若苦若不苦不樂。復有樂身受苦身受不苦不樂身受<sup>70</sup>  
。樂心受苦心<sup>71</sup>受不苦不樂心\*受。

復有樂有味受苦有味受不苦不樂有味受。\*樂無味受苦無味受不苦不樂無味受。復有樂依耽嗜受苦依耽嗜受不苦  
不樂依耽嗜受。樂依出離受苦依出離受不苦不樂依出離受。

身受者。謂五識相應受。心受者。謂意識相應受。有味受者。謂自體愛相應受。無<sup>72</sup>味受者。謂此愛不相應受。依  
耽嗜受者。謂妙五欲愛相應受。依出離受者。謂此愛不相應受。

如是建立由四種因。謂所依故自體故。集所依故。雜染清淨故。集色所依建立身受。集無色所依建立心受。由雜  
染故建立有味等。由清淨故建立無味等。此愛不相應者。謂離繫及隨順離繫。

<sup>70</sup> (又有) + 樂 (聖) \*

<sup>71</sup> [受] - (聖) \*

<sup>72</sup> 味受 = 受味

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §7-8

[AS §7-8: Gokhale 15,20-32]

- p.15,20 A
- p.15,21 [saṃjñāskandhavyavasthānaṃ katamat / ṣaṭ saṃjñākāyāḥ / cakṣuḥsaṃsparśajā saṃjñā  
śrotraghrāṇa]jihvākāyamaṇḥsaṃsparśajā
- p.15,22 (fol. 3a) saṃjñā / yathā sanimittam api saṃjñānāti, animittam api, parīttam api, mahadgatam
- p.15,23 api, apramāṇam api, nāsti kiñcid ityākīñcanyāyatanam api saṃjñānāti // sanimittasaṃjñā katamā /
- p.15,24 avyavahāra kuśalasyānimittadhātusamāpannasya bhavāgrasamāpannasya ca saṃjñāṃ sthāpayitvā yāvad  
anyā saṃjñā //
- p.15,25 animittasaṃjñā katamā / yā sthāpitā saṃjñā // parīttā saṃjñā katamā / yayā kāmādhātum saṃjñānāti //
- p.15,26 mahadgatā saṃjñā katamā / yayā rūpadhātum saṃjñānāti // apramāṇasaṃjñā katamā / yayā  
ākāśānāntyāyatanam
- p.15,27 vijñānāntyāyatanam ca saṃjñānāti // akiñcānasaṃjñā katamā / yayā ākiñcanyāyatanam
- p.15,28 saṃjñānāti //
- p.15,29 saṃskāraskandhavyavasthānaṃ katamat / ṣaṭ cetanākāyāḥ / cakṣuḥsaṃsparśajā cetanā,  
śrotraghrāṇajihvākāyamaṇḥsaṃsparśajā
- p.15,30 cetanā / yayā kuśalatvāya cetayate, saṃkleśāya cetayate, avasthābhedāya
- p.15,31 cetayate / itīyaṃ cetanā vedanāṃ saṃjñāṃ ca sthāpayitvā tad anye caitasikā dharmāścittaviprayuktās ca
- p.15,32 saṃskārāḥ saṃskāraskandha ity ucyate //

[AS §7-8: Pradhan 5,4-17]

- p.5,4 saṃjñāskandhavyavasthānaṃ katamat / ṣaṭ saṃjñākāyāḥ / cakṣuḥsaṃsparśajā saṃjñā /
- p.5,5 <sup>(6+)</sup>śrotraghrāṇajihvākāyamaṇḥsaṃsparśajā [Ph. 1A1 = Ms. 3a]
- p.5,6 saṃjñā yathā sanimittam [T. 51a] api saṃjñānāti
- p.5,7 animittam api<sup>(1+)</sup> parīttam api mahadgatam<sup>(2+)</sup> apy apramāṇam api nāsti kiñcid ityākīñcanyāyatanam
- p.5,8 api saṃjñānāti // sanimittasaṃjñā katamā / avyavahāra kuśalasyānimittadhātusamāpannasya
- p.5,9 bhavāgrasamāpannasya ca saṃjñāṃ sthāpayitvā yāvad anyā saṃjñā // animittasaṃjñā (i)
- p.5,10 katamā / yā sthāpitā saṃjñā // parīttā saṃjñā katamā / yayā<sup>(3+)</sup> kāmādhātum
- p.5,11 saṃjñānāti // mahadgatā<sup>(4+)</sup> saṃjñā katamā / yayā rūpadhātum saṃjñānāti // apramāṇasaṃjñā
- p.5,12 katamā / yayā ākāśānāntyāyatanam [Ch 2b] vijñānāntyāyatanam
- p.5,13 saṃjñānāti // akiñcānasaṃjñā<sup>(5+)</sup> katamā / yayā ākiñcanyāyatanam saṃjñānāti //
- p.5,14 saṃskāraskandhavyavasthānaṃ katamat / ṣaṭ (ii) cetanākāyāḥ / cakṣuḥsaṃsparśajā
- p.5,15 cetanā śrotraghrāṇajihvākāyamaṇḥsaṃsparśajā<sup>(6+)</sup> cetanā yayā kuśalatvāya cetayate
- p.5,16 saṃkleśāya cetayate avasthābhedāya cetayate itīyaṃ cetanā vedanāṃ saṃjñāṃ ca sthāpayitvā
- p.5,17 tad anye caitasikā dharmāścittaviprayuktās ca saṃskārāḥ saṃskāraskandha ity ucyate //

[AS(Tib) §7-8: D 47b3-48a3; P 54b6-55a7]

'du shes kyi phung po'i nram par gzhag pa gang zhe na / 'du shes kyi tshogs drug ste / mig gi 'dus te reg pa las byung ba'i 'du shes dang / ma ba dang / sna dang / lce dang / lus dang / yid kyi 'dus te reg pa las byung ba'i 'du shes te / gang gis mtshan ma dang bcas pa yang yang dag par shes shing / mtshan ma med pa dang / chung ngu dang / rgya chen por gyur pa dang / tshad med pa dang / ci yang med do snyam nas / ci yang med pa'i skye mched kyang yang dag par shes pa'o // mtshan ma dang bcas pa'i 'du shes gang zhe na / tha snyad la mi mkhas pa dang / mtshan ma med pa'i [P 55a] dbyings la snyoms par zhugs pa dang / srid pa'i rtse mo la snyoms par zhugs pa'i 'du shes ma gtogs pa gang de las gzhan pa'i 'du shes so // mtshan ma med pa'i 'du shes gang zhe na / 'du shes gang ma gtogs pa'o // chung ngu'i 'du shes gang zhe na / gang gis 'dod pa'i khams shes pa'o // rgya chen por gyur pa'i 'dus shes gang zhe na / gang gis gzugs kyi khams shes pa'o // tshad med pa'i 'du shes gang zhe na / gang gis nam mkha' mtha' yas skye mched dang / mam shes mtha' yas skye mched shes pa'o // ci yang med pa'i 'du shes gang zhe na / gang gis [D 48a] ci yang med pa'i skye mched shes pa'o // 'du byed kyi phung po'i nram par gzhag pa gang zhe na / sems pa'i tshogs drug ste / mig gi 'dus te reg pa las byung ba'i sems pa dang / ma ba dang / sna dang / lce dang / lus dang / yid kyi 'dus te reg pa las byung ba'i sems pa ste / gang gis dge ba'i phyir yang sems par byed / kun nas nyon mongs pa'i phyir yang sems par byed / gnas skabs kyi bye brag la yang sems par byed pa ste / de ltar na sems pa 'di dang / tshor ba dang / 'du shes ma gtogs pa de las gzhan pa'i sems las byung ba'i chos nams dang / sems dang ldan pa ma yin pa'i 'du byed mams ni 'du byed kyi phung po zhes bya'o //

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §7-8

[ASBh §7-8: Tatia 4,11-22]

- p.4,11 (§7) §7. avyavahārakuśalasyāśikṣitabhāṣatayā [Ms. 5B] rūpe saṃjñā bhavati  
p.4,12 (§7) na tu rūpam iti tasmād animittasaṃjñety ucyate animittadhātusamāpannasya  
rūpādisarvanimittāpagate  
p.4,13 (§7) [T. 5B] 'nimitte nirvāṇe saṃjñānimittasaṃjñā bhavāgrasamāpannasya  
p.4,14 (§7) [Ch 697A] apaṭutvenālaṃbanānimittikaraṇād animittasaṃjñā parittaḥ kāmadhātuḥ  
p.4,15 (§7) nikṛṣṭatvāt mahadgato rūpadhātus tata utkrṣṭatvāt śrapramāṇe ākāśavijñānānantyāyatane  
p.4,16 (§7) 'paryantatvāt tasmāt tadālaṃbanāḥ saṃjñāḥ parittādisaṃjñā  
p.4,17 (§7) veditavyāḥ  
p.4,18 (§8) §8. vedanāsaṃjñāvarjyānām sarveṣāṃ caitasikānām cittaviprayuktānām ca  
p.4,19 (§8) saṃskāraskandhalakṣaṇatve cetanāmātrasyaiva tannirdeśe grahaṇaṃ tatpūrvakatvād  
itareṣāṃ iti  
p.4,20 (§8) kāraṇajñāpanārtham āha yayā kuśalatvāya cetayata ity evamādi tatra kuśalā vakṣyamāṇāḥ  
p.4,21 (§8) śraddhādayaḥ saṃkleśā rāgādayaḥ kleśopakleśāḥ [Ms. 6A] avasthābhedataḥ  
p.4,22 (§8) cetanāpreritasamskārāvasthāsu prajñaptāḥ cittaviprayuktāḥ saṃskārāḥ

[ASVy(Tib) §7-8: D 123b4-124b2; P 151a1-152a1]

'du shes kyi phung po'i rnam par shes pa gang / 'du shes kyi tshogs drug ste / mig gi 'dus te reg pa las skyes pa'i 'du shes dang / ma ba dang / sna dang / lce dang / lus dang / yid kyi 'dus te reg pa las skyes pa'i 'du shes te / gang gi mtshan ma dang bcas pa'i yang dag pa shes shing mtshan ma med pa dang / chung ngu dang / chen por gyur pa dang / tshad med pa dang / ci yang med pa'i skye mched kyang yang dag par shes pa'o // mtshan ma dang bcas pa'i 'du shes gang / gang gis tha snyad la mi mkhas pa dang / mtshan ma med pa'i dbyings la snyoms par zhugs pas rnam par gnas pa dang / srid pa'i rtse mo la snyoms par zhugs pa'i 'du shes ma gtogs pa gang / de las gzhan pa'i 'du shes so // mtshan ma med pa'i 'du shes gang / 'du shes gang ma gtogs pa'o // chung ngu'i 'du shes gang / gang gis 'dod pa'i khamshes pa'o // chen por gyur pa'i 'du shes gang / gang gis gzugs [D 124a] kyi khamshes pa'o // tshad med pa'i 'du shes gang / gang gis nam mkha' mtha' yas skye mched dang / rnam shes mtha' yas skye mched dang / rnam shes mtha' yas skye mched shes pa'o // ci yang med pa'i 'du shes gang / gang gis ci yang med pa'i skye mched shes pa'o // tha snyad la mi mkhas pa ni skad ma bsal pas ni gzugs la 'du shes ni 'byung na gzugs snyam du mi shes pa ste / de'i phyir mtshan ma med pa'i 'du shes zhes bya'o // mtshan ma med pa'i dbyings la snyoms par zhugs pa ni / gzugs la sogs pa'i mtshan ma thams cad dang bral ba mtshan ma med pa'i mya ngan las 'das pa la 'du shes pa ni mtshan ma med pa'i 'du shes so // srid pa'i rtse mo la snyoms par zhugs [P 151b] pa'i 'du shes ni mi gsal bas dmigs pa la mtshan mar mi byed pa'i phyir mtshan ma med pa'i 'du shes so // chung ngu'i ni 'dod pa'i khamshes pas te ngan pa'i phyir ro // chen por gyur pa ni gzugs kyi khamshes pa ste / de bas mchog tu gyur pa'i phyir ro // tshad med pa ni nam mkha' dang / rnam shes mtha' yas skye mched pa ste / mtha' yas pa'i phyir ro // des na de dag la dmigs pa'i 'du shes ni chung ngu la sogs pa'i 'du shes su rig par bya'o // 'du byed kyi phung po'i rnam par gnas pa gang / sems pa'i tshogs drug ste / mig gi 'dus te reg pa las skyes pa'i sems pa dang / rna ba dang / sna dang / lce dang / lus dang / yid kyi 'dus te reg pa las skyes pa'i sems pa ste / gang gi dge ba'i phyir yang sems / kun nas nyon mongs pa'i phyir yang sems / gnas skabs kyi dbye ba la yang sems te / de ltar na tshor ba dang 'du shes ma gtogs pa sems pa 'di dang / de las gzhan pa'i sems las byung ba'i chos rnamshes dang / sems dang mi ldan pa'i 'du byed rnamshes ni 'du byed kyi phung po zhes brjod do // tshor ba dang 'du shes ma gtogs pa sems las byung ba thams cad dang / sems dang ldan pa ma yin pa rnamshes ni 'du byed kyi phung po'i mtshan nyid kho na yin te / de bstan pa la dang po sems pa 'ba' zhig tsam bzung ba ni de gzhan dag gi sngon du 'gro ba'i phyir ro // shes par byed pa'i gtan tshigs bstan pa ni / gang gis [D 124b] dge ba'i phyir yang sems zhes bya ba la sogs pa rnamshes so // de la dge ba ni dad pa la sogs pa 'chad par 'gyur ba rnamshes so // kun nas nyon mongs pa ni / 'dod chags la sogs pa'i nyon mongs pa rnamshes dang nye ba'i nyon mongs pa rnamshes so // gnas skabs kyi dbye ba ni / sems pas bskyed pa'i 'du byed kyi [P 152a] gnas skabs rnamshes la btags pa sems dang ldan pa ma yin pa'i 'du byed rnamshes so //

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §7-8

[集論 §7-8: T31.664a03-17]

云何建立想蘊。謂六想身。眼觸所生想。耳觸所生想。鼻觸所生想。舌觸所生想。身觸所生想。意觸所生想。由此想故。或了有相。或了無相。或了小或了大。或了無量。或了無少所有無所有處。

何等有相想。謂除不善言說無想界定及有頂定想。所餘諸想。何等無相想。謂所餘想。

何等小想。謂能了欲界想。何等大想。謂能了色界想。何等無量想。謂能了空無邊處識無邊處想。

何等無少所有無所有處想。謂能了無所有處想

云何建立行蘊。謂六思身。眼觸所生思。耳觸所生思。鼻觸所生思。舌觸所生思。身觸所生思。意觸所生思。由此思故思作諸善。思作雜染。思作分位差別。

又即此思除受及想與餘心所法心不相應行。總名行蘊。

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §7-8

[雜集論 §7-8: T31.696c18-697a14]

云何建立想蘊。謂六想身。眼觸所生想。乃至意觸所生想。由此想故或了有相。或了無相。或了小大無量。或了無少所有無所有處有<sup>73</sup>相想者。謂除不善言說無相界定及有頂定想所餘想。無相想者。謂前所除想。小想者。謂能了欲界想。大想者。謂能了色界想。無量想者。謂能了空。無邊處識無邊處想。無所有處想者。謂能了無所有處想。不善言說想者。謂未學語言故。雖於色起想而不能了。此名為色故名無相想。無相界定想者。謂離色等一切相無相涅槃想故。名無相想。有<sup>74</sup>頂定想[Ch 697a]者。謂彼想不明利。不能於境圖種種相故。名無相想。

小者。謂欲界下劣故。大者。謂色界增上故。無量者。謂空無邊處識無邊處無邊際故。是故緣彼諸想亦名小大無量

云何建立行蘊。謂六思身。眼觸所生思。乃至意觸所生思。由此思故思作諸善。思作<sup>75</sup>雜染。思作分位差別。又即此思除受及想與餘心所有法并心不相應行。總名行蘊。

雖除受想。一切心所有法及心不相應行。皆行蘊相。然思最勝與一切行為導首。是故<sup>76</sup>偏說。為顯此義故。說由思造善法等。善者。謂當說信等。雜染者。謂當說貪等。根本煩惱及貪等煩惱分少分煩惱。分位差別者。謂於思所發種種行位。假設心不相應行

---

<sup>73</sup> [相] - (聖)

<sup>74</sup> 頂定 = 定頂 (聖)

<sup>75</sup> 雜 = 離 (聖)

<sup>76</sup> 偏 = 遍 (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A

[AS §8A: Gokhale 15,32-16,1]

- p.15,32 te punaḥ katame / manaskāraḥ sparśaḥ chando 'dhimokṣaḥ smṛtiḥ  
p.15,33 samādhiḥ prajñā śraddhā hrīrapatrāpyam alobho 'dveṣo 'moho vīryaṃ praśrabdhir apramāda  
upekṣāvihimsā rāgaḥ pratigho  
p.15,34 mano 'vidyā vicikitsā satkāyadr̥ṣṭir antagrāhadr̥ṣṭir dr̥ṣṭiparāmarśaḥ śīlavrataparāmarśo mithyādr̥ṣṭiḥ  
krodha  
p.15,35 upanāho mraḥṣaḥ pradāśa īrṣyā mātsaryaṃ māyā sāthyam mado vihimsā āhrikyam anapatrāpyam  
styānamauddhatyam  
p.15,36 āśraddhyaṃ kausīdyaṃ pramādo muṣitasmr̥tītāsamprajanyaṃ vikṣepo middhaṃ kaukṛtyaṃ vitarko vicāraś  
ca //  
p.15,37 cetanā katamā / cittābhisamskāro manaskarma / kuśalākuśalāvyākṛteṣu cittapreraṇakarmikā //  
p.15,38 manaskāraḥ katamaḥ / cetasa ābhogaḥ / ālambane cittadhāraṇakarmakaḥ // sparśaḥ katamaḥ /  
trikasannipāta [Go 16]  
p.16,1 indriyavikāraparicchedaḥ / vedanāsanniśrayadānakarmakaḥ //

[AS §8A: Pradhan 5,18-6,4]

- p.5,18 te punaḥ katame <sup>(9+)</sup> manaskāraḥ (iii) sparśaḥ cchando 'dhimokṣaḥ [T. 51b] smṛtiḥ samādhiḥ  
p.5,19 prajñā śraddhā hrīrapatrāpyam alobho 'dveṣo 'moho<sup>77</sup> vīryaṃ praśrabdhir apramāda upekṣā avihinsā  
p.5,20 rāgaḥ pratigho mano 'vidyā vicikitsā satkāyadr̥ṣṭir antagrāhadr̥ṣṭir dr̥ṣṭiparāmarśaḥ  
p.5,21 śīlavrataparāmarśaḥ mithyādr̥ṣṭiḥ krodha upanāhaḥ mraḥṣaḥ pradāśaḥ īrṣyā mātsaryaṃ (iv) māyā  
p.5,22 sāthyam mado vihimsā āhrikyam anapatrāpyam styānamauddhatyam āśraddhyaṃ kausīdyaṃ  
p.5,23 pramādo muṣitasmr̥tītāsamprajanyaṃ vikṣepo middhaṃ kaukṛtyaṃ vitarko vicāraś ca / cetanā [Pr 6]  
p.6,1 katamā / cittābhisamskāro manaskarma<sup>(10+)</sup> / kuśalākuśalāvyākṛteṣu cittapreraṇakarmikā  
p.6,2 // manaskāraḥ katamaḥ / cetasa ābhogaḥ / ālambanacittadhāraṇakarmakaḥ (v) //  
p.6,3 sparśaḥ katamaḥ / trikasannipāte indriyavikāraparicchedaḥ / vedanāsanniśrayadānakarmakaḥ<sup>(11+)</sup>  
p.6,4 //

[AS(Tib) §8A: D 48a3-48b2; P 55a7-55b6]

de dag kyang gang zhe na / sems pa dang / yid la byed pa dang / reg pa dang / 'dun pa dang / mos pa dang / dran pa dang ting nge  
'dzin dang / shes rab dang / dad pa dang / ngo tsha shes pa dang / khrol yod pa dang / ma chags pa dang / zhe sdang med pa dang / gtī  
mug med pa dang / brtson [P 55b] 'grus dang / shin tu sbyangs pa dang / bag yod pa dang / btang snyoms dang / rnam par mi 'tshē ba  
dang / 'dod chags dang / khong khro bo dang / nga rgyal dang / ma rig pa dang / the tshom dang / 'jig tshogs la lta ba dang / mthar  
'dzin par lta ba dang / lta ba mchog tu 'dzin pa dang / tshul khriṃs dang brtul zhugs mchog tu 'dzin pa dang / log par lta ba dang / kho  
ba dang / khon du 'dzin pa dang / 'chag pa dang / 'tshig pa dang / phrag dog dang / ser sna dang / sgyu dang / g-yo dang / mam par  
'tshē ba dang / ngo tsha med pa dang / khrol med pa dang / rmugs pa dang / rgod pa dang / ma dad pa dang / le lo dang / bag med pa  
dang / brjed ngas pa dang / shes bzhin ma yin pa dang / rnam par g-yeng ba dang / gnyid dang / 'gyod pa dang / 'gyod pa dang / rtog  
pa dang dpyod pa'o // sems pa gang zhe na / sems mngon par 'du byed pa yid kyi las te / dge ba [D 48b] dang mi dge ba dang lung du  
ma bstan pa rnam la sems 'jug par byed pa'i las can no // yid la byed pa gang zhe na / sems kyi 'jug pa ste / dmigs pa la sems 'dzin  
pa'i las can no // reg pa gang zhe na / gsum 'dus nas dbang po'i 'gyur ba yongs su gcod ba ste / tshor ba'i rten byed pa'i las can no //

[集論 §8A: T31.664a18-27]

何等名為餘心所法。謂作意觸欲勝解念三摩地慧信慚愧無貪無瞋無癡勤安不放逸捨不害貪瞋慢無明疑薩迦耶見邊  
執見見取戒禁取耶見忿恨覆<sup>78</sup>惱嫉慳誑諂憍害無慚無愧昏沈掉舉不信懈怠放逸忘念不正知散亂睡眠惡作尋伺

何等為思。謂於心造作意業為體。於善不善無記品中役心為業。

何等作意。謂發<sup>79</sup>動心為體。於所緣境持心為業。

何等為觸。謂依三和合諸根變異分別為體。受所依為業。

<sup>77</sup> Pr: 'mohoh.

<sup>78</sup> 惱 = 害 (宮)

<sup>79</sup> 動 = 慚 (宮)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A

[ASBh §8A: Tatia 4,23-5,4]

- p.4,23 (§8A) §8A. cetanādīnāṃ caitasikānāṃ lakṣaṇataḥ karmataś ca nirdeśo veditavyaḥ  
 p.4,24 (§8A) tatra (i) cetanāyāḥ [As. P. 6] cittābhisamṣkāro manaskarmeti lakṣaṇanirdeśaḥ  
 p.4,25 (§8A) kuśalākuśalāvyaḥkrteṣu cittapreraṇakarmiketī karmanirdeśaḥ tathā hi [T. 6A]  
 p.5,1 (§8A) [Ta 5] yathābhisamṣkāraṃ kuśalādiṣu dharmeṣu cittasya pravṛttir bhavatīti (ii) ālambane  
 p.5,2 (§8A) cittadhāraṇaṃ tatraiva punaḥ punar āvarjanaṃ veditavyam ata eva [Ch 697B]  
 p.5,3 (§8A) samādhilābhī mana(h)samṣkāralābhīty ucyate (iii) vijñānotpattāv indriyasya  
 p.5,4 (§8A) sukhāivedanotpattyanukūlo yo vikāras tadākāraḥ sparśo veditavyaḥ

[ASVy(Tib) §8A: D124b2-125a3; P 152a1-152b4]

de yang gang yid la byed pa dang reg pa dang / 'dun pa dang / mos pa dang / dran pa dang / ting nge 'dzin dang / shes rab dang / dad pa dang / ngo tsha dang / khrel dang / ma chags pa dang / zhe sdang med pa dang / gtī mug med pa dang / brtson 'grus dang / shin tu sbyongs pa dang / bag yod pa dang / btang snyoms dang / rnam par mi 'tshes ba dang / 'dod chags dang / khong khro dang / nga rgyal dang / ma rig pa dang / the tshom dang / tshogs can la lta ba dang / mthar 'dzin par lta ba dang / lta ba mchog dang / tshul khriṃs dang brtul zhugs mchog dang / mi bden par lta ba dang / khro ba dang / khon dang / 'chab pa dang / 'tshig pa dang / phrag dog dang / ser sna dang / sgyu dang / g-yo dang / rgyags pa dang / rnam par 'tshes ba dang / ngo tsha med pa dang / khrel med pa dang / rmugs pa dang / rgod pa dang / ma dad pa dang / le lo dang / bag med pa dang / brjed ngas pa dang / shes bzhin ma yin pa dang / rnam g-yeng dang / gnyid dang / 'gyod pa dang / rnam par rtog pa dang / rnam par dpyod pa'o // sems pa la sogs pa'i sems las byung ba rnams ni mtshan nyid dang / las kyis bstan par rig par bya'o // sems pa gang sems mngon par 'du byed pa yid kyi las dge ba dang / mi dge ba dang / lung du ma bstan pa rnams la sems 'jug par byed pa'i las can no // de la sems pa ni sems mngon par 'du byed pa yid kyi las de gces pas mtshan nyid bstan to // dge ba dang mi dge ba dang lung du ma bstan pa rnams la sems 'jug par byed pa'i las can zhes pas las bstan te / 'di ltar ji ltar mngon par 'dus byas pa la dge ba la sogs pa'i [P 152b] chos rnams la sems 'jug par 'gyur [D 125a] ba'i phyir ro // yid la byed pa gang sems kyi 'jug pa dmigs pa la sems 'dzin pa'i las can no // dmigs pa la sems 'dzin pa ni de dag la yang dang yang du gtod par rig par bya'o // de'i phyir yid la byed pa thob pa ni / ting nge 'dzin thob par brjod do // reg pa gang gsum 'dus nas dbang po'i rnam 'gyur yongs su gcod pa tshor ba 'byung ba'i rten gyi las can no // rnam par shes pa 'byung ba la / bde ba la sogs pa'i tshor ba 'byung ba dang mthun par dbang po'i 'gyur ba gang yin pa'i rnam pa de ni reg par rig par bya'o // 'dun pa gang / 'dod pa'i dngos po la de dang de nye bar len par byed 'dod pa nyid brtson 'grus rtsom pa 'byung ba'i rten gyi las can no // de dang de'i phyir byed 'dod pa nyid ces pa ni lta ba dang / nyan pa la sogs pa byed par 'dod pa thams cad bsdu pa'i phyir ro //

[雜集論 §8A: T31.697a15-697b04]

問何等名餘心所有法。答所謂作意觸欲勝解念三摩地慧信。慚愧無貪無瞋無癡勤安不放逸捨。不害貪瞋慢無明。疑薩迦<sup>80</sup>耶見邊執見見取戒禁取邪見忿恨覆<sup>81</sup>惱嫉慳誑諂<sup>82</sup>害無慚無愧昏沈掉<sup>83</sup>舉不信懈怠忘念不正知散亂睡眠惡作尋伺。如是思等五十五法。若遍行若別境若善若煩惱若隨煩惱若不定。如其次第五十一二十四應知。又此諸心所有法若相若業。當廣分別

<sup>83</sup>思者。於心造作意業為體。於善不善無記品中役心為業。於心造作意業為體者。此辯其相。於善等品中役心為業者。此辯 \* 其業。以<sup>84</sup>於所作善等法中發起心故

作意者。發動心為體。於所緣境持心為業。於所緣境持心者。謂即於此境數數引心。是故[Ch 697b]心得定者名得作意。

觸者。依三和合諸根變異分別為體。受所依為業。謂識生時所依諸根隨順生起苦樂等受變異行相。隨此行相分別觸生

<sup>80</sup> 耶 = 邪 (宋) (元)

<sup>81</sup> 惱 + ( ) (宮)

<sup>82</sup> 舉 = (聖)

<sup>83</sup> 思 = (聖)

<sup>84</sup> 於 = 相 (聖) \*

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(1)

[AS §8A(1): Gokhale 16,1-6]

- p.16,1 chandaḥ katamaḥ / īpsite vastuni  
p.16,2 tattadupasamḥatā kartukāmatā / vīryā[rambha]sanniśrayadānakarmakaḥ // adhimokṣaḥ katamaḥ / niścite  
p.16,3 vastuni yathāniścayaṃ dhāraṇā / asaṃhāryatākarmakaḥ // smṛtiḥ katamā / saṃstute vastuni cetaso  
'saṃpramoṣaḥ  
p.16,4 / avikṣepakarmikā // samādhiḥ katamaḥ / upaparīkṣye vastuni cittasyaikāgratā /  
jñānasanniśrayadānakarmakaḥ  
p.16,5 // prajñā katamā / upaparīkṣya eva vastuni dharmāṇāṃ pravīcayaḥ saṃśayavyāvartanakarmikā  
p.16,6 //

[AS §8A(1): Pradhan 6,4-9]

- p.6,4 cchandaḥ katamaḥ / īpsite vastuni tattadupasamḥatā kartukāmatā<sup>85</sup> /  
p.6,5 (12+)vīryādānasanniśrayadānakarmakaḥ<sup>86</sup> // adhimokṣaḥ katamaḥ / niścite vastuni  
p.6,6 yathāniścayaṃ dhāraṇā / asaṃhāryatākarmakaḥ // smṛtiḥ (vi) [T. 52a] katamā /  
p.6,7 saṃsmṛte<sup>87(1+)</sup> vastuni cetasaḥ (1a) asaṃpramoṣa 'vikṣepakarmikā // samādhiḥ katamaḥ /  
p.6,8 upaparīkṣye vastuni cittasyaikāgratā / jñānasanniśrayadānakarmakaḥ // prajñā katamā /  
p.6,9 upaparīkṣya eva vastuni dharmāṇāṃ pravīcayaḥ / saṃśayavyāvarttanakarmikā //

[AS(Tib) §8A(1): D 48b2-4; P 55b6-56a2]

'dun pa gang zhe na / 'dod pa'i dngos po la / de dang de ldan par byed 'dod pa nyid de / brtson 'grus rtsom pa'i rten byed las can no  
// mos pa gang zhe na / nges pa'i dngos po la ji ltar nges pa bzhin du 'dzin pa ste / mi 'phrogs pa nyid kyi las can no // dran pa gang  
zhe na / 'dris pa'i dngos po la sems kyi brjed pa med pa ste / mnam par mi g-yeng ba'i las can no // ting nge 'dzin gang zhe na / brtag  
pa'i dngos po la [P 56a] sems rtse gcig pa nyid de / shes pa'i rten byed pa'i las can no // shes rab gang zhe na / brtag pa'i nyid kyi  
dngos po'i chos rnam la rab tu mnam par 'byed pa ste / smon nyi bzlog pa'i las chan no //

[集論 §8A(1): T31.664a28-664b05]

何等爲欲。謂於所樂事彼彼引發所作希望爲體。正勤所依爲業。  
何等勝解。[Ch 664b]謂於決定事隨所決定印持爲體。不可引轉爲業。  
何等爲念。謂於串習事令心明記不忘爲體。不散亂爲業。  
何等三摩地。謂於所觀事令心一境爲體。智所依止爲業。  
何等爲慧。謂於所觀事擇法爲體。斷疑爲業

<sup>85</sup> Go: kartukāmatā.

<sup>86</sup> Go: vīryā[rambha]sanniśrayadānakarmakaḥ.

<sup>87</sup> Go: saṃstute.

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(1)

[ASBh §8A(1): Tatia 5,4-5,10]

- p.5,4 (§8A) (iv) tattadupasamhitā  
p.5,5 (§8A) kartukāmateti darśanaśravaṇādisarvakriyecchāsaṃgrahārtham (v) yathāniścayaṃ  
p.5,6 (§8A) dhāraṇā evam etan nānyathety adhimuktiḥ ata eva tatpradhāno 'nyaiḥ saṃhartuṃ na śakyate  
p.5,7 (§8A) (vi) saṃstutaṃ [Ms. 6B] vastu pūrvānubhūtaṃ veditavyam avikṣepakarmikatvaṃ punaḥ  
smṛter  
p.5,8 (§8A) ālambanābhilapane sati cittāvikṣepatām upādāya (vii) cittasyaikāgratāvikṣepaḥ  
p.5,9 (§8A) jñānasamniśrayadānaṃ samāhitacittasya yathābhūtajñānāt (viii) saṃśayavyāvartanaṃ  
prajñayā  
p.5,10 (§8A) dharmān pravacinvato niścayaalābhāt

[ASVy(Tib) §8A(1): D 125a3-7; P 152b4-153a1]

mos pa gang / nges pa'i dngos po la ji ltar nges par 'dzin pas mi 'phrogs pa nyid kyi las can no // ji ltar nges par 'dzin pa ni 'di ni de bzhin te gzhan du ma yin pa'o zhes mos pa'o // de'i phyir de gces su byed pa ni / gzhan dag gis 'phrogs par mi nus so // dran pa gang / 'dris pa'i dngos po la sems brjod pa med pa'i don mnam par mi g-yeng ba'i las can no // 'dris pa'i dngos po ni sngon myong bar rig par bya'o // mnam par mi g-yeng ba'i las ni slar dran pas mngon par brjod par 'gyur ba na mnam par g-yeng ba med pa nye bar skyed pa'i phyir ro // ting nge 'dzin gang / nye bar brtag pa'i dngos po la sems rtse gcig pa shes pas 'byung ba'i rten gyi las can no // sems rtse gcig pa nyid mnam par g-yeng ba med pa'o // shes pa 'byung ba'i rten ni sems mnyam par gzhas na yang dag pa ji lta ba bzhin du shes pa'i phyir ro // shes rab gang / nye bar [P 153a] brtags pa nyid kyi dngos po'i chos rnams la rab tu mnam par 'byed pa som nyi bzlog pa'i las can no // som nyi bzlog pa ni shes rab kyi chos rnams rab tu mnam par phyen nges pa myed pa'i phyir ro //

[雜集論 §8A(1): T31.697b05-18]

欲者於所樂事彼彼引發所作希望為體。正勤所依為業。彼彼引發所作希望者。謂欲引攝見聞等一切作用故。

勝解者。於決定事隨所決定印持為體。不可引轉為業。隨所決定印持者。謂是事必爾非餘決了勝解。由勝解故所有勝緣不能引轉。

念者。於串習事令心明記不忘為體。不散亂為業。串習事者。謂先所受。不散亂業者。由<sup>88</sup>念於境明記憶故令心不散

三摩地者。於所觀事令心專一為體。智所依止為業。令心專一者。於一境界令心不散故。智所依者。心<sup>89</sup>處靜<sup>90</sup>定知如實故

慧者。於所觀事擇法為體。斷疑為業。<sup>91</sup>斷疑者。謂由慧擇法得決定故

<sup>88</sup> 念 = 爾 (聖)

<sup>89</sup> 處 = 受 (聖)

<sup>90</sup> (禪) + 定 (聖)

<sup>91</sup> 斷 = 師 (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(2)

[AS §8A(2): Gokhale 16,7-12]

- p.16,7 śraddhā katamā / astitvaguṇavattvaśakyatveṣv abhisampratyayaḥ (fol. 3b) prasādo 'bhilāṣaḥ /  
chandāsanniśrayadānakarmikā  
p.16,8 // hrīḥ katamā / svayam avadyena lajjanā / duścaritasamṃyamasanniśrayadānakarmikā //  
p.16,9 apatrāpyaṃ katamat / parato 'vadyena lajjanā / tatmakam eva // alobhaḥ katamaḥ / bhava  
bhavopakaraṇeṣu  
p.16,10 vānāsaktiḥ / duścaritāpravṛttisanniśrayadānakarmakaḥ // adveṣaḥ katamaḥ / sattveṣu duḥkhe  
p.16,11 duḥkhaṣṭhānīyeṣu ca dharmeṣv anāghātaḥ / duścaritāpravṛttisanniśrayadānakarmakaḥ // amohaḥ katamaḥ /  
vipākato  
p.16,12 vā āgamato vādhigamato vā jñānaṃ pratisamkhyā / duścaritāpravṛttisanniśrayadānakarmakaḥ //

[AS §8A(2): Pradhan 6,9-17]

- p.6,9 śraddhā  
p.6,10 katamā / astitvaguṇavattvaśaktatveṣv<sup>92</sup> abhisampratyayaḥ (vii) [Ph. 1B1 = Ms. 3b]  
p.6,11 prasādo 'bhilāṣaḥ / cchandāsanniśrayadānakarmikā // hrīḥ katamā / svayam avadyena  
p.6,12 lajjanā / duścaritasamṃyamasanniśrayadānakarmikā // apatrāpyaṃ katamat / parato 'vadyena  
p.6,13 lajjanā / tatmakam eva<sup>(2+)</sup> // alobhaḥ katamaḥ / bhava bhavopakaraṇeṣu vā  
p.6,14 anāsaktiḥ duścaritāpravṛttisanniśrayadānakarmakaḥ // adveṣaḥ katamaḥ / sattveṣu duḥkhe  
p.6,15 duḥkhaṣṭhānīyeṣu (i) ca dharmeṣv anāghātaḥ<sup>(3+)</sup> / duścaritāpravṛttisanniśrayadānakarmakaḥ // amohaḥ  
p.6,16 katamaḥ / vipākato vā āgamato vādhigamato vā jñānaṃ pratisamkhyā /  
duścaritāpravṛttisanniśrayadānakarmakaḥ  
p.6,17 //

[AS(Tib) §8A(2): D 48b4-49a1; P 56a2-6]

dad pa gang zhe na / yod pa nyid dang / yon tan can dang / nus pa mams la mngon par yid ches ba dang / dad pa dang 'dod pa ste /  
'dun pa'i rten byed pa'i las can no // ngo tsha shes pa gang zhe na / bdag nyid las kha na ma tho bas 'dzem pa ste / nyes par spyod pa  
legs par sdom pa'i rten byed pa'i las can no // khrol yod pa gang zhe na / gzhan las kha na ma tho bas 'dzem pa ste / de'i las can nyid  
do // ma chags pa gang zhe na / srid pa dang srid pa'i yo byad byad mams la chags pa med pa ste / nyes pa spyod pa la mi 'jug pa'i  
rten byed pa'i las can no // zhe sdang med pa gang zhe na / sems can mams dang / sdug bsngal dang sdug bsngal gyi gnas kyi chos  
mams la kun nas mnar sems pa med pa ste / nyes par spyod pa la mi 'jug pa'i rten byed pa'i las can no // gti mug med pa gang zhe na  
/ mam par smon pa las sam / lung las sam / bsam pa las sam / rtogs pa las shes shing so sor brtags pa ste / nyes par spyod pa la [D  
49a] mi 'jug pa'i rten byed pa'i las can no //

[集論 §8A(2): T31.664b06-13]

何等爲信。謂於有體有德有能忍可清淨希望爲體。樂欲所依爲業。  
何等爲慚。謂於諸過惡自羞爲體。惡行止息所依爲業。  
何等<sup>93</sup>爲愧。謂於諸過惡羞他爲體。業如慚說。  
何等無貪。謂於有有具無著爲體。惡行不轉所依爲業。  
何等無瞋。謂於諸有情苦及苦具無<sup>94</sup>恚爲體惡行不轉所依爲業。  
何等無癡。謂由報教證智決擇爲體。惡行不轉所依爲業。

<sup>92</sup> Go: śakyatveṣv.

<sup>93</sup> [爲] - (宮)

<sup>94</sup> 恚 = 表 (宮)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(2)

[ASBh §8A(2): Tatia 5,10-14]

- p.5,10 (§8A) (ix) astitve 'bhisampratayākārā śraddhā  
p.5,11 (§8A) guṇatve prasādākārā śakyatve 'bhilāṣākārā śakyaṃ mayā prāptuṃ niṣpādayituṃ  
p.5,12 (§8A) veti (x-xiii) [Ch 697C] hryādayaḥ sugamatvān na vibhajyante  
p.5,13 (§8A) (xiv) upapattiprātilambhikaṃ śrutacintāmayam bhāvanāmayam ca yathākramaṃ  
vipākāgamādhigamarūpaṃ [T. 6B]  
p.5,14 (§8A) veditavyam pratisamkhyā praññā dhairyasahitā

[ASVy(Tib) §8A(2): D 125a7-125b4; P 153a2-8]

dad pa gang / yod pa nyid dang / yon tan can dang / nus pa rnams la mngon par yid ches pa dang / dang ba dang / 'dod pa [D 125b] dang / 'dun pa 'byung ba'i rten gyi las can no // yod pa nyid la mngon par yid la byed pa'i dad pa dang / yon tan can la rab tu dang bar byed pa dang / nus pa nyid la bdag gis thob par byed pa'am / sgrub par byed nus so snyam du 'dod par byed pa'o // ngo tsha gang / bdag la kha na ma thob bas 'dzem pa nyes pa spyod par legs par sdom pa 'byung ba'i rten gyi las can no // khrel gang / gzhan la kha na ma tho bas 'dzem pa de dang de'i las can no // ma chags pa gang / srid pa dang srid pa'i yo byad rnams la ma chags pa nye bar spyod pa la mi 'jug pa 'byung ba'i rten gyi las can no // zhe sdang med pa gang / sems can rnams dang / sdug bsngal dang / sdug bsngal gyi gnas kyi chos rnams la kun nas 'tshes ba med pa / nyes par spyod pa la mi 'jug pa 'byung ba'i rten gyi las can no // gtig mug med pa gang / mam smin nam lung ngam rtogs pa'am shes pas so sor brtags pa nyes par spyod pa la mi 'jug pa 'byung ba'i rten gyi las can no // skye bas thob pa dang / thos bsams las byung ba dang / bsgoms pa las byung ba ni go rims bzhin du rnam par smin pa dang / lung dang / rtogs pa'i shes par rig par bya'o // brten pa dang 'brel ba'i shes rab ni so sor brtags pa'o //

[雜集論 §8A(2): T31.697b19-697c03]

信者。\* 於有體有德有能忍可清淨希望為體。樂欲所依為業。謂於實有體起忍可行信。於實有德起清淨行信。於實有能起希望行信。謂我有力能得能成  
慚者。於諸過惡自<sup>95</sup>羞為體。惡行止息所依為業  
愧者。於諸過<sup>96</sup>惡 \* 羞他為體。業如慚說。  
無貪者。於有有具無著為體。惡行不轉所依為業  
無瞋者。於諸有情苦及苦具無恚為體。惡行不轉所依為業  
無癡者。由報教證智決擇為體。惡行不轉所[Ch 697c]依為業。慚等易了故不再<sup>97</sup>釋。報教證智者。謂生得聞思修所生慧。如<sup>98</sup>次應知。決擇者。謂慧勇<sup>99</sup>勤俱

<sup>95</sup> 羞 = 著 (聖) \*

<sup>96</sup> [ 惡 ] - (聖)

<sup>97</sup> 釋 = 擇 (聖)

<sup>98</sup> 次 + (第) (聖)

<sup>99</sup> 勤 = 對 (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(3)

[AS §8A(3): Gokhale 16,12-19]

- p.16,12 vīryaṃ  
p.16,13 katamat / kuśale cetaso 'bhyutsāhaḥ sannāhe vā prayoge vālinatve vāvyāvṛttau vāsaṃtuṣṭau vā /  
p.16,14 kuśalapakṣaparipūraṇapariniṣpādanakarmakaḥ // praśrabdhiḥ katamā / kāyacittadauṣṭhulyānāṃ  
pratipraśrabdheḥ  
p.16,15 kāyacittakarmanyatā / sarvāvaraṇaṇiṣkarṣaṇakarmikā // apramādaḥ katamaḥ /  
savīryakānalobhādveṣāmohān niśritya  
p.16,16 yā kuśalānāṃ dharmānāṃ bhāvanā sāsraṇebhyaś ca dharmeḥbhyaś cittāraḥṣā / sa ca  
laukikalokottarasampattiparipūraṇaṇiṣpādanakarmakaḥ  
p.16,17 // upekṣā katamā / savīryakānalobhādveṣāmohān niśritya yā  
p.16,18 saṃklišṭāvihāravairodhikī cittasamatā cittapraśaṭhatā cittasyānābhogāvasthitatā /  
saṃkleśānavakāśasanniśrayadānakarmikā  
p.16,19 // avihimsā katamā / adveṣaikāṃśikā karuṇatā / avihetṭhanakarmikā //

[AS §8A(3): Pradhan 6,17-7,1]

- p.6,17 vīryaṃ katamat / kuśale<sup>(4+)</sup> cetaso 'bhyutsāhaḥ  
p.6,18 sannāhe vā prayoge vā alīnatve vā avyāvṛttau vā asantuṣṭau<sup>(5+)</sup> vā /  
kuśalapakṣaparipūraṇapariniṣpādanakarmakam (ii)  
p.6,19 // praśrabdhiḥ katamā / kāyacittadauṣṭhulyānāṃ pratipraśrabdheḥ  
p.6,20 kāya [T. 52b] cittakarmanyatā / sarvāvaraṇaṇiṣkarṣaṇakarmikā // apramādaḥ  
p.6,21 katamaḥ / savīryakānalobhādveṣāmohan<sup>100</sup> niśritya yā kuśalānāṃ dharmānāṃ bhāvanā  
p.6,22 sāsraṇebhyaś ca dharmeḥbhyaś cittāraḥṣā / sa ca  
laukikalokottarasampattiparipūraṇapariniṣpādanakarmakaḥ<sup>101</sup> (iii)  
p.6,23 // upekṣā katamā / savīryakānalobhādveṣāmohān niśritya  
p.6,24 yā saṃklišṭāvihāravairodhikī cittasamatā cittapraśaṭhatā cittasyānābhogāvasthitatā  
p.6,25 / saṃkleśānavakāśasanniśrayadānakarmikā // avihimsā katamā / [Pr 7]  
p.7,1 <sup>(6+)</sup>adveṣāṃśikā<sup>(7+)</sup>102 karuṇatā / avihetṭhanakarmikā //

[AS(Tib) §8A(3): D 49a1 -6; P 56a6-56b5]

brtson 'grus gang zhe na / go cha dang / sbyor ba dang / mi 'god pa dang / mi ldog pa dang / chog par mi 'dzin pa la sems mngon  
par slob ste / dge ba'i phyogs yongs su rdzogs par byed pa dang / yongs su bsgrub pa'i las can no // shin tu sbyangs pa gang zhe na /  
lus dang sems kyi gnas ngan len rnams kyi rgyun gcod pa'i phyir / lus dang sems las su rung ba nyid de / sgrib pa thams cad sel ba'i  
las can no // [P 56b] bag yod pa gang zhe na / ma chags pa dang / zhe sdang med pa dang / gti mug med pa brtson 'grus dang bcas pa  
la gnas nas / gang dge ba'i chos rnams bsgom pa dang / zag pa dang bcas pa'i chos rnams las sems srung ba ste / 'jig rten pa dang 'jig  
rten las 'das pa'i phun sum tshogs pa thams cad yongs su rdzogs par byed pa dang / yongs su bsgrub pa'i las can no // btang snyoms  
gang zhe na / ma chags pa dang / zhe sdang med pa dang / gti mug med pa brtson 'grus dang bcas pa la gnas nas / kun nas nyon  
mongs pa can du gnas pa dang mi mthun pa / sems mnyam pa nyid dang / sems rnal du 'dug pa nyid dang / sems lhun gyis grub par  
gnas pa nyid de / kun nas nyon mongs pa'i skabs mi 'byed pa'i las can no // rnam par mi 'tshe ba gang zhe na / zhe sdang med pa'i  
char gtogs pa / snying rje ba'i sems nyid de / tho mi 'tsham pa'i las can no //

[集論 §8A(3): T31.664b14-23]

何等爲勤。謂心勇悍爲體。或被甲或加行。或無下或無退或無足。差別成滿善品爲業。

何等爲安。謂止息身心麤重心調暢爲體。除遣一切障礙爲業。

何等不放逸。謂依止正勤無貪無瞋無癡修諸善法。於心防護諸有漏法爲體。成滿一切世出世福爲業。

何等爲捨。謂依止正勤無貪無瞋無癡。與雜染住相違。心平等性。心正直性。心無功用住性爲體。不容雜染所依  
爲業。何等不害。謂無瞋善根一分心悲愍爲體。不損惱爲業

<sup>100</sup> Go: °mohān.

<sup>101</sup> Go: °paripūraṇaṇiṣpādana°.

<sup>102</sup> Go: avihimsā.

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(3)

[ASBh §8A(3): Tatia 5,14-24]

- p.5,14 (§8A) (xv) sthāmavān  
 p.5,15 (§8A) vīryavān utsāhī dṛḍhaparākramo 'nisriptadhuraḥ kuśaleṣu dharmeṣv ityevamādisūtrapadāni  
 p.5,16 (§8A) yathākramam saṃnāhādiṣv abhyutsāhavastuṣu yojayitavyāni paripūraṇam yathā [Ms. 7A]  
 p.5,17 (§8A) maulam praveśaḥ niṣpādanam tasyaiva suparikarmakṛtatvam (xvi) sarvāvaraṇaniṣkarṣaṇam  
 p.5,18 (§8A) tadvaśenāśrayaparivṛttito draṣṭavyam (xvii) sarvakuśalabhāvanāyā vīryādīpūrvakatvāt teṣv  
 p.5,19 (§8A) apramādaprajñaptiḥ sāsravā dharmā āsravā āsravasthānīyās ca viṣayā iha  
 p.5,20 (§8A) veditavyāḥ (xviii) cittasamatādibhir upekṣāyā ādimadhyāvasānāvasthā  
 p.5,21 (§8A) vyākhyātāḥ tathā hy upekṣāyā yuktaṃ cittaṃ layādivaiśamyābhāvād āditaḥ samam  
 p.5,22 (§8A) tato 'nabhisamṣkāreṇa vahanāt praśaṭham tataḥ saṃkleśāsāṅkābhāvād anābhogāvasthitam  
 p.5,23 (§8A) iti (xix) avihimsāpy [As. P. 7] adveṣavyatirekāt prajñaptisati  
 p.5,24 (§8A) veditavyā

[ASVy(Tib) §8A(3): D 125b5-126a6; P 153a8-154a3]

brtson 'grus gang / sems mngon par spro ba'i go cha'am / sbyor ba'am / mi 'god pa'am / mi ldog pa'am / chog par mi 'dzin pa dge ba'i phyogs yongs su rdzogs pa dang / yongs su [P 153b] sgrub pa'i las can no // dge ba'i chos rnams la mthu dang ldan pa dang / brtson 'grus dang ldan pa dang / spro ba dang ldan pa dang / brtul ba brtan pa dang / brtson pa mi 'dor ba dang zhes bya ba'i mdo'i tshig 'di rnams ni go cha la sogs pa la mngon par spro ba'i dngos po rnams dang go rims bzhin du sbyar ro // yongs su rdzogs par byed pa ni ji lta ba'i dngos gzhi la 'jug pa dang / yongs su sgrub pa ni de nyid legs par yongs su las su byas pa'o // shin tu sbyangs pa gang / lus dang sems kyī gnas ngan len rnams rab tu sbyangs pas lus dang sems las su rung ba sgrub pa thams cad sel ba ni de'i dbang gis gnas gyur par blta bar bya'o // bag yod gang / [D 126a] brtson 'grus dang bcas pas ma chags pa dang / zhe sdang med pa dang / gti mug med pa la gnas nas dge ba'i chos rnams bsgom pa dang / zag pa dang bcas pa'i chos rnams las sems bsrung ba dang / 'jig rten pa dang / 'jig rten las 'das pa'i phun sum tshogs pa thams cad yongs su rdzogs pa dang / yongs su sgrub pa'i las can no // dge ba thams cad bsgom pa'i sngon du brtson 'grus la sogs pa 'gro bas de dag bag yod par gdags so // zag pa dang bcas pa'i chos rnams ni 'dir zag pa rnams dang / zag pa'i gnas kyī yul rnams su rig par bya'o // btang snyoms dang / brtson 'grus dang bcas pas ma chags pa dang / zhe sdang med pa dang gti mug med pa la gnas nas kun nas nyon mongs pa can du gnas pa dang / mi mthun pa sems mnyam pa nyid dang / sems rnal du 'dug pa nyid dang / sems lhun gyis grub par gnas pa nyid de / kun nas nyon mongs pa'i skabs med pa 'byung ba'i rten gyi las can no // sems mnyam pa nyid la sogs pa rnams kyis btang snyoms kyī [P 154a] thog ma dang / bar ma dang / tha ma'i gnas skabs bshad de / 'di ltar btang snyoms dang ldan pa'i sems la bying ba la sogs pa mi snyoms pa med pa'i phyir thog mar mnyam pa'o // de nas mngon par 'du byed pa med par 'jug pas rnal du 'jug pa'o // de nas kun nas nyon mongs pa'i dogs pa med pas lhun gyis grub par gnas pa'i phyir ro // rnam par mi 'tshe ba gang / zhe sdang med pa'i cha shas snying rje'i sems nyid rnam par mi 'tshe ba'i las can no // rnam par mi 'tshe ba ni zhe sdang med pa las gud na med pa'i phyir 'dir btangs yod du rig par bya'o //

[雜集論 §8A(3): T31.697c04-26]

勤者。被甲方便無下無退。<sup>103</sup>無足心勇為體成滿善品為業。謂如經說。有勢有勤有勇堅猛不捨善軌。如 \* 其次第應配釋被甲心勇等諸句。

滿善品者。謂能圓滿隨初所入根本靜<sup>104</sup>慮。成善品者。謂即於此極善修治

安者。止息身心麤重心調暢為體。除遣一切障礙為業。除遣一切障礙者。謂由此勢力依止轉故

不放逸者。依止正勤無貪瞋癡修諸善法。於心防護諸有<sup>105</sup>漏法為體。成滿一切世出世福為業。謂由正勤等為先能修一切善法及防有漏。是故依此四法假立不放逸<sup>106</sup>體。有漏法者。謂諸漏及漏處所境界

捨者。依止正勤無貪瞋癡與雜染住相違。心平等性。心正直性。心無功用住性為體。不容雜染所依為業。心平等性等者。謂以初中後位辯捨差別。所以者何。由捨與心相應離沈<sup>107</sup>沒等不平等性故。最初證得心平等性。由心平等遠離加行自然相續故。次復證<sup>108</sup>得心正直性。由心正直於諸雜染無怯慮故。

最後證得心無功用住<sup>109</sup>性。不害者。無瞋善根一分心悲愍為體。不損惱為業。當知不害不離無瞋故亦是假

<sup>103</sup> [無] - (聖)

<sup>104</sup> 慮 = 應 (明)

<sup>105</sup> 漏 = 緣 (聖)

<sup>106</sup> (為) + 體 (聖)

<sup>107</sup> 沒 = 決 (聖)

<sup>108</sup> 得 = 復 (聖)

<sup>109</sup> [性] - (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(4)

[AS §8A(4): Gokhale 16,20-24]

- p.16,20 rāgaḥ katamaḥ / traidhātuko 'nunayaḥ / duḥkhasaṃjavanakarmakaḥ // pratighaḥ katamaḥ / sattveṣu duḥkhe
- p.16,21 duḥkhasthānīyeṣu ca dharmeṣv āghātaḥ / asparśavīhāraduścāritasanniśrayadānakarmakaḥ // mānaḥ katamaḥ /
- p.16,22 satkāyadr̥ṣṭisanniśrayeṇa cittasyonnatih / agauravaduḥkhotpattisanniśrayadānakarmakaḥ // avidyā katamā /
- p.16,23 traidhātukam ajñānam / dharmeṣu mithyāniścayavicikitsāsāṃkleśotpattisanniśrayadānakarmikā // vicikitsā
- p.16,24 katamā / satyeṣu vimatih / kuśalapakṣāpravṛttisanniśrayadānakarmikā //

[AS §8A(4): Pradhan 7,1-7]

- p.7,1 rāgaḥ (iv) katamaḥ / traidhātuko
- p.7,2 'nunayaḥ / duḥkhasaṃjananakarmakaḥ<sup>110</sup> // pratighaḥ katamaḥ / sattveṣu duḥkhe
- p.7,3 duḥkhasthānīyeṣu ca<sup>(8+)</sup> dharmeṣv āghātaḥ<sup>(9+)</sup> / asparśavīhāraduścāritasanniśrayadānakarmakaḥ //
- p.7,4 mānaḥ katamaḥ / satkāyadr̥ṣṭisanniśrayeṇa cittasyonnatih / agauravaduḥkhotpattisanniśrayadānakarmakaḥ
- p.7,5 // avidyā katamā / traidhātukam ajñānam (v) / dharmeṣu mithyāniścayavicikitsāsāṃkleśotpattisanniśrayadānakarmikā
- p.7,6 // vicikitsā katamā /
- p.7,7 satyeṣu<sup>(1+)</sup> vimatih / [T. 53a] kuśalapakṣāpravṛttisanniśrayadānakarmikā (1a) //

[AS(Tib) §8A(4): D 49a6-49b2; P 56b5-57a1]

'dod chags gang zhe na / kham s gsum pa'i rjes su chags pa ste / sdug bsngal bskyed pa'i las can no // khong khro ba gang zhe na / sems can rnam dang / sdug bsngal dang / sdug bsngal gyi gnas kyi chos rnam la kun nas mnar sems pa ste / reg par mi gnas pa dang / nyes par spyod pa'i rten byed pa'i las can no // nga rgyal gang zhe na / 'jig tshogs la lta ba la brten nas sems khengs pa ste mi gus pa dang / sdug bsngal 'byung ba'i rten byed pa'i las can no // ma rig pa gang zhe na / [D 49b] kham s gsum pa'i mi shes pa ste / chos rnam la log par nges pa dang / the tshom dang / kun nas nyon mongs pa 'byung ba'i rten byed pa'i las can no // the tshom gang zhe na / [P 57a] bden pa rnam la yid gnyis za ba ste / dge ba'i phyogs rnam la mi 'jug pa'i rten byed pa'i las can no //

[集論 §8A(4): T31.664b24-664c01]

- 何等爲貪。謂三界愛爲體。生衆苦爲業。
- 何等爲瞋。謂於有情苦及苦具心恚爲體。不安隱住惡行所<sup>111</sup>依爲業。
- 何等爲慢。謂依止薩迦耶見心高舉爲體。不敬苦生所依爲業。
- 何等無明。謂三界無<sup>112</sup>知爲體。法諸法中邪決定疑雜生起所依爲業。
- 何等爲疑。[Ch 664c]謂於諦猶豫爲體。善品不生所依爲業。

<sup>110</sup> Go: °saṃjavanakarmakaḥ.

<sup>111</sup> 依 = 衣 (元)

<sup>112</sup> 知 = 智 (三) (宮)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(4)

[ASBh §8A(4): Tatia 5,24-6,4]

- p.5,24 (§8A) (xx) duḥkhasamjananakarmaka iti tṛṣṇāvaśena pañcopādānaskandhanirvartanāt  
p.5,25 (§8A) (xxi) [Ch 698A] asparśavihāra āghātacittasya duḥkhavihārāt  
p.5,26 (§8A) [T. 7A] (xxii) agauravaṃ guruṣu guṇavatsu ca stabdhatā duḥkhotpattiḥ  
p.6,1 (§8A) [Ta 6] punarbhavotpattir veditavyā [Ms. 7B] (xxiii) mithyāniścayo<sup>113</sup> viparītaṃ jñānam  
p.6,2 (§8A) vicikitsā saṃśayaḥ saṃkleśotpattiḥ rāgādikleśasamudācāraḥ tatsaṃniśrayadānaṃ  
p.6,3 (§8A) mūdhasya sarvakleśapravṛtter iti (xxiv) ratneṣu vimatir mārgasatyē nirodhasatyē ca  
p.6,4 (§8A) yathāyogam tayā kuśalapakṣe 'pravṛttir alabdhaniścayasyānārambhāt

[ASVy(Tib) §8A(4): D 126a6-126b4; P 154a3-154b2]

'dod chags gang / khams gsum pa'i rjes su chags pa sdug bsngal bskyed pa'i las can no zhes pa ni sred pa'i dbang gis nye bar len pa'i phung po lnga 'grub pa'i phyir ro // khong khro gang / zhe sdang dang bcas pas sems can rnams dang / sdug bsngal dang / sdug bsngal gyi gnas kyi chos rnams la kun nas khong khro ba reg par mi gnas pa dang / nyes par spyod pa 'byung ba'i rten gyi las can no // reg par [D 126b] mi gnas pa ni / kun nas mnar sems kyi sems kyi sdug bsngal bar gnas pa'i phyir ro // nga rgyal gang / tshogs can la lta ba la brten nas sems khengs pa mi gus pa dang / sdug bsngal 'byung ba'i rten gyi las can no // mi gus pa ni bla ma rnams dang yon tan rnams la 'gying ba'o // sdug bsngal 'byung ba ni yang srid pas 'byung bar rig par bya'o // ma rig pa gang / khams gsum pa mi shes pa chos rnams la log par nges pa dang / the tshom dang kun nas nyon mongs pa'i rten gyi las can no // log par nges pa ni phyin ci log gi shes pas phyin ci log tu shes pa'o // the tshom ni som nyi za ba'o // kun nas nyon mongs pas byung ba ni 'dod chags la sogs pa'i nyon mongs pa kun 'byung ba'o // de'i rten ni rmongs pa la nyon mongs [P 154b] pa thams cad 'byung ba'i phyir ro // tha tshom gang / bden pa rnams la yid gnyis za ba dge ba'i phyogs la mi 'jug pa 'byung ba'i rten gyi las can no // bden pa rnams la yid gnyis za ba ni lam gyi bden pa dang / 'gog pa'i bden pa la ji ltar rig par ro // des dge ba'i phyogs la mi 'jug ste / nges pa ma rnyed na mi rtsom pa'i phyir ro //

[雜集論 §8A(4): T31.697c27-698a12]

貪者三界愛爲體。生衆苦爲業。生衆苦者謂由愛力五<sup>114</sup>取蘊生故  
瞋者。於諸有情苦及苦具心憎恚爲體。不安[Ch 698a]隱住惡行所依爲業。不安隱住者。謂心懷憎恚多住苦故  
慢者。依止薩迦耶見心高舉爲體。不敬苦生所依爲業。不敬者。謂於師長及有德<sup>115</sup>所而生憍<sup>116</sup>傲。苦生者。謂生後有故  
無明者。謂三界無智爲體。於諸法中邪決定疑雜染生起所依爲業。邪決定者。謂顛倒智。疑者猶豫。雜染生起者。謂貪等煩惱現行。彼所依者。謂由愚癡起諸煩惱  
疑者。於諦猶豫爲體。善品不生依止爲業。於諦猶豫者。亦攝於<sup>117</sup>實猶豫。如 \* 其所應滅道諦攝故。善品不生者。謂由不決不造修故

<sup>113</sup> Tatia: mithyāniścayair. 佐久間 [1996: 6] (『タティア校訂版『阿毘達磨雜集論』梵語索引およびコリゲンダ』山喜房佛書林) は, 'mithyāniścayair' を 'mithyāniścayo' に訂正する .

<sup>114</sup> 取 = 欲 (宮)

<sup>115</sup> 所而 = 而所

<sup>116</sup> 傲 = 徹 (聖)

<sup>117</sup> 實 = 實 (宮)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(5)

[AS §8A(5): Gokhale 16,24-31]

- p.16,24 satkāyadr̥ṣṭiḥ katamā / pañcopādānaskandhānātmata  
p.16,25 ātmīyato vā samanupaśyato yā kṣāntī rucir matiḥ prekṣā dr̥ṣṭiḥ / sarvadr̥ṣṭigatasanniśrayadānakarmikā  
p.16,26 // antagrāhadr̥ṣṭiḥ katamā / pañcopādānaskandhān śāsva[ta]to vā ucchedato  
p.16,27 vā samanupaśyataḥ yā kṣāntī rucir matiḥ prekṣā dr̥ṣṭiḥ / madhyamāpratipanniryāṇaparipanthakarmikā //  
dr̥ṣṭiparāmarśaḥ  
p.16,28 katamaḥ / dr̥ṣṭiḥ dr̥ṣṭyāśrayāṃś ca pañcopādānaskandhānagrataḥ śreṣṭhato viśiṣṭataḥ paramataś ca  
p.16,29 samanupaśyato yā kṣāntī rucir (fol. 4a) matiḥ prekṣā dr̥ṣṭiḥ / asaddr̥ṣṭyabhiniveśasanniśrayadānakarmakaḥ  
//  
p.16,30 śīlavrataparāmarśaḥ katamaḥ / śīlaṃ vratam śīlavratā[śrayāṃ]ś ca pañcopādānaskandhān śuddhito yuktito  
nairyāṇikataś  
p.16,31 ca samanupaśyato yā kṣāntī rucir matiḥ prekṣā dr̥ṣṭiḥ / śramavaiphalyasanniśrayadānakarmakaḥ //

[AS §8A(5): Pradhan 7,8-17]

- p.7,8 satkāyadr̥ṣṭiḥ katamā / pañcopādānaskandhānātmataḥ ātmīyato vā samanupaśyato  
p.7,9 yā kṣāntī rucir matiḥ prekṣā dr̥ṣṭiḥ / sarvadr̥ṣṭigatasanniśrayadānakarmikā  
p.7,10 (vi) // antagrāhadr̥ṣṭiḥ katamā / pañcopādānaskandhān śāsva[ta]to vā ucchedato  
p.7,11 vā samanupaśyataḥ yā kṣāntī rucir matiḥ prekṣā dr̥ṣṭiḥ / madhyamā<sup>118</sup>  
pratipanniryāṇaparipanthakarmikā  
p.7,12 // [Ch 3a] dr̥ṣṭiparāmarśaḥ katamaḥ / dr̥ṣṭiḥ dr̥ṣṭyāśrayāṃś ca  
p.7,13 pañcopādānaskandhānagrataḥ śreṣṭhato viśiṣṭataḥ paramataś ca samanupaśyato yā kṣāntī rucir (vii)  
p.7,14 [Ph. 1A2 = Ms. 4a] matiḥ prekṣā dr̥ṣṭiḥ / asaddr̥ṣṭyabhiniveśasanniśrayadānakarmakaḥ  
p.7,15 // śīlavrataparāmarśaḥ katamaḥ / śīlaṃ vratam śīlavratā[śrayāṃ]<sup>119</sup> ca  
p.7,16 pañcopādānaskandhān śuddhito muktito<sup>119</sup> nairyāṇikataś ca samanupaśyato yā kṣāntī  
p.7,17 rucir matiḥ prekṣā dr̥ṣṭiḥ / śramavaiphalyasanniśrayadānakarmakaḥ //

[AS(Tib) §8A(5): D 49b2-6; P 57a1-8]

'jig tshogs la lta ba gang zhe na / nye bar len pa'i phung po lnga po rnams la bdag dang bdag gir yang dag par rjes su lta ba'i bzod pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba gang yin pa ste / lta ba thams cad kyi rten byed pa'i las can no // mthar 'dzin par lta ba gang zhe na / nye bar len pa'i phung po lnga po dag la rtog pa'am chad par yang dag par rjes su lta ba'i bzod pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba gang yin pa ste / dbu ma'i lam gyis nges par 'byung ba la bar du gcod pa'i las can no // lta ba mchog tu 'dzin pa gang zhe na / lta ba dang lta ba'i gnas nye bar lon pa'i phung po lnga po dag la mchog dang / gtso bo dang / khyad par du 'phags pa dang / dam par yang dag par rjes su lta ba'i bzod pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba gang yin pa ste / lta ba ngan pa la mngon par zhen pa'i rten byed pa'i las can no // tshul khriims dang brtul zhugs mchog tu 'dzin pa gang zhe na / tshul khriims dang brtul zhugs dang / tshul khriims dang brtul zhugs kyi gnas nye bar len pa'i phung po lnga po dag la 'dag pa dang / grol ba dang / nges par 'byin par yang dag par rjes su lta ba'i bzod pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba gang yin pa ste / ngal ba 'bras bu med pa'i rten byed pa'i las can no //

[集論 §8A(5): T31.664c01-10]

何等薩迦耶見。謂於五取蘊等隨觀執我及我所。諸忍欲覺觀見為體。一切見趣所依為業。  
何等邊執見。謂於五取蘊等隨觀執或斷或常。諸忍欲覺觀見為體。障處中行出離為業。  
何等見取。謂於諸見及見所依五取蘊等。隨觀執為最為勝為上為妙。諸忍欲覺觀見為體。執不正見所依為業。  
何等戒禁取。謂於諸戒禁及戒禁所依五取蘊等。隨觀執為清淨為解脫為出離。諸忍欲覺觀見為體。勞而無果所依為業。

<sup>118</sup> Go: madhyamāprati°.

<sup>119</sup> Go: yuktito.

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(5)

[ASBh §8A(5): Tatia 6,5-6]

p.6,5 (§8A) (xxv-xxix) 1. madhyamāpratipac chāśvatocchedagrāhavarjitam pratītyasamutpādajñānam

p.6,6 (§8A) śīlavratam kudṛṣṭapūrvakam veditavyam śramavaiphalyam tenāniryāṇāt

[ASVy(Tib) §8A(5): D 126b4-127a2; P 154b2-155a1]

tshogs can la lta ba gang / nye bar len pa'i phung po lnga po nmams la bdag gam / bdag gir yang dag par rjes su lta ba gang / bzod pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba lta bar gtogs pa thams cad 'byung ba'i rten gyi las can no // mthar 'dzin par lta ba gang / nye bar len pa'i phung po lnga po nmams la rtag pa'am chad par yang dag par rjes su lta ba gang / bzod pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba dang / 'bu ma'i lam gyis nges par 'byung ba'i bar du gcod pa'i las can no // dbu ma'i lam ni rtag pa dang chad pa spangs pa ste / rten cing 'brel bar 'byung ba shes pa'o // lta ba mchog 'dzin gang / lta ba dang lta ba'i gnas nye bar len pa'i phung po lnga po nmams la 'dzin pa dang / gtso bo dang khyad par du 'phags pa dang / dam par yang dag par rjes su lta ba gang brjod pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba dang / lta ba ngan pa la mngon par zhen pa 'byung ba'i rten gyi las can no // [D 127a] tshul khirms dang / brtul zhugs mchog 'dzin gang / tshul khirms dang / brtul zhugs dang / tshul khirms dang / brtul zhugs kyi gnas nye bar len pa'i phung po lnga po nmams la dag pa dang / grol ba dang / nges par 'byin par yang dag par rjes su lta ba gang / bzod pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba ngal ba la 'bras bu med pa 'byung ba'i rten gyi las can no // tshul khirms dang / brtul zhugs ni lta ba ngan pa [P 155a] sngon du 'gro bar rig par bya'o // ngal ba 'bras bu med pa ni des nges par mi 'byung ba'i phyir ro //

[雜集論 §8A(5): T31.698a13-24]

薩迦耶見者。於五取蘊等隨觀執我及我所。諸忍欲覺觀見為體。一切見<sup>120</sup>趣所依為業

邊執見者。於五取蘊等隨觀執。若常若斷。諸忍欲覺觀見為體。障處中行出離為業。處中行。謂離斷常緣起正智

見取者。謂於諸見及<sup>121</sup>見所依五取蘊等。隨觀執為最為勝為上為妙。諸忍欲覺觀見為體。執不正見所依為業。

戒禁取者。於諸戒禁及戒禁所依五取蘊等。隨觀執為清淨為解脫為出離。諸忍欲覺觀見為體。勞而無果所依為業。

戒禁者。謂惡見為先。勞無果者。由此不能得出離故

<sup>120</sup> 趣 = 起 (聖)

<sup>121</sup> [見] - (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(6)

[AS §8A(6): Gokhale 16,31-17,5]

- p.16,31 mithyādr̥ṣṭiḥ  
p.16,32 katamā / hetuṃ vāpavadataḥ phalaṃ vā kriyāṃ vā sadvā vastu nāśayataḥ mithyā vā vikalpayato yā kṣānti  
p.16,33 rucir matih prekṣā dr̥ṣṭiḥ / kuśalamūlasamucchedakarmikā, akuśalamūladṛḥḥatāsanniśrayadānakarmikā, akuśale [Go 17]  
p.17,1 pravṛttikarmikā, kuśale cāpravṛttikarmikā vā // yā etāḥ pañca dr̥ṣṭaya āsām kati samāropadr̥ṣṭayaḥ  
p.17,2 katy apavādadṛṣṭayaḥ / catasraḥ samāropadr̥ṣṭayaḥ / jñeye svabhāvaviśeṣasamāropatām upādāya dr̥ṣṭau cāgraśuddhisamāropatām  
p.17,3 upādāya // ekā yadbhūyasā apavādadṛṣṭiḥ // yās ca pūrvāntakalpikā dr̥ṣṭayo yās cāparāntakalpikā  
p.17,4 dr̥ṣṭayaḥ, tāḥ katibhyo dr̥ṣṭibhyo veditavyāḥ / dvābhyāṃ sarvābhyo vā // yā avyākṛtavastuṣu  
p.17,5 dr̥ṣṭayas tāḥ katibhyo dr̥ṣṭibhyo veditavyāḥ / dvābhyāṃ sarvābhyo vā //

[AS §8A(6): Pradhan 7,17-8,3]

- p.7,17 mithyādr̥ṣṭiḥ katamā /  
p.7,18 hetuṃ vāpavadataḥ phalaṃ vā<sup>(3+)</sup> kriyāṃ vā<sup>(4+)</sup> (i) sadvā vastu nāśayataḥ mithyā ca<sup>122</sup> vikalpayato  
p.7,19 yā kṣānti<sup>123</sup> rucir matih prekṣā dr̥ṣṭiḥ / kuśalamūlasamucchedakarmikā /  
akuśalamūladṛḥḥatāsanniśrayadānakarmikā  
p.7,20 / [T. 53b] akuśale pravṛttikarmikā kuśale cāpravṛttikarmikā  
p.7,21 vā //  
p.7,22 yā etāḥ pañca dr̥ṣṭayaḥ āsām kati samāropadr̥ṣṭayaḥ katy apavādadṛṣṭayaḥ / catasraḥ  
p.7,23 samāropadr̥ṣṭayaḥ (ii) jñeye svabhāvaviśeṣasamāropatām upādāya dr̥ṣṭau cāgraśuddhisamāropatām  
p.7,24 upādāya / ekā yadbhūyasā apavādadṛṣṭiḥ / yās ca pūrvāntakalpikā dr̥ṣṭayaḥ yās cāparāntakalpikā<sup>(5+)</sup> [Pr  
8]  
p.8,1 dr̥ṣṭayaḥ tāḥ<sup>(6+)</sup> katibhyo dr̥ṣṭibhyo veditavyāḥ / dvābhyāṃ sarvābhyo vā / yā  
p.8,2 avyākṛtavastuṣu dr̥ṣṭayas tāḥ<sup>(7+)</sup> katibhyo dr̥ṣṭibhyo veditavyāḥ / dvābhyāṃ sarvābhyo (iii)  
p.8,3 vā /

[AS(Tib) §8A(6): D 49b6-50a3; P 57a8-57b5]

log par lta<sup>124</sup> ba gang zhe na / rgyu'am / 'bras bu'am / byed pa la skur pa 'debs pa dang / yod pa'i dngos po 'jig pa ste / log par nram  
par rtog [P 57b] pa'i bzod<sup>125</sup> pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba gang yin pa ste / dge ba'i rtsa ba gcod pa'i  
las can dang / [D 50a] me dge ba'i rtsa ba dam du 'dzin pa'i rten byed pa'i las can dang / mi dge ba la 'jug pa'i las can dang / dge ba la  
mi 'jug pa'i las can no // lta ba lnga po 'di dag las sgro 'dogs pa'i lta ba ni du / skur pa 'debs pa'i lta ba ni du zhe na / bzhi ni sgro 'dogs  
pa'i lta ba ste / shes bya la ngo bo nyid dang khyad par du sgro 'dogs pa dang / lta ba la mchog dang 'dag par sgro 'dogs pa'i phyr ro  
// gcig ni phal cher la skur pa 'debs pa'i lta ba'o // sngon gyi mthar rtog pa'i lta ba gang yin pa dang / phyi ma'i mthar rtog pa'i lta ba  
gang yin pa de dag lta ba du zhig las byung bar rig par bya zhe na / gnyis sam / thams cad las so // lung du ma bstan pa'i dngos po  
nrams la lta ba gang yin pa de dag lta ba du zhig las byung bar rig par bya zhe na / gnyis sam / thams cad las so //

[集論 §8A(6): T31.664c11-19]

何等邪見。謂謗因謗果。或謗作用。或壞實事。或邪分別。諸忍欲覺觀見為體斷善根為業。及不善根堅固所依為業。不善生起為業。善不生起為業。

如是五見。幾增益見。幾損減見。四是增益見。謂於所知境增益自性及差別故。於諸見中增益第一及清淨故。一多分是損減見。

計前後際所有諸見。彼於此五幾見所攝。謂或二或一切。於不可記事所有諸見。彼於此五幾見所攝。謂或二或一切。

<sup>122</sup> Go: vā.

<sup>123</sup> Go: kṣāntī.

<sup>124</sup> D: la.

<sup>125</sup> P: bzed.

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(6)

[ASBh §8A(6): Tatia 6,6-18]

p.6,6	(§8A)	nāsti
p.6,7	(§8A)	dattaṃ nāstīṣṭaṃ nāsti huttaṃ nāsti sucaritaṃ nāsti duṣcaritaṃ ity ayam hetvapavādaḥ
p.6,8	(§8A)	nāsti duṣcaritasucaritānāṃ [Ch 698B] karmaṇāṃ phalavipāka itī phalāpavādaḥ
p.6,9	(§8A)	nāsty ayam loko nāsti paraloko nāsti mātā nāsti pitā nāsti sattva upapāduka
p.6,10	(§8A)	itī kriyāpavādaḥ lokāntaragamanāgamakriyāyā bījādhānakriyāyāḥ pratisaṃdhibandhakriyāyāś
p.6,11	(§8A)	cāpavādāt [Ms. 8A] na santi loke 'rhanta ity evamādi sadvastunāśanam
p.6,12	(§8A)	[T. 7B] tadanyad yat kiṃcid viparītadarśanaṃ tan mithyāparikalpanaṃ
p.6,13	(§8A)	veditavyam kuśalamūlasamucchedo viśiṣṭāyā eva mithyādrṣṭer na sarvasyāḥ
p.6,14	(§8A)	2. pañcaskandhātmake jñeye ātmātmīyasvabhāvasamāropikā satkāyadrṣṭiḥ
p.6,15	(§8A)	ātmanityānityaviśeṣasamāropikāntagrāhadṛṣṭiḥ kudṛṣṭāv agratā samāropako
p.6,16	(§8A)	drṣṭiparāmarśaḥ tatraiva śuddhisamāropakaḥ śīlavrataparāmarśaḥ ekā yadbhūyaseti
p.6,17	(§8A)	mithyāvikalpikā yā nāvaśyam apavādikatvāt [As. P. 8] lakṣaṇato dvābhyām
p.6,18	(§8A)	antagrāhamithyādrṣṭibhyām saparivārataḥ sarvābhyāḥ

[ASVy(Tib) §8A(6): D 127a2-127b6; P 155a1-155b7or8]

mi bden par lta ba gang / rgyu'am / 'bras bu'am / byed pa la skur pa 'debs yod pa'i dngos po 'jig pa / log par yongs su rtog pa gang / bzod pa dang / 'dod pa dang / blo gros dang / rtog pa dang / lta ba dang / dge ba'i rtsa ba kun du good pa'i las can dang / mi dge ba'i rtsa ba brtan por 'byung ba'i rten gyi las can dang / mi dge ba la 'jug pa'i las can dang / dge ba la mi 'jug pa'i las can no // sbyin pa med do // mchod sbyin med do // sbyin sreg med do // legs par spyad pa med do // nyes par spyad pa med do zhes bya ba 'di ni rgyu la skur pa 'debs pa'o // legs par spyad pa dang / nyes par spyad pa'i las mams kyi 'bras bu rnam par smin pa med do zhes bya ba 'di ni 'bras bu la skur pa 'debs pa'o // 'jig rten 'di med do // 'jig rten pha rol med do // pha med do // ma med do // sems can 'byung ba med do zhes bya ba 'di ni byed pa la skur pa 'debs pa ste / 'jig rten gzhan du 'gro ba dang 'ong ba'i byed pa dang / sa bon 'debs pa'i byed pa dang / nying mtshams sbyor ba'i byed pa la skur pa 'debs pa'i phyir ro // 'jig rten na dgra bcom pa med do zhes bya ba la sogs pa ni yod pa'i dngos po 'jig pa'o // de las gzhan phyin ci log tu lta ba gang ci yang rung ste / de dag thams cad ni log par rnam par rtog par rig par bya'o // dge ba'i rtsa ba good pa ni log par lta ba khyad par can las 'byung gi / thams cad las ni ma yin no // lta ba lnga po gang / de rnams la sgro 'dogs pa'i lta ba ni du / skur pa 'debs [D 127b] pa'i lta ba ni du / bzhi ni sgro 'dogs pa ste / shes bya la ngo bo dang / khyad par du sgro 'dogs pa nye bar len pa'i phyir dang / lta ba la [P 155b]<sup>126</sup> mchog dang / dag par sgro 'dogs pa'i phyir ro // phung po lnga'i bdag nyid kyi shes bya la bdag dang / bdag gi ngo bo nyid du sgro 'dogs pa ni tshogs can la lta ba'o // bdag rtag go mi rtag go zhes khyad par du sgro 'dogs pa ni mthar 'dzin par lta ba'o // lta ba ngan pa la mchog la sogs par 'dzin pa ni lta ba la mchog tu 'dzin pa'o // de nyid la dag pa la sogs par sgro 'dogs pa ni / tshul khriṃs dang brtul zhugs mchog tu 'dzin pa'o // gcig ni phal cher skur pa 'debs pa'i lta ba'o // gcig ni phal cher zhes bya ba ni log par rnam par rtog pa ni gdon mi za ba skur pa mi 'debs pa'i phyir ro // sngon gyi mthar rtog pa'i lta ba gang / phyi ma'i mthar rtog pa'i lta ba gang / de rnams gang rnams kyi lta ba rnams las rig par bya na / gnyis sam thams cad las so // lung du ma bstan pa'i dngos po rnams lta ba gang / de rnams lta ba gang rnams las rig par bya / gnyis sam thams cad las so // mtshan nyid la brtags na ni mthar 'dzin pa dang / log par lta ba gnyis las 'byung ngo // 'khor dang beas par brtags na ni lta ba lnga po thams cad las 'byung ngo // bcom ldan 'das kyis nyes pa gang gzigs nas / phung po dang / khams dang / skye mched rnams la rnam pa lngas bdag bsal bar mdzad do // tshogs can la lta bas yongs su zin pa'i nyes pa lnga gzigs te / mtshan nyid dang mi mthun pa'i nyes pa dang / mi rtag pa nyid kyi nyes pa dang / rang dbang med pa'i nyes pa dang / lus med pa'i nyes pa dang / bsgrim mi dgos par thar bar 'byung ba'i nyes pa'o //

<sup>126</sup> P's note: sic original edition (cf. Appendix). No. 155bの位置にあるFolioがNo. 154bと重複し、本来あるべきNo. 155bが欠落している。

*Chapter 1*  
*Abhidharmasamuccaya §8A(6)*

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(6)

[雜集論 §8A(6): T31.698a25-698b18]

邪見者。<sup>127</sup>謗因 \* 謗果。或<sup>128</sup>謗作用。或壞實事。或邪分別。諸忍欲覺觀見爲體。斷善根爲業。及不善根堅固所依爲業。不善生起爲業。善不生起爲業。

謗因者。謂無施與無愛樂無祠祀無妙行無惡行等。謗果者。謂無妙行及惡[Ch 698b]行業所招異熟等。謗作用者。謂無此世間無彼世間。無母無父無化生有情等。誹謗異世往來作用故。誹謗任持種子作用故。誹謗相續作用故。

壞實事者。謂無世間阿羅漢等。邪分別者。謂餘一切分別倒見。斷善根者。謂由增上邪見非一切種

問如是五見幾增益見幾損減<sup>129</sup>見。答四是增益見。於所知境增益自性及差別故。於諸見中增益第一及清淨故。謂於五<sup>130</sup>取蘊所知無我境。增益我我所自性。是薩<sup>131</sup>迦耶見。

增益<sup>132</sup>我常無常差別。是邊<sup>133</sup>執見。於諸惡<sup>134</sup>見增益第一。是見<sup>135</sup>取。即於此見增<sup>136</sup>益清淨。是戒禁取。一多分是損減見。一多分者。由邪分<sup>137</sup>別不必損減故

問計前後際所有諸見。彼於此五幾見所攝。<sup>138</sup>答或二或一切。問於不可記事所有諸見。彼於此五幾見所攝。 \* 答或二或一切。二者。謂邊執見及邪見自相故。一切<sup>139</sup>者謂五見眷屬故」

<sup>127</sup> 謗 = (聖) \*

<sup>128</sup> 謗 = 諦 (聖)

<sup>129</sup> [見] - (聖)

<sup>130</sup> 取 + (及) (聖)

<sup>131</sup> 迦 = 逐 (聖)

<sup>132</sup> 我 + (我所) (聖)

<sup>133</sup> 執 = 報 (聖)

<sup>134</sup> 見 = 是 (聖)

<sup>135</sup> 取 = 臨 (宮)

<sup>136</sup> 益 + (爲) (聖)

<sup>137</sup> 別 = 有 (聖)

<sup>138</sup> 答 = 益 (聖) \*

<sup>139</sup> [者] - (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(7)

[AS §8A(7): Gokhale 17,5-11]

- p.17,5 kaṃ doṣaṃ paśyatā  
p.17,6 bhagavatā skandhadhātāvāyātaneṣu pañcabhiḥ kāraṇair ātmā pratikṣiptaḥ / satkāyadr̥ṣṭiparigr̥hītān pañca doṣān  
p.17,7 paśyatā / vilakṣaṇatādoṣaṃ, anityatādoṣaṃ, a[svātaṃtrya]doṣaṃ, nirdehatādoṣaṃ, ayatnato mokṣadoṣaṃ ca //  
p.17,8 yā pañcasūpādānaskandheṣu viṃśatikotikā satkāyadr̥ṣṭiḥ—rūpa[m ā]tmeti samanupaśyati, rūpavantam ātmānam  
p.17,9 ātmīyaṃ rūpaṃ, rūpe ātmānam, vedanāṃ saṃjñā saṃskārān vijñānam ātmeti samanupaśyati, vijñānavantam ātmānam,  
p.17,10 ātmīyaṃ vijñānam, vijñāne ātmānam—tatra katy ātmadr̥ṣṭayaḥ katy ātmīyadr̥ṣṭayaḥ / pañcātmadr̥ṣṭayaḥ  
p.17,11 pañcadaśātmīyadr̥ṣṭayaḥ //

[AS §8A(7): Pradhan 8,3-9]

- p.8,3 kaṃ doṣaṃ paśyatā bhagavatā skandhadhātāvāyātaneṣu pañcabhiḥ kāraṇair ātmā pratikṣiptaḥ /  
p.8,4 satkāyadr̥ṣṭiparigr̥hītān pañca doṣān paśyatā vilakṣaṇatādoṣaṃ anityatādoṣaṃ asvāsthyadoṣaṃ<sup>140(8+)</sup>  
p.8,5 nirdehatādoṣaṃ ayatnato mokṣadoṣaṃ ca // yā pañcasūpādānaska[n]dheṣu viṃśatikotikā  
p.8,6 satkāyadr̥ṣṭiḥ rūpa[m ā]tmeti samanupaśyati rūpavantam ātmānam ātmīyaṃ  
p.8,7 [rūpaṃ]<sup>(9+)</sup> rūpe<sup>(10+)</sup> ātmānam vedanāṃ saṃjñāṃ saṃskārān vijñānam ātmeti samanupaśyati vijñānavantam  
p.8,8 ātmānam ātmīyaṃ vijñānam vijñāne ātmānam tatra<sup>(1+)</sup> katy ātmadr̥ṣṭayaḥ katy ātmīyadr̥ṣṭayaḥ /  
p.8,9 pañcātmadr̥ṣṭayaḥ pañcadaśātmīyadr̥ṣṭayaḥ //

[AS(Tib) §8A(7): D 50a4-7; P 57b5-58a2]

bcom ldan 'das kyis nyes pa gang gzigs nas / phung po dang / khams dang / skye mched nmams la mnam pa lngas bdag bsal ba mdzad ce na / 'jig tshogs la lta bas yongs su zin pa'i nyes pa lnga gzigs nas te / mtshan nyid dang mi mthun pa'i nyes pa dang / mi rtag pa nyid kyī nyes pa dang / rang dbang med pa'i nyes pa dang / lus med pa'i nyes pa dang / bsgrim mi dgos par thar bar 'gyur ba'i nyes pa'o // gang nye bar len pa'i phung po lnga po dag la 'jig tshogs la lta ba'i mtha' nyi shu bo / gzugs bdag yin par lta ba dang / bdag gzugs dang ldan pa dang / gzugs bdag gi yin pa dang / gzugs la bdag gnas pa dang / tshor ba dang / 'du shes dang / [P 58a] 'du byed nmams<sup>141</sup> dang / mnam par shes pa bdag yin par lta ba dang / bdag mnam par shes pa dang ldan pa dang / mnam par shes pa bdag gi yin pa dang / mnam par shes pa la bdag gnas so zhes bya ba de la / bdag tu lta ba ni du / bdag gir lta ba ni du zhe na / lnga ni bdag tu lta ba'o // bco lnga ni bdag gir lta ba'o //

[集論 §8A(7): T31.664c20-26]

薄伽梵觀何過失故。於蘊界處以五種相非毀執我。由觀彼攝受薩迦<sup>142</sup>耶見者。有五種過失故。謂異相過失。無常過失。不自在過失。無身過失。

不由功用解脫過失。

於五取蘊有二十句薩迦耶見。謂計色是我。我有諸色。屬於我。我在色中。如是計受想行識是我。我有識等識。等屬我。我在識等中。

於此諸見。幾是我見幾是我所見。謂五是我見。十五是我所見。

<sup>140</sup> Go: a[svātaṃtrya]doṣaṃ.

<sup>141</sup> D omits nmams.

<sup>142</sup> [耶] - (宮)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(7)

[ASBh §8A(7): Tatia 6,19-7,4]

- p.6,19 (§8A) 3. (a) rūpādayo nātmā tadvilakṣaṇatvāt na hi te ātmalakṣaṇā iti  
p.6,20 (§8A) (b) na teṣv ātmā anityatādoṣāt na hy āśrayābhāve āsritaṃ bhavatīti  
p.6,21 (§8A) (c) na rūpavān ātmā asvātantryadoṣaprasaṅgāt (d) na tebhyo 'nyatrātmā nirdehatādoṣāt  
p.6,22 (§8A) na hi vinā dehenātmaparikalpa [Ms. 8B] upalabhyata iti asvātantryatādoṣaḥ  
p.6,23 (§8A) teṣv avaśavartanāt [Ch 698C] (e) athaivaṃvidham ātmānaṃ  
p.7,1 (§8A) [Ta 7] kaścit parikalpayet tathāpi nopapadyate 'rūpādika ātmā [T. 8A] ayatnato  
p.7,2 (§8A) mokṣadoṣāt dehādibandhanābhāve hi svarasenaiva mokṣaḥ syād iti  
p.7,3 (§8A) 4. rūpam ātmeti samanupaśyati vedanāṃ saṃjñāṃ saṃskārān vijñānam ātmeti  
p.7,4 (§8A) samanupaśyātīty etāḥ pañcātmadrṣṭayaḥ śeṣāḥ pañcadaśātmīyadrṣṭayaḥ

[ASVy(Tib) §8A(7): D 127b6-128a5; P 155b7or8-156a7]

gzugs la sogs pa ni bdag ma yin te / mtshan nyid dang mi mthun pa'i phyir de dag ni bdag gi mtshan nyid ma yin no // de dag la bdag med de gnas med na gnas par mi 'gyur bas / mi rtag pa nyid [P 156a] kyi nyes par 'gyur ba'i phyir ro // gzugs ni bdag gi ba ma yin te de la dbang byed pa ma yin par rang dbang med pa'i nyes par 'gyur ba'i phyir ro // de dag las gzhan [D 128a] na yang bdag med de / lus med na bdag kun du brtag par mi dmigs pas lus med pa'i nyes par 'gyur ba'i phyir ro // ji ste la la zhig bdag rnam pa de lta bur yongsu rtogs na / de lta na yang gzugs la sogs pa med pa'i bdag mi 'thad de / lus la sogs pa'i 'ching ba med na rang gi dang gis grol bar 'gyur pas / bsgrim mi dgos par thar bar 'gyur ba'i nyes par 'gyur ba'i phyir ro // gang nye bar len pa'i phung po lnga po mams la sogs can la lta ba'i mtha' nyi shu po gzugs la bdag tu kun du rjes su lta ba dang / gzugs bdag dang ldan pa dang / gzugs bdag gi ba dang / gzugs la gzugs dang / tshor ba dang / 'du shes dang / 'du byed dang / mam par shes pa la bdag tu kun du rjes su lta ba dang / bdag rnam shes dang ldan pa dang / rnam shes bdag gi ba dang / rnam shes la mam shes so / de la bdag tu lta ba du / bdag gir lta ba du / lnga ni bdag tu lta ba'o // bco lnga ni bdag gir lta ba'o // ci'i phyir bco lnga ni bdag gir lta ba 'brel bas bdag gi nye bar len pa dang / dbang bsgyur bas bdag gi nye bar len pa dang / tha dad du mi 'jug pas bdag nye bar len pa'i phyir ro // gzugs la bdag tu kun du rjes su lta ba dang / tshor ba dang / 'du shes dang / 'du byed mams dang / mam par shes pa la bdag tu kun du rjes su lta ba ste / de lnga bdag tu lta ba'o //

[雜集論 §8A(7): T31.698b19-698c09]

問薄伽梵觀過失故。於蘊界處以五種相誑毀計我。\*答觀彼攝受薩迦耶見者。有五種過失故。謂異相過失。無常過失。不自在過失。無身過失。不由功用解脫過失。異相過失者。謂色蘊等非我體性。異我相故。無常過失者。謂非我處色蘊等中。我應無常故。所以者何。非所依無能依有故不自在過失者。謂不應觀我有色等。我應<sup>143</sup>不自在故<sup>144</sup>所以者何。我<sup>145</sup>於色等不<sup>146</sup>能自在轉故。無身過失者。謂非離色等異處有我。我應無身故。所以者何。離身計我不可得故。

不由功用解脫過失[Ch 698c]者。<sup>147</sup>設有如是分別我相亦不應理。無色等我不由功用應解脫故。所以者何。身縛若無我應任運解脫

問於五取蘊有二十句薩迦耶見。謂計色是我我有諸色。色屬於我我在色中。如是計受想行識是我我有識等<sup>148</sup>識等屬我我在識等中。

於此諸見幾是我見幾我所見。\*答五是我見。十五是我所見。謂計色是我。計受想行識是我。<sup>149</sup>此五是我見。

<sup>143</sup> 不 = 分 (聖)  
<sup>144</sup> [ 所 ] - (聖)  
<sup>145</sup> 於 = 相 (聖)  
<sup>146</sup> 能 = 升 (聖)  
<sup>147</sup> ( 謂 ) + 設 (聖)  
<sup>148</sup> [ 識等 ] - (聖)  
<sup>149</sup> ( 所 ) + 此 (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(8)

[AS §8A(8): Gokhale 17,11-16]

- p.17,11 kena kārāṇena pa[ñcadaśā]tmīyadr̥ṣṭayaḥ / sambandhātmiyatām upādāya, vaśavartanātmīyatām  
p.17,12 upādāya, avinirbhāgavṛtīyatmiyatām copādāya // satkāyadr̥ṣṭir nirūpitavastukā vaktavyā,  
p.17,13 anirūpitavastukā vaktavyā / anirūpitavastu[kā] vaktavyā rajjvāṃ sarpabuddhivat //  
p.17,14 krodhaḥ katamaḥ / pratyupasthite 'pakāranimitte pra[tighāṃ] śikaś cetasa ādhātaḥ /  
śastrādānaḍḍādānādīsaṃrambhasanniśrayadānakarmakaḥ  
p.17,15 // upanāhaḥ katamaḥ / tata ūrdhvaṃ pratighāṃśika eva vairāśayasyā  
p.17,16 'nutsargaḥ / akṣāntisanniśrayadānakarmakaḥ //

[AS §8A(8): Pradhan 8,9-15]

- p.8,9 kena kārāṇena pañca[daśā]tmīyadr̥ṣṭayaḥ (v) [T. 54a]  
p.8,10 / sambandhātmiyatām upādāya<sup>(2+)</sup>vaśavartanātmīyatām upādāya<sup>150</sup>avinirbhogavṛtīyatmiyatām<sup>(3+)</sup>  
p.8,11 copādāya / satkāyadr̥ṣṭir nirūpitavastukā vaktavyā anirūpitavastukā<sup>(4+)</sup>  
p.8,12 vaktavyā / anirūpitavastu[kā] vaktavyā rajjvāṃ sarpabuddhivat /  
p.8,13 krodhaḥ katamaḥ / pratyupasthite apakāranimitte prati[ghāṃ] (vi) śikaś cetasa  
p.8,14 ādhātaḥ /<sup>(5+)</sup>śastrādānaḍḍādānādīsaṃrambhasanniśrayadānakarmakaḥ // upanāhaḥ katamaḥ /  
p.8,15 tata ūrdhvaṃ pratighāṃśika eva vairāśayasyānutsargaḥ / akṣāntisanniśrayadānakarmakaḥ //

[AS(Tib) §8A(8): D 50a7-50b3; P 58a2-6]

cī'i phyir bco lnga bdag gir lta ba zhes bya zhe na / 'brel pas bdag gir [D 50b] 'gyur ba dang / dbang sgyur bas bdag gir 'gyur ba dang / tha dad du mi 'jug pas bdag gir 'gyur ba'i phyir ro // 'jig tshogs la lta ba dpyad pa'i gzhi can zhes bya'am / ma dpyad pa'i gzhi can zhes bya zhe na / ma dpyad pa'i gzhi can zhes brjod par bya ste / thag pa la sbrul gyi blo bzhin no // khro ba gang zhe na / gnod par byed pa'i rgyu nye bar gnas na / khong khro ba'i char gtogs pa'i sems kyi kun nas mnar sems pa ste / mtshon cha len pa dang / chad pas gcod pa la sogs pa dang / gnod pa shom pa'i rten byed pa'i las can no // lon du 'dzin pa gang zhe na / de'i 'og tu khong khro ba'i char gtogs pa nyid kyis / shar gnyer ba'i bsam pa mi gtong ba ste / mi bzod pa'i rten byed pa'i las can no //

[集論 §8A(8): T31.664c28-665a06]

何因十五是我所見。由相應我所故。隨轉我所故。不離我所故。  
薩迦耶見。[Ch 665a]當言於事了不了耶。當言於事不得決了。如於繩上妄起蛇解  
何等爲忿。謂於現前不饒益相。瞋之一分心怒爲體。執<sup>151</sup>杖憤發所依爲業。  
何等爲恨。謂自此已後即瞋一分懷怨不捨爲體。不忍所依爲業。

<sup>150</sup> Go: avinirbhāga°.

<sup>151</sup> 杖 = 伏 (宋) , 仗 (元) (明) (宮)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(8)

[ASBh §8A(8): Tatia 7,5-14]

- p.7,5 (§8A) 5. (a) rūpavān yāvad vijñānavān iti saṃbandhenātmīyatā sa hi  
 p.7,6 (§8A) tatsaṃbandhāt tadvān bhavatīti (b) ātmīyaṃ rūpaṃ yāvad vijñānam iti vaśavartyātmīyatām  
 p.7,7 (§8A) upādāya yasya hi yadvaśena vartate dāne viniyoge vā tasya tadātmīyam ity ucyate  
 p.7,8 (§8A) (c) rūpe yāvad vijñāne ātmety avinirbhāgavṛtṭyātmīyatā ayam ātmā  
 p.7,9 (§8A) eṣv anusṛto viśṛtaḥ [Ms. 9A] prakṣipto 'ngāṅgānusārigata iti parikalpanāt  
 p.7,10 (§8A) 6. anirūpitavastukatvaṃ punā rūpaṃ ity evamādilakṣaṇaṃ nirūyapata āmadrṣṭer  
 p.7,11 (§8A) anavakāśāt tadyathā rajjuṃ sarpatō gṛhṇāti kaścit sahasā na punā rajjur iti  
 p.7,12 (§8A) nirūpayams tāṃ sarpatō gṛhṇīyād iti  
 p.7,13 (§8A) (xxx etc.) krodhādayaḥ prajñaptisanto veditavyāḥ pratighātādivyatirekeṇa  
 p.7,14 (§8A) abhāvāt (xxxi) tadūrdhvaṃ iti krodhād ūrdhvaṃ akṣāntir apakārāmarṣaṇam

[ASVy(Tib) §8A(8): D 128a5-128b4; P 156a7-156b7]

gzugs bdag dang ldan pa zhes bya ba nas / bdag nram par shes pa dang ldan pa zhes bya ba'i bar du lhaq ma bco lnga ni bdag gir lta ba'o // 'brel bas bdag gi nye bar len pa ni 'di ltar de dang 'brel bas de dang ldan par 'gyur ro // gzugs [P 156b] bdag gi ba dang zhes bya ba nas nram par shes pa bdag gi ba dang zhes bya ba'i phar ni / dbang bsgyur bas bdag gi nye bar len pa'i phyir te / gang zhig sbyin pa'am / bsgo ba la gang gis dbang du 'gyur ba de ni de'i bdag gi zhes brjod do // gzugs la gzugs dang zhes bya ba nas nram shes la nram shes so zhes bya ba'i bar ni tha dad du mi 'jug pas bdag gi nye bar len pa'i phyir te / bdag 'di ni 'di dag la rjes su zhugs shing mam [D 128b] par zhugs nas bzhag pa ste / yan lag can gyi rjes su song bar kun du brtags pa'i phyir ro // tshogs can la lta ba gzugs kyi dngos po'am / gzugs med kyi dngos por bya / gzugs med kyi gzhir rig par bya ste / thag pa la sbrul du rtog pa bzhin no // gzugs med pa'i dngos po ni gzugs la sogs pa'i mtshan nyid la dpyad na bdag tu lta ba'i go skabs med pa'i phyir ro // dper na kha gcig gis ma brtags par thag pa la sbrul du 'dzin pa dang 'dra ste / slar thag pa yin par dpyad na de sbrul du 'dzin par mi 'gyur ba'i phyir ro // khro ba gang gnod pa'i rgyu nye bar gnas na / khong khro'i cha shas sems kun nas mnar sems pa dbyug pa dang mtshon cha len pa la sogs pa dang / gnod pa shom pa 'byung ba'i rten gyi las can no // khro ba la sogs pa ni btags yod du rig par bya ste / khong khro ba la sogs pa las gud na med pa'i phyir ro // khon 'dzin gang / de'i 'og tu khong khro'i cha shas nyid kyi rjes su gnod pa'i lan mi gtang ba / mi bzod pa / 'byung ba'i rten gyi las can no // de'i 'og tu zhes pa ni khros pa'i 'og tu'o // mi bzod pa ni gnod par byed pa la ji mi snyam pa'o //

[雜集論 §8A(8): T31.698c09-698c27]

餘十五<sup>152</sup>是我所見。何因十五是我所見。相應我所故。隨轉我所故。不離我所故。相應我所者。謂我有色乃至我有識。<sup>153</sup>所以者何。由我與彼相應說有彼故。隨轉我所者。謂色屬我乃至識屬我<sup>154</sup>所以者何。若彼由此自在力轉。或捨或<sup>155</sup>役。世間說彼是我所故。不離我所者。謂我在色中乃至我在識中。所以者何。彼計實我處在蘊中遍體隨行故

問薩迦耶見當言於事了不<sup>156</sup>了耶。\* 答<sup>157</sup>當言於事不得決了。如於繩上妄起蛇解。於事不決了者。若能決了色等實相。必不應起虛妄我見。譬如有入<sup>158</sup>歎爾見繩遂執為蛇。不了繩相而起蛇執

忿者。依止現前不饒益<sup>159</sup>相瞋之一分。<sup>160</sup>心怒為體。執仗<sup>161</sup>憤發所依為業。\* 當知忿等是假建立。離瞋等外無別性故。

恨者。自此已後即瞋一分。懷怨不捨為體。不忍所依為業自此後者。謂從忿後。不忍者。謂不堪忍不饒益事」

152 是我 = 我是 (聖)  
 153 [所] - (聖)  
 154 (所) + 所 (聖)  
 155 役 = 沒 (元) (明)  
 156 了耶 = 了 (聖)  
 157 當 = 常 (聖) \*  
 158 = (聖)  
 159 相 = 於 (聖)  
 160 [心] - (聖)  
 161 憤 = 情 (聖)



Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(9)

[ASBh §8A(9): Tatia 7,15-20]

- p.7,15 (§8A) (xxxii) dharmataiṣā yad avadyaṃ praticchādayataḥ [Ch 699A] kaukr̥tyam  
 p.7,16 (§8A) [T. 8B] ataś cāsparśavihāra iti (xxxiii) uccapragāḍhapāruṣyavacanam  
 p.7,17 (§8A) paramarmaghaṭṭanayogena pratyakṣaravādītā (xxxv) asaṃlekho  
 mātsaryeṇānupayujyamānānām  
 p.7,18 (§8A) apy upakaraṇānām saṃnicayād veditavyaḥ (xxxvi) [As. P. 9]  
 p.7,19 (§8A) bhūtadoṣavimālanā anyenānyasya pratisaraṇam veditavyam  
 samyagavavādālābhaparipanthakarmakatvaṃ  
 p.7,20 (§8A) yathābhūtam ātmānam anāviṣkr̥tyāvavādāyogyatvāt [Ms. 9B]

[ASVy(Tib) §8A(9): D 128b4-129a4; P 156b7-157a8]

'chab pa gang / legs par bskul ba la gti mug gi chags pa na ma tho ba sbed pa / 'gyod pa dang / reg par mi gnas par 'byung ba'i rten gyi las can no // 'di ni chos nyid do // kha na ma tho ba bcabs na 'gyod par 'gyur te / de'i phyir reg [P 157a] par mi gnas pa zhes bya'o // 'tshig pa gang / khong khro'i cha shas khro ba dang / khon sngon du 'gro ba'i sems byung kun nas 'tshé ba 'tshig rtsub mtho zhing drag po 'byung ba'i rten gyi las can dang // bsod nams ma yin pa 'phel ba'i las can dang / reg par mi gnas pa 'byung ba'i rten gyi las can no // 'tshig rtsub mtho zhing drag po ni gzhan gyi zhe la gnon pa'i tshul gyis mngon sum du brjod pa'o // phrag dog gang rnyed pa dang / bkur sti'i dbang gis gzhan gyi phun sum tshogs pa la mi bzod pa / sems byung khong nas 'khrug pa zhe sdang gi cha shas yid mi bde ba dang / reg par mi gnas par 'byung ba'i rten gyi las can no // ser sna gang / rnyed pa dang bkur sti'i dbang gis [D 129a] yo byad rnams la sems byung gi kun du 'dzin pa 'dod chags kyi cha shas yo byad mi bsnnyungs pa 'byung ba'i rten gyi las can no // yo byad mi bsnnyungs pa ni / ser snas yo byad mi mkho ba rnams kyang bsags pa las gyur par rig par bya'o // sgyu gang / rnyed pa dang / bskur sti'i dbang gis 'dod chags dang gti mug gi cha shas su gyur pa / yon tan ma yin pa kun du ston pa log par 'tsho ba 'byung ba'i rten gyi las can no // g-yo gang rnyed pa dang bkur sti'i dbang gis / 'dod chags dang gti mug gi cha shas su gyur pa nyes pa yang dag par skyong ba ste / yang dag pa'i gdams dag rnyed pa'i bar du gcod pa'i las can no // nyes pa yang dag par skyong ba ni gzhan nas gzhan du bsgyur bar rig par bya'o // yang dag pa'i gdams ngag rnyed pa'i bar du gcod pa'i las can no // bdag gi tshul yang dag pa ji lta ba bzhin du mi ston na gdams ngag gi 'os pa ma yin pa'i phyir ro //

[雜集論 §8A(9): T31.698c28-699a15]

覆者。於所作罪他正學時。癡之一分隱藏為體。悔不安住所依為業。法爾覆藏所作罪者心[Ch 699a]必憂悔。由此不得安隱而住

惱者。忿恨居先瞋之一分心戾為體。高暴麤言所依為業。生起非福為業。不安隱住為業。高暴麤言者。謂語現凶踈<sup>167</sup>切人心<sup>168</sup>腑

嫉者。耽著利養不耐他榮。瞋之<sup>169</sup>一分心妬為體。令<sup>170</sup>心憂感不安隱住為業。

慳者。耽著利養。於資生具貪之一分心悋為體。不捨所依為業。不捨者。由慳悋故。非所用具亦恒聚積

<sup>171</sup>誑者。耽著利養貪癡一分。<sup>172</sup>詐現不實功德為體。邪命所依為業

諂者。耽著利養貪癡一分。<sup>173</sup>矯設方便隱實過惡為體。障正教授為業。\* 矯設方便隱實過惡者。謂<sup>174</sup>託餘事以避餘事。障正教授者。由不如實發露所犯。不任教授故

<sup>167</sup> 切 = 故 (聖)

<sup>168</sup> 腑 = 府 (三) (宮) (聖)

<sup>169</sup> [一] - (聖)

<sup>170</sup> [心] - (聖)

<sup>171</sup> 誑 = 誰 (聖)

<sup>172</sup> 詐 = 誰 (聖)

<sup>173</sup> 矯 = (聖) \*

<sup>174</sup> 託 + (隱) (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(10)

[AS §8A(10): Gokhale 17,24-30]

- p.17,24 madaḥ katamaḥ / ārogyaṃ vā āgamyā yauvanaṃ vā, dīrghāyusḥkalakṣaṇaṃ  
p.17,25 vopalaḥyānyatamānyatamāṃ vā sāsraṃ vā sampattiṃ rāgāṃśikāṃ nandīsaumanasyam /  
sarvkleśopakleśasanniśrayadānakarmakaḥ  
p.17,26 // vihiṃsā katamā / prati[ghāṃśi]kā nirdhṛṇatā niṣkaruṇatā nirda[yatā] / viheṭhanakarmikā  
p.17,27 / āhrīkyam katamat / rāgadveṣamohāṃśikā svayam avadyenāljjanā / sarvkleśopakleśasāhāyākarmakam //  
p.17,28 // anapatrāpyam katamat / rāgadveṣamohāṃśikā parato 'vadyenāljjanā /  
sarvkleśopakleśasāhāyākarmakam  
p.17,29 // styānam katamat / mohāṃśikā cittākarmaṇya[tā / sa]rvkleśopakleśasāhāyākarmakam //  
p.17,30 auddhatyam katamat / śubhanimittam anusarato rāgāṃśikaś cetaso 'vyupaśamaḥ /  
śamathaparipanthakarmakam //

[AS §8A(10): Pradhan 9,2-10]

- p.9,2 madaḥ katamaḥ / ārogyaṃ vā āgamyā yauvanaṃ<sup>(9+)</sup> vā dīrghāyusḥkalakṣaṇaṃ  
vopalaḥyānyatamānyatamāṃ  
p.9,3 vā sāsraṃ vā sampattiṃ rāgāṃśikan nandīsaumanasyam<sup>(10+)</sup> /  
sarvkleśopakleśasanniśrayadānakarmakaḥ  
p.9,4 // vihiṃsā katamā / prati[ghāṃśi]kā (iii) nirdhṛṇatā niṣkaruṇatā  
p.9,5 nirdayatā / <sup>(11+)</sup>viheṭhanakarmikā // āhrīkyam katamat / rāgadveṣamohāṃśikā svayam  
p.9,6 avadyenāljjanā / sarvkleśopakleśasāhāyākarmakam // anapatrāpyam katamat /  
rāgadveṣamohāṃśikā  
p.9,7 parato 'vadyenāljjanā / sarvkleśopakleśasāhāyākarmakam //  
p.9,8 styānam katamat / mohāṃśikā cittākarmaṇyatā / (iv) sarvkleśopakleśasāhāyākarmakam<sup>(1+)</sup>  
p.9,9 // auddhatyam katamat / śubhanimittam anusarato rāgāṃśikaś cetaso 'vyupaśamaḥ /  
p.9,10 śamathaparipanthakarmakam //

[AS(Tib) §8A(10): D 51a1-6; P 58b5-59a4]

rgyags pa gang zhe na / nad med pa dang lang tshol bab pa la brten cing tshe ring ba'i mtshan ma dang / zag pa dang bcas pa'i  
phun sum tshogs pa gang yang rung ba mthong nas / 'dod chags kyi char gtogs pa'i dga' ba dang / yid bde ba ste / nyon mongs pa  
dang nye ba'i nyon mongs pa thams cad kyi rten byed pa'i las can no // mam par 'tshe ba gang zhe na / khong khro ba'i char gtogs pa  
/ snying brtse ba med pa dang / snying rje ba med pa dang / brtse ba med pa ste / rnam par tho 'tsham pa'i las can no // ngo tsha med  
pa gang zhe na / 'dod chags dang / zhe sdang dang / gti mug gi char gtogs pa kha na ma tho bas bdag [P 59a] la<sup>175</sup> mi 'dzem pa ste /  
nyon mongs pa dang / nye ba'i nyon mongs pa thams cad kyi grogs byed pa'i las can no // khrel med pa gang zhe na / 'dod chags  
dang / zhe sdang dang / gti mug gi char gtogs pa kha na ma tho bas gzhan las mi 'dzem pa ste / nyon mongs pa dang nye ba'i nyon  
mongs pa thams cad kyi grogs byed pa'i las can no // rmugs pa gang zhe na / gti mug gi char gtogs pa sems las su mi rung ba nyid de  
/ nyon mongs pa dang nye ba'i nyon mongs pa thams cad kyi grogs byed pa'i las can no // rgod pa gang zhe na / sdug pa'i mtshan  
ma'i rjes su 'jug pa'i 'dod chags kyi char gtogs pa'i sems rnam par ma zhi ba ste / zhi gnas kyi bar du gcod pa'i las can no //

[集論 §8A(10): T31.665a16-27]

何等爲憍。謂或依少年無病長壽之相。或得隨一有漏榮利之事。貪之一分令心。悅豫爲體。一切煩惱及隨煩惱所  
依爲業。

何等爲害。謂瞋之一分。無哀無悲無愍爲體。損惱有情爲業。

何等無慚。謂貪瞋癡分。於諸過惡不自羞爲體。一切煩惱及隨煩惱助伴爲業。

何等無愧。謂貪瞋癡分。於諸過惡不羞他爲體。一切煩惱及隨煩惱助伴爲業。

何等昏沈。謂愚癡分。心無堪任爲體。障毘鉢舍那爲業。

何等掉舉。謂貪欲分。隨念淨相心不寂靜爲體。障奢摩他爲業。

<sup>175</sup> D: las.

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(10)

[ASBh §8A(10): Tatia 7,21-25]

- p.7,21 (§8A) (xxxviii) dīrghāyuskaḥ saṅgrahaṇaṃ tadvikalpanād amaravitarkapūrvakaṃ  
jīvitamadotpatteḥ  
p.7,22 (§8A) anyatamānyatamā sāsravā saṃpattiḥ kulabalarūpamedhābuddhibhogaiśvaryaḍikā  
p.7,23 (§8A) veditavyā rāgāṃśikaṃ nāndisaumanasyaṃ saṃkliṣṭo harṣaviśeṣaḥ  
p.7,24 (§8A) (xliii) [Ch 699B] śubhanimittam anusarato rāgānukūlaṃ  
pūrvahasitaramitakrīḍitānusmaraṇāt  
p.7,25 (§8A) cittasyānupaśamo veditavyaḥ

[ASVy(Tib) §8A(10): D 129a4-129b3; P 157a8-157b8]

rgyags pa gang / nad med pa'am / lang tsho'am / tshe ring ba'i mtshan ma'am / zag bcas kyi phun sum tshogs pa gang yang rung ba mthong nas 'dod chags kyi cha shas kyi dga' ba dang / [P 157b] yid bde ba dang / nyon mongs pa dang nye ba'i nyon mongs pa thams cad 'byung ba'i rten gyi las can no // tshe ring ba'i mtshan ma bzung nas de la rnam par rtogs pa'i phyir te / mi 'chi ba'i mam par rtog pa sngon du btang nas / tshe la rgyags pa skye ba'o // zag bcas kyi phun sum tshogs pa gang yang rung ba ni rigs dang / stobs dang / gzugs dang / yid gzhungs pa dang / blo dang / longs spyod dang / dbang phyug la sogs par rig par bya'o // 'dod chags kyi cha shas dga' ba dang / yid bde ba ni nyon mongs pa can gyi dga' ba'i bye brag go // rnam par 'tshe ba gang / khong khro'i cha shas snying brtse med pa'am / snying rje med pa'am / brtse ba med pa'am / rnam par 'tshe ba'i las can no // ngo tsha ba med pa gang / 'dod chags dang / zhe sdang dang gti mug gi cha shas kha na ma tho bas bdag la mi 'dzem pa / nyon mongs pa dang nye ba'i nyon mongs pa thams cad kyi grogs kyi las can no // [D 129b] khrel med gang / 'dod chags dang / zhe sdang dang / gti mug gi cha shas kha na ma tho bas gzhan la mi 'dzem pa / nyon mongs pa dang nye ba'i nyon mongs pa thams cad kyi grogs kyi las can no // rmug pa gang / gti mug gi cha shas sems byung las su mi rung ba nyon mongs pa dang / nye ba'i nyon mongs pa thams cad kyi las can no // rgod pa gang / sdug pa'i mtshan mi'i rjes su 'jug pa'i 'dod chags kyi cha shas sems byung rnam par ma zhi bzhi gnas kyi bar du gcod pa'i las can no // sdug pa'i mtshan ma'i rjes su 'jug pa ni 'dod chags kyi rjes su mthun pa'o // sngon gyi bgad pa dang / rtse pa la sogs pa rjes su dran pas sems mam par ma zhi bar rig par bya'o //

[雜集論 §8A(10): T31.699a16-699b02]

惰者。或依少年無病長壽之相。或得隨一有漏榮利之事。貪之一分令心悅豫為體。一切煩惱及<sup>176</sup>隨煩惱所依為業。長壽相者。謂不死覺為先分別此相。由此<sup>177</sup>能生壽命憍逸。隨一有漏榮利事者。謂族姓色力聰<sup>178</sup>觀財富自在等事。悅豫者。謂染喜差別

害者。瞋之一分無哀無<sup>179</sup>悲無愍為體。損惱有情為業

無慚者。貪瞋癡分。於諸過惡不自恥為體。一切煩惱及隨煩惱助伴為業。

無愧者。貪瞋癡分。於諸過惡不<sup>\*</sup>羞他為體。業如無慚說

惛沈者。謂愚癡分<sup>180</sup>心無堪任為體。障毘鉢舍那為業

掉舉者。謂貪欲分。隨念淨<sup>181</sup>相心不寂靜為[Ch 699b]體。障奢摩他為業。隨<sup>182</sup>念淨相者。謂追憶往昔隨順貪欲戲笑等故心不寂靜

<sup>176</sup> 隨 = 墮 (聖)  
<sup>177</sup> 能 = 然 (聖)  
<sup>178</sup> 觀 = 最 (聖)  
<sup>179</sup> 悲 = 慧 (聖)  
<sup>180</sup> [心] - (聖)  
<sup>181</sup> 相 = 想 (聖)  
<sup>182</sup> 念 + (情) (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(11)

[AS §8A(11): Gokhale 17,31-18,4]

- p.17,31 āsraddhyaṃ katamat / mohāṃśikaḥ kuśaleṣu dharmeṣu cetaso 'nabhisampratyayo 'prasādo 'nabhilāṣaḥ /  
kausīdyasanniśrayadānakarmakam  
p.17,32 // kausīdyam katamat / nidrāpārśvaśayanasukhallikāmāgamyā mohāṃśikaś cetaso 'nabhyutsāhaḥ  
p.17,33 / kuśalapakṣaprayogaparipanthakarmakaḥ // pramādaḥ katamaḥ / sakausīdyān lobhadveṣamohān niśritya  
[Go 18]  
p.18,1 kuśalānām dharmāṇām abhāvanā sāsravebhyaś ca dharmebyaś cetaso 'nāraḁśā /  
akuśalavṛddhikuśalaparihāṇisanniśrayadānakarmakaḥ  
p.18,2 // muṣitasmr̥tītā katamā / kleśasamprayuktā smṛtiḥ / vikṣepasanniśrayadānakarmikā //  
p.18,3 asaṃprajanyaṃ katamat / kleśasamprayuktā prajñā yayāsaṃviditā kāyavākcittacaryā pravartate /  
āpattisanniśrayadānakarmakam  
p.18,4 //

[AS §8A(11): Pradhan 9,10-18]

- p.9,10 āsraddhyaṃ [T. 55a] katamat / mohāṃśikaḥ kuśaleṣu  
p.9,11 dharmeṣu cetaso 'nabhisampratyayo 'prasādo 'nabhilāṣaḥ / kausīdyasanniśrayadānakarmakam //  
p.9,12 kausīdyam katamat / [Ch 3b] <sup>(2+)</sup>nidrāpārśvaśayanasukhallikāmāgamyā (v) mohāṃśikaś cetaso  
p.9,13 'nabhyutsāhaḥ / kuśalapakṣaprayogaparipanthakarmakam // pramādaḥ katamaḥ /  
p.9,14 sakausīdyān rāgadveṣamohān<sup>183</sup> niśritya kuśalānām dharmāṇām abhāvanā sāsravebhyaś ca  
p.9,15 dharmebyaś cetaso 'nāraḁśā / akuśalavṛddhikuśalaparihāṇisanniśrayadānakarmakaḥ //  
p.9,16 muṣitasmr̥tītā katamā / kleśasamprayuktā (vi) smṛtiḥ / vikṣepasanniśrayadānakarmikā //  
p.9,17 asaṃprajanyaṃ katamat / kleśasamprayuktā prajñā yayā<sup>(3+)</sup>saṃviditā kāyavākcittacaryā  
p.9,18 pravartate<sup>(4+)</sup> / āpattisanniśrayadānakarmakam //

[AS(Tib) §8A(11): D 51a6-51b2; P 59a4-59b1]

ma dad pa gang zhe na / gti mug gi char gtogs pa dge ba'i chos rnam la sems kyi yid mi ches pa dang / ma dang ba dang / mi 'dod  
pa ste / le lo'i rten byed pa'i las can no // le lo gang zhe na / nyal ba dang / snyes pa dang / 'phres pa'i bde ba la brten nas / gti mug gi  
char gtogs pa'i sems mi spro ba ste / dge ba'i phyogs la sbyor ba'i bar du gcod pa'i las can no // bdag med pa gang zhe na / chags pa  
dang / zhe sdang dang / gti mug le lo dang bcas pa la [D 51b] gnas nas / dge ba'i chos rnam mi bsgom zhing zag pa dang bcas pa'i  
chos rnam las sems mi srung ba ste / mi dge ba 'phel ba dang / dge ba 'grib pa'i rten byed pa'i las can no // brjed ngas pa gang zhe na  
/ nyon mongs pa dang mtshungs par ldan pa'i dran pa ste / g-yeng ba'i rten byed pa'i las can no // shes bzhin ma yin pa gang zhe na /  
nyon mongs pa dang mtshungs par ldan pa'i shes rab ste / des lus [P 59b] dang / ngag dang sems kyi spyod pa la mi shes bzhin du  
'jug pa ste / ltung ba'i rten byed pa'i las can no //

[集論 §8A(11): T31.665a27-665b06]

- 何等不信。謂愚癡分。於諸善法心不忍可心不清淨心不希望為體。懈怠所依為業。  
何等懈怠。謂愚癡分。[Ch 665b]依著睡眠倚臥為樂心不策勵為體。障修方便善品為業。  
何等放逸。謂依懈怠及貪瞋癡不修善法。於有漏法心不防護為體。僧惡損善所依為業。  
何等忘念。謂諸煩惱相應念為體。散亂所依為業。  
何等不正知。謂諸煩惱相應慧為體由此慧故起不正知身語心行毀所依為業。

<sup>183</sup> Go: lobhadveṣamohān.

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(11)

[ASBh §8A(11): Tatia 7,25-8,3]

- p.7,25 (§8A) (xliv) kausīdyasaṃnīśrayadānakarmakatvam aśraddadhānasya  
p.8,1 (§8A) [Ta 8] prayogacchandābhāvāt (xlviii) asaṃviditā kāyavākcittacaryābhikramapratikramādiṣu  
p.8,2 (§8A) samyagapratyavekṣitatayā veditavyā evaṃ hy asya karaṇīyākaraṇīyājñānād  
p.8,3 (§8A) āpattayo bhavantīti

[ASVy(Tib) §8A(11): D 129b3-7; P 157b8-158a5]

ma dad pa gang / gti mug gi cha shas dge ba'i chos nams la sems byung yid mi ches pa dang / ma dad pa dang / mi 'dod pa / le lo 'byung ba'i rten gyi [P 158a] las can no // le lo'i rten byed pa'i las can ni ma dad na sbyor ba la 'dun pa med pa'i phyir ro // le lo gang / snyes pa'am / 'phres pa'i bde ba 'dod pa gti mug gi cha shas sems byung mi spro ba / dge ba'i phyogs la sbyor ba'i bar du gcod pa'i las can no // bag med pa gang / le lo dang bcas pas chags pa dang / zhe sdang dang / gti mug gis dge ba'i chos nams mi bsgom zhi bzag bcas kyi chos nams las sems mi srung ba / mi dge ba'i 'phel ba dang / dge ba 'grib pa 'byung ba'i las can no // brjed ngas gang / nyon mongs dang mtshungs ldan gyi dran pa g-yeng ba 'byung ba'i rten gyi las can no // shes bzhin ma yin pa gang / nyon mongs dang mtshungs ldan gyi shes rab / des lus dang / ngag dang / sems kyi spyod pa la mi shes bzhin du 'jug pa / ltung ba 'byung ba'i rten gyi las can no // lus dang / ngag dang / sems kyi spyod pa la mi shes bzhin du 'jug pa ni 'gro ba dang / ldog pa la sogs pa la legs par ma brtags par rig par bya'o // de ltar na 'di ni bya ba dang bya ba ma yin pa mi shes pas ltung bar 'gyur ro //

[雜集論 §8A(11): T31.699b03-14]

不信者。謂愚癡分。於諸善法心不<sup>184</sup>忍可。心不清淨。心不希望為體。懈怠所依為業。懈怠所依者。由不信故無有方便加行樂欲

懈怠者。謂愚癡分。依著睡眠倚臥為樂心不策勵為體。障修方便善品為業

放逸者。依止懈怠及貪瞋癡不修善法。於有漏法心不防<sup>185</sup>護為體。增惡損善所依為業。忘

念者。煩惱相應念為體。散亂<sup>186</sup>所依為業。不

正知者。煩惱相應慧為體。由此慧故起不正知身語心行。毀犯所依<sup>187</sup>為業。不正知身語心行者。謂於往來等事不正觀察。以不了知應作不應作故多所毀犯

<sup>184</sup> 忍 = 思 (聖)

<sup>185</sup> [ 護 ] - (聖)

<sup>186</sup> 所依 = 依所 (聖)

<sup>187</sup> 為業 = 業為 (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(12)

[AS §8A(12): Gokhale 18,4-11]

- p.18,4 vikṣepaḥ katamaḥ / rāgadveṣamohāṁśikaś cetaso visāraḥ / sa punaḥ svabhāvavikṣepaḥ,  
p.18,5 bahirdhāvikṣepaḥ, adhyātmavikṣepaḥ, nimi[tta]vikṣepaḥ, dauṣṭhulyavikṣepaḥ, manasikāravikṣepaś ca //  
p.18,6 svabhāvavikṣepaḥ katamaḥ / pañca vijñānakāyāḥ // bahirdhā vikṣepaḥ katamaḥ / kuśalaprayuktasya  
pañcasu  
p.18,7 kāmagaṇeṣu cetaso visāraḥ // adhyātmavikṣepaḥ katamaḥ / (fol. 5a) kuśalaprayuktasya  
layauddhatyāsvādanā  
p.18,8 // nimittavikṣepaḥ katamaḥ / parasambhāvanām saṃpuraskṛtya kuśalaprayogaḥ // dauṣṭhulyavikṣepaḥ  
p.18,9 katamaḥ / ahaṃkāramamakārāsmimānapakṣyaṃ dauṣṭhulyam āgamyā kuśalaprayuktasyotpannotpanneṣu  
vediteṣv aham iti  
p.18,10 vā mameti vāsmīti vā udgraho vyavakiraṇā nimittikāraḥ // manasikāravikṣepaḥ katamaḥ /  
p.18,11 samāpattyantaraṃ vā yānāntaraṃ vā samāpadyamānasya saṃśrayato vā yo visāraḥ /  
vairāgyaparipanthakarmakaḥ //

[AS §8A(12): Pradhan 9,18-10,5]

- p.9,18 vikṣepaḥ katamaḥ / rāgadveṣamohāṁśikaś  
p.9,19 cetaso visāraḥ / sa punaḥ<sup>(5+)</sup> svabhāvavikṣepaḥ bahirdhāvikṣepaḥ adhyātmavikṣepaḥ  
p.9,20 nimi[tta]vikṣepaḥ (vii) dauṣṭhulyavikṣepaḥ manasikāravikṣepaś ca / svabhāvavikṣepaḥ katamaḥ /  
p.9,21 pañca vijñānakāyāḥ // bahirdhā vikṣepaḥ katamaḥ / kuśalaprayuktasya pañcasu kāmagaṇeṣu  
p.9,22 cetaso visāraḥ // adhyātmavikṣepaḥ katamaḥ (viii) / [Ph. 1A3 = Ms. 5a] kuśalaprayuktasya  
p.9,23 layauddhatyāsvādanā // nimittavikṣepaḥ katamaḥ / parasambhāvanām puraskṛtya<sup>188</sup> [Pr 10]  
p.10,1 kuśalaprayogaḥ // [T. 55b] dauṣṭhulyavikṣepaḥ katamaḥ / ahaṃkāramamakārāsmimānapakṣyaṃ  
p.10,2 dauṣṭhulyam āgamyā kuśalaprayuktasyotpannotpanneṣu<sup>(6+)</sup> vediteṣv aham iti vā mameti  
p.10,3 vā asmīti vā udgraho vyavakiraṇā (6a) nimittikāraḥ (i) // manasikāravikṣepaḥ katamaḥ /  
p.10,4 samāpattyantaraṃ vā yānāntaraṃ vā samāpadyamānasya saṃśrayato vā<sup>(7+)</sup> yo visāraḥ /  
p.10,5 vairāgyaparipanthakarmakaḥ<sup>(8+)</sup> //

[AS(Tib) §8A(12): D 51b2-7; P 59b1-7]

mam par g-yeng ba gang zhe na / 'dod chags dang / zhe sdang dang / gti mug gi char gtogs pa'i sems kyi rnam par 'phro ba ste / de yang ngo bo nyid kyis g-yeng ba dang / phyi rol tu g-yeng ba dang / nang gi g-yeng ba dang / mtshan ma'i g-yeng ba dang / gnas ngan len gyi g-yeng ba dang / yid la byed pa'i g-yeng ba'o // ngo bo nyid kyis g-yeng ba gang zhe na / rnam par shes pa'i tshogs lnga'o // phyi rol tu g-yeng ba gang zhe na / dge ba la zhugs pa'i sems 'dod pa'i yon tan lnga la mam par 'phro ba'o // nang gi g-yeng ba gang zhe na / dge ba la zhugs pa bying ba dang / rgod pa dang / ro myang bar byed pa'o // mtshan ma'i g-yeng ba gang zhe na / gzhan yid ches par bya ba sngon du btang ste dge ba la sbyor ba'o // gnas ngan len gyi g-yeng ba gang zhe na / ngar 'dzin pa dang / nga'o snyam pa'i nga rgyal gyi phyogs kyi gnas ngan len la brten nas / dge ba la zhugs pa'i tshor ba byung ba 'byung ba mams la nga zhe'am / nga yi zhe'am / nga'o snyam du 'dzin pa dang / 'dres pa dang / mtshan mar 'dzin pa'o // yid la byed pa'i g-yeng ba gang zhe na / snyoms par 'jug pa gzhan nam / theg pa gzhan la snyoms par 'jug pa dang / gnas pa'i rnam par 'phro ba gang yin pa ste / 'dod chags dang 'bral ba'i bar du gcod pa'i las can no //

[集論 §8A(12): T31.665b06-16]

何等散亂。謂貪瞋癡分心流散為體此復六種謂自性散亂外散亂內散亂相散亂麤重散亂作意散亂。  
云何自性散亂。謂五識身。云何外散亂。謂正修善時於五妙欲其心馳散。  
云何內散亂。謂正修善時沈掉味著。云何相散亂。謂為他歸信矯示修善。  
云何麤重散亂。謂依我我所執。及我慢品麤重力故。修善法時於已生起所有諸受起我我所。及與我慢執受間雜取相。云何作意散亂。謂依餘乘餘定若依若入。所有流散能障離欲為業

<sup>188</sup> Go: saṃpuraskṛtya.

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(12)

[ASBh §8A(12): Tatia8,4-15]

- p.8,4 (§8A) (xlix) (a) svabhāvavikṣepaḥ pañcaviññānakāyāḥ prakṛtyaivādhyātmaṃ  
p.8,5 (§8A) samādhātum aśakyatvāt [T. 9A] (b) bahirdhāvikṣepaḥ śrutādikuśale prayuktasya  
p.8,6 (§8A) tadālamḃanād bahiḥ kāmaguṇeṣu cittagamanam veditavyam (c) adhyātmavikṣepaḥ  
p.8,7 (§8A) samādhiprayuktasyaiva [Ms. 10A] taccyutikārau layauddhatyam āsvādanā ca  
p.8,8 (§8A) (d) nimittavikṣepaḥ pare mām guṇavattayā sambhāvayisyantīty etannimittam etadarthaṃ  
p.8,9 (§8A) kuśalaprāyuktasya śanaiḥ tatparihāṇito veditavyaḥ [As. P. 10] (e) dauṣṭhulyavikṣepo  
p.8,10 (§8A) 'hamkārādidauṣṭhulyavaśād utpannotpanneṣu sukhādiṣu vediteṣv ahaṃ mama asmīti  
p.8,11 (§8A) vā karaṇāt kuśalapakṣāparisuddhito veditavyaḥ āditas tathodgrahaṇam udgrahaḥ  
p.8,12 (§8A) vyavakiraṇā [Ch 699C] tadūrdhvaṃ tena cittasamtānasya miśrībhāvaḥ nimittikāraḥ  
p.8,13 (§8A) tasyaiva veditasya punaḥ punaś citrikāro veditavyaḥ (f) manaskāravikṣepaḥ  
p.8,14 (§8A) samāpattiyantaram vā samāpadyamānasya yānāntaram vā samśrayataḥ pūrvasmād  
vyutthānato  
p.8,15 (§8A) veditavyaḥ vairāgyaparipanthakarmaka ity upakleśātmakam vikṣepam adhiḥkṛtya

[ASVy(Tib) §8A(12): D 129b7-130b1; P 158a5-158b8]

g-yeng ba gang / 'dod chags dang / zhe sdang dang / gti mug gi cha shas sems byung mnam par 'phro ba / de [D 130a] yang rang gi ngo bo'i g-yeng ba dang / phyi rol du g-yeng ba dang / nang gi g-yeng ba dang / mtshan ma'i g-yeng ba dang / gnas ngan len gyi g-yeng ba dang / yid la byed pa'i g-yeng ba'o // rang gi ngo bo'i g-yeng ba gang / mnam par shes pa'i tshogs lnga'o // rang bzhin gyi nang du mnyam par 'jog par de mams kyis mi nus pa'i phyir ro // phyi rol tu g-yeng ba gang / dge ba la sbyor ba'i sems byung 'dod pa'i yon tan la mnam par 'phro ba'o // thos pa la sogs pa'i dge ba la zhugs pa de la dmigs pa las phyi rol tu 'dod pa'i yon tan lnga po dag la [P 158b] sems spro bar rig par bya'o // nang gi g-yeng ba gang / dge ba la sbyor ba'i bying ba dang / rgod pa dang / ro myang bar byed pa'o // ting nge 'dzin la zhugs pa nyid kyi tshe de las nyams par byed pa dang / bying ba dang / rgod pa dang / ro myang ba'o // mtshan ma'i g-yeng ba gang / gzhan la bsgom pa mdun du byas te / dge ba la sbyor ba'o // gzhan gyis bdag la yon tan dang ldan par yid ches par bya ba'i phyir te / de'i mtshan ma ni de'i phyir ro // dge ba la zhugs pa na khad kyis de las nyams par rig par bya'o // gnas ngan len gyi g-yeng ba gang / ngar byed pa dang / nga yir byed pa dang / nga'o snyam pa'i phyogs kyi gnas ngan len dge ba la sbyor ba'i tshor ba 'byung ba mams la ngar byed pa'am / nga yi byed pa'am / nga'o snyam du 'dzin pa dang / 'dres pa dang / mtshan mar 'dzin pa'o // ngar byed pa dang / nga yir byed pa la sogs pa'i gnas ngan len gyi dbang gis bde ba la sogs pa'i tshor ba byung ba mams la / nga zhe'am / nga'i zhe'am / nga'o snyam du byed pa'i phyir dge ba'i phyogs yongs su ma dag par rig par bya'o // 'dzin pa ni thog ma nyid du de ltar 'dzin pa'o // 'dres pa ni de'i 'og tu de dang sems kyi rgyun 'dres par 'gyur ba'o // mtshan mar byed pa ni tshor ba de nyid la yang dang yang du bkra bar 'dzin par rig par bya'o // yid la byed pa'i g-yeng ba gang / snyoms 'jug gzhan nam / theg pa gzhan la snyoms par 'jug gam / gnas pa'i mnam par 'phro ba gang / 'dod chags dang bral [D 130b] ba'i bar du gcod pa'i las can no // snyoms par 'jug pa gzhan la snyoms par zhugs pa dang theg pa gzhan la gnas pa na snga ma las langs par rig par bya'o // 'dod chags dang bral ba'i bar du gcod pa zhes pa ni / nye ba'i nyon mongs pa'i bdag nyid kyi dbang du byas pa'o //

[雜集論 §8A(12): T31.699b15-699c05]

散亂者。謂貪瞋癡分心流散為體。此復六種。謂自性散亂。外散亂。內散亂。相散亂。麤重<sup>189</sup>散亂。作意散亂。

自性散亂者。謂五識身由彼自性於內靜定無功能故。外散亂者。正修善時於五妙欲其心馳散。謂方便修聞等善法。捨彼所緣心外馳散處妙欲中。

內散亂者。正修善時沈掉味著。謂修定者發起沈掉及味著故退失靜定。相散亂者。<sup>190</sup>為他歸信 \* 矯示修善。謂欲令他信已有德故現此相。由此因緣所修善法漸更退失。

麤重散亂者。依我我所執及我慢品麤重力故。修善法時於已生起所有諸受。起我我所及與我慢。執受間雜取相。謂由我執等麤重力故於已生起樂等受中。或執為我。或執我所。或起我慢。由此所修善品永不清淨。

執受者。謂初執著。問[Ch 699c]雜者。從此已後由此間雜諸心相續。取相者。謂即於此受數執異相。作意散亂者。謂於餘乘餘定若依若入所有流散。

謂依餘乘或入餘定。捨先所習發起散亂。當知能障離欲為業。謂依隨煩惱性散亂說

<sup>189</sup> [散亂] - (聖)

<sup>190</sup> 為 + (令) (聖)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8A(13)

[AS §8A(13): Gokhale 18,12-16]

- p.18,12 middham katamat / middhanimittam āgamyā mohāṃśikaś cetaso 'bhisamkṣepaḥ, kuśalaḥ, akuśalaḥ, avyākṛtaḥ,  
p.18,13 kāle vā akāle vā, yukto vā ayukto vā / kṛtyātipattisanniśrayadānakarmakaḥ // kaukṛtyaṃ katamat /  
p.18,14 yadabhipretānabhipretaṃ kāraṇākāraṇam āgamyā mohāṃśikaś cetaso vipratīsāraḥ, kuśalam akuśalam avyākṛtaṃ, kāla  
p.18,15 akāle, yuktam ayuktañ ca / cittasthitiparipanthakarmakaḥ // vitarkaḥ katamaḥ / cetanāṃ vā niśritya  
p.18,16 prajñāṃ vā paryeṣako manojalpaḥ / sā ca cittasyaudārikatā //

[AS §8A(13): Pradhan 10,5-11]

- p.10,5 middham katamat / middhanimittam āgamyā mohāṃśikaś  
p.10,6 cetaso 'bhisamkṣepaḥ kuśalaḥ akuśalaḥ avyākṛtaḥ kāle vā akāle vā yukto vā  
p.10,7 ayukto vā / <sup>191</sup>kṛtyāvipattisanniśrayadānakarmakam (ii) (9a) // kaukṛtyaṃ katamat /  
p.10,8 yadabhipretānabhipretaṃ kāraṇākāraṇam āgamyā mohāṃśikaś cetaso vipratīsāraḥ /  
p.10,9 kuśalam akuśalam avyākṛtaṃ kāle akāle yuktam ayuktañ ca<sup>(10+)</sup> / cittasthitiparipanthakarmakaḥ  
p.10,10 // vitarkaḥ katamaḥ / cetanāṃ vā niśritya prajñāṃ vā paryeṣako<sup>(1+)</sup> manojalpaḥ /  
p.10,11 sā ca cittasyaudārikatā //

[AS(Tib) §8A(13): D 51b7-52a3; P 59b7-60a3]

gnyid gang zhe na / gnyid kyi rgyu la brten nas dge ba dang / mi dge ba dang / lung du ma bstan pa dang / dus dang dus ma yin pa dang / rigs [D 52a] pa dang / mi rigs pa la sems sdud pa gti mug gi char gtogs pa ste / bya ba shor ba'i rten byed pa'i las can no // [P 60a] 'gyod pa gang zhe na / bsams pa dang / ma bsams pa'i bya ba dang bya ba ma yin pa gang yin pa la brten nas / dge ba dang / mi dge ba dang / lung du ma bstan pa dang / dus dang / dus ma yin pa dang / rigs pa dang / mi rigs pa la sems kyi yid la gcags pa gti mug gi char gtogs pas / sems gnas pa'i bar du gcod pa'i las can no // rtog pa gang zhe na / sems pa'am / shes rab la brten nas / kun tu tshol ba'i yid kyi brjod pa ste / de ni sems rtsing ba'o //

[集論 §8A(13): T31.665b17-23]

何等睡眠。謂依睡眠因緣。是愚癡分心略為體。或善或不善或無記。或時或非時。或應爾或不應爾。<sup>192</sup>越失可作所依為業。

何等惡作。謂依樂作不樂作應作不應作。是愚癡分心追悔為體。或善或不善或無記。或時或非時。或應爾或不應爾。能障心住為業。

何等為尋。謂或依思或依慧。尋求意言令心處<sup>193</sup>轉為體。

<sup>191</sup> Go: kṛtyātipattisanniśraya°.

<sup>192</sup> 越 = 遣 (三) (宮)

<sup>193</sup> [轉] - (宮) \*

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(13)

[ASBh §8A(13): Tatia8,16-9,1]

- p.8,16 (§8A) (l) middhanimittam tadyathā daurbalyam śramaḥ kāyagauravaḥ andhakāranimittasya  
p.8,17 (§8A) [Ms. 10B] manasikaraṇam sarvārambhāṇām adhyupekṣaṇam punaḥ punas  
tatkālanidrābhyāsaḥ  
p.8,18 (§8A) mantrabalena parair nidropasaṃhāras tathā saṃvāhanādibhir [T. 9B] veti  
p.8,19 (§8A) mohāṃśika iti samādhito viśeṣaṇārtham kuśalā[di]bhāvavacanam na tv avaśyaṃ  
p.8,20 (§8A) mohātmaka iti kṛtvā kāla iti rātryā madhyame yāme akālas tato 'nyaḥ  
p.8,21 (§8A) yuktaṃ kāle yathānujñam akāle 'pi glānasya karmaṇyatārtham vā ayuktas tato 'nyaḥ  
p.8,22 (§8A) kṛtyātipattisaṃniśrayadānam upakleśātmakasya middhasya veditavyaḥ (li) abhipretam  
p.8,23 (§8A) karaṇam abhipretapūrvikā sucaritaduścaritakriyā anabhipretam karaṇam parair balād  
avaṣṭabhya  
p.8,24 (§8A) kāryamāṇasya kleśābhibhavād vā yathāyogaṃ veditavyam mohāṃśika ity  
upakleśasaṃgrhītaḥ  
p.8,25 (§8A) kāle yāvan na prativiramati akāle tadūrdhvam yuktaṃ sthāne ayuktam asthāne  
p.8,26 (§8A) (lii) cetanaṃ vā niśritya prajñāṃ vety anabhyūhābhyūhāvasthāyāṃ yathākramam  
p.9,1 (§8A) [Ta 9] paryeṣaṇākārā manaso 'bhijalpanā vitarkaḥ

[ASVy(Tib) §8A(13): D 130b1-131a2; P 158b8-159b3]

gnyid gang / gnyid kyi rgyu la brten nas / gti mug gi [P 159a] cha shas sdud pa'i sems byung dge ba'am / mi dge ba'am / lung  
du ma bstan pa'am / dus sam / dus min nam / rigs pa'am / mi rigs pa bya ba shor ba 'byung ba'i rten gyi las can no // gnyid kyi rgyu  
ni 'di lta ste / nyam chung ba dang / ngal ba dang / lus lci ba dang / mun pa'i mtshan ma yid la byed pa dang / brtson pa thams cad  
yal bar 'dor ba dang / de'i dus su yang dang yang du goms pa dang / gzhan dag gi sngags kyi stobs kyi gnyid bro bar byed pa  
dang / de bzhin du lus mnye ba la sogs pa yang ngo // gti mug gi cha shas shes pa ni / ting nge 'dzin la khyad par du dbye ba'i  
phyir ro // dge ba la sogs pa'i dngos po'i tshig ni gdon mi za bar gti mug gi cha shas ma yin zhes par mdzad do // dus ni nam gyi  
gung thun no // dus min ni de las gzhan pa'o // rigs pa ni dus su ji ltar gnang ba dang / dus ma yin yang na ba dang / las su rung  
bar bya ba'i phyir ro // mi rigs pa ni de las gzhan pa'o // bya ba shor ba 'byung ba'i rten gyi las can ni nye ba'i nyon mongs pa'i  
gnyid du rig par bya'o // 'gyod pa gang / gang mngon par bsams pa dang / mngon par bsams pa'i bya ba dang / bya ba ma yin pa la  
brten nas gti mug gi cha shas sems byung mam par 'phro ba / dge ba dang / mi dge ba dang / lung du ma bstan pa dang / dus dang  
/ dus ma yin pa dang / rigs pa dang / mi rigs pa dang / sems gnas pa'i bar du gcod pa'i las can no // mngon par bsams pa'i bya ba ni  
mngon par 'dod pa sngon du btang nas legs par spyad pa dang / nyes par spyad pa byed pa'o // mngon par ma bsams pa'i bya ba ni  
gzhan dag gi nan gyis byed du bcug pa'am / nyon mongs pa'i zil gyis non pa ste / ji ltar [D 131a] mthun par rig par bya'o // gti  
mug gi cha shas shes pa ni / [P 159b] nye ba'i nyon mongs pas bsdus pa'o // dus ni ji srid mi spong ba'i bar du'o // dus min ni de'i  
'og tu'o // rigs pa ni gnas la'o // mi rigs pa ni gnas ma yin pa la'o // nmam par rtog pa gang / sems pa'am shes rab la brten nas kun du  
tshol ba yid kyi brjod pa de ni sems byung rtsid ba'o // sems pa'am shes rab la brten zhes pa ni / mngon par mi rtogs pa dang /  
mngon par rtogs pa'i gnas skabs dang go rims so // kun du 'tshol ba'i nmam par yid kyi brjod pas so //

*Chapter 1*  
*Abhidharmasamuccaya §8A(13)*

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(13)

[雜集論 §8A(13): T31.699c06-26]

睡眠者。依睡因緣。是愚癡分心略為體。或善或不善<sup>194</sup>或無記。或時或非時。或應爾。或不應爾。越失所作依止為業。睡因緣者。謂羸<sup>195</sup>瘦疲倦身分沈重。思惟闇相捨諸所作曾數此時串習睡眠。或他呪術神力所引。或因動扇涼<sup>196</sup>風吹等。

愚癡分言為別於定。又善等言為顯此睡非定癡分。時者。謂夜中分。非時者。謂所餘分。應爾者。謂所許時設復非時。或因病患或為調適。不應爾者。謂所餘分。越失所作依止為業者。謂依隨煩惱性睡<sup>197</sup>眠說

惡作者。依樂作不樂作應作不應作。是愚癡分心追悔為體。或善或不善或無記。或時或非時。或應爾或不應爾。能障心住為業樂作者。樂欲為先造善惡行。不<sup>198</sup>樂作者。由他勢力及諸煩惱之所驅逼。令有所作如其所應。愚癡分者隨煩惱所攝。

時者。乃至未出離。非時者。出離已後。應爾者。於是處。不應爾者。於非處

尋者。或依思或依慧尋求意言令心麤為體。依思依慧者。於推度不推度位。如其<sup>199</sup>依第追求行<sup>200</sup>相意言分別

<sup>194</sup> [ 或 ] - ( 聖 )

<sup>195</sup> 瘦 = 疫 ( 聖 )

<sup>196</sup> 風吹 = 吹風 ( 聖 )

<sup>197</sup> [ 眠 ] - ( 宮 ) ( 聖 )

<sup>198</sup> 樂 = 業 ( 聖 )

<sup>199</sup> 依 = 次 ( 三 ) ( 宮 ) ( 聖 )

<sup>200</sup> 相 = 於應 ( 聖 )

*Chapter 1*  
*Abhidharmasamuccaya §8A(14)*

[AS §8A(14): Gokhale 18,16-19]

- p.18,16 vicāraḥ katamaḥ / cetanāṃ vā  
p.18,17 niśritya prajñāṃ vā pratyavekṣako manojalpaḥ / sā ca cittasya sūkṣmatā //  
sparśāsparśavihārasanniśrayadānakarmakau  
p.18,18 // api khalu kuśalānāṃ dharmāṇāṃ svavipakṣaprahāṇaṃ karma // kleśopakleśānāṃ  
svapratipakṣaparipanthaṃ  
p.18,19 karma //

[AS §8A(14): Pradhan 10,11-14]

- p.10,11 vicāraḥ katamaḥ (iii) / cetanāṃ vā niśritya prajñāṃ vā  
p.10,12 pratyavekṣako<sup>(2+)</sup> manojalpaḥ / sā ca cittasya sūkṣmatā / sparśāsparśavihārasaṃniśrayadānakarmakau  
p.10,13 / api khalu kuśalānāṃ dharmāṇāṃ svavipakṣaprahāṇaṃ karma / kleśopakleśānāṃ  
p.10,14 svapratipakṣaparipanthaṃ karma // 0 //

[AS(Tib) §8A(14): D 52a3-4; P 60a3-5]

dpyod pa gang zhe na / sems pa'am / shes rab la brten nas / so sor rtog pa'i yid kyis brjod pa ste / de ni sems zhib pa'o // reg par gnas pa dang / reg par mi gnas pa'i rten byed pa'i las can dag go // yang chos dge ba mams kyi las ni rang gi mi mthun pa'i phyogs spong ba'o // nyon mongs pa dang / nye ba'i nyon mongs pa mams kyi las ni rang gi gnyen po'i bar du gcod pa'o //

[集論 §8A(14): T31.665b24-27]

何等爲伺。謂或依思或依慧。伺察意言令心細 \*轉爲體。如是二種。安不安住所依爲業」  
復次諸善心所斷自所治爲業。煩惱隨煩惱障自能治爲業

Chapter 1  
Abhidharmasamuccayabhāṣya & vyākhyā §8A(14)

[ASBh §8A(14): Tatia 9,1-9,6]

- p.9,1 (§8A) (liii) pratyavekṣaṇākārā manaso 'bhijaḥpanā  
p.9,2 (§8A) 'nuvicāra iti [Ch 700A] tāv eva vitarkavicārau saṃbadhyete  
p.9,3 (§8A) audārikasūksmavyavasthānād anayoḥ  
p.9,4 (§8A) tadyathālobhasya lobhaprahāṇam śraddhāyā [Ms. 11A] āśraddhyaprahāṇam  
p.9,5 (§8A) rāgapratipakṣo vairāgyam tasya paripanthakaraṇam tasya tena tadutpattāv antarāyakaṇāt  
p.9,6 (§8A) evaṃ krodhādīnām apy upakleśānām maitryādyātmīyapratipakṣāntarāyakaraṇam  
veditavyam

[ASVy(Tib) §8A(14): D 131a2-6; P 159b3-8]

mam par dpyod pa gang / sems pa'am shes rab la brten nas / so sor rtog pa'i yid kyis brjod pa ste / de ni sems zhi ba'o // sems pa'am / shes rab la brten zhes pa ni mngon par mi rtogs pa dang / mngon par rtogs pa'i gnas skabs bar ro rims so // so sor rtog pa'i mam par yid kyis mngon par brjod pas so // reg par gnas pa dang / reg par mi gnas pa 'byung ba'i rten gyi las can no // de nyid ni mam par rtog pa dang / mam par dpyod pa dang 'brel ba'i phyir rtsing ba dang / zhib pa'i gnas skabs la sogs pa'o // yang chos dge ba rnams rang gi mi mthun pa'i phyogs spong ba'i las so // nyon mongs pa dang / nye ba'i nyon mongs pa rnams rang gi gnyen po'i bar du gcod pa'i las so // 'di lta ste / ma chags pas chags pa rab tu spong ngo // dad pas ma dad pa rab tu spong ngo // 'dod chags kyi gnyen po ni ma chags pa ste / des na de'i de skye ba'i bar du gcod pa'i phyir ro // de ltar khro ba la sogs pa'i nye ba'i nyon mongs pa rnams kyang ste / byams pa la sogs pa'i gnyen pos bar du gcod par byed par rig par bya'o //

[雜集論 §8A(14): T31.699c27-700a08]

伺者。或依思或依慧伺察意言令心細爲體。依思依慧者。於推度不推度位。如其次第伺察行相意<sup>201</sup>言分別。如是二種<sup>202</sup>安不<sup>203</sup>安住所[Ch 700a]依爲業。尋伺二種行相相類故。以麤細建立差別

復次諸善心<sup>204</sup>法斷自所治爲業。煩惱隨煩惱障自能治爲業。如信慚等能斷不信及無慚等貪等煩惱能障無貪對治等<sup>205</sup>法。謂障礙彼令不生故。當知忿等諸隨煩惱能障慈等。各<sup>206</sup>別對治亦爾

<sup>207</sup>大乘阿毘達磨雜集論卷<sup>208</sup>第一

<sup>201</sup> 言 = 受 (聖)

<sup>202</sup> 安 + (住) (聖)

<sup>203</sup> 安住 = 住安 (聖)

<sup>204</sup> 法 = 所 (三) (宮)

<sup>205</sup> 法 = 治 (聖)

<sup>206</sup> [別] - (聖)

<sup>207</sup> ((大乘· · · 第一)) 十二字 = ((對法論第一卷)) 六字 (聖)

<sup>208</sup> [第] - (明)

Chapter 1  
Abhidharmasamuccaya §8B

[AS §8B: Gokhale 18,20-25]

- p.18,20 cittaviprayuktāḥ saṃskārāḥ katame / prāptirasamjñīsamāpattir nirodhasamāpattir āsamjñīkaṃ  
jīvitendriyaṃ
- p.18,21 nikāyasabhāgatā jātir jarā sthitir anityatā nāmakāyāḥ padakāyāḥ vyañjanakāyāḥ pṛthagjanatvaṃ pravṛttiḥ
- p.18,22 pratīniyamo yogo javo 'nukramaḥ kālo deśaḥ saṃkhyā sāmagrī ca // prāptiḥ katamā / kuśalākuśalānām
- p.18,23 dharmāṇām sācayāpacaye prāptiḥ pratilambhaḥ samanvāgama itī prajñaptiḥ // asaṃjñīsamāpattiḥ katamā /
- p.18,24 śubhakarṣnavītarāgasyo [parya]vītarāgasya niḥsaraṇasaṃjñāpūrvakeṇa manasikāreṇāsthāvarāṇām  
cittacaitasikānām
- p.18,25 dharmāṇām nirodhe asaṃjñīsamāpattir itī prajñaptiḥ //

[AS §8B: Pradhan 10,15-21]

- p.10,15 cittaviprayuktāḥ [T. 56a] saṃskārāḥ katame / prāptirasamjñīsamāpattir nirodhasamāpattir  
āsamjñīkaṃ
- p.10,16 (iv) jīvitendriyaṃ nikāyasabhāgatā jātir jarā sthitir anityatā
- p.10,17 nāmakāyāḥ padakāyāḥ vyañjanakāyāḥ pṛthagjanatvaṃ pravṛttiḥ pratīniyamo yogaḥ javo 'nukramaḥ
- p.10,18 kālo deśaḥ saṃkhyā sāmagrī ca // prāptiḥ katamā / kuśalākuśalānām<sup>(8+)</sup> dharmāṇām ācayāpacaye<sup>209</sup>
- p.10,19 prāptiḥ pratilambhaḥ samanvāgama<sup>(4+)</sup> itī prajñaptiḥ // asaṃjñīsamāpattiḥ katamā /
- p.10,20 śubhakarṣnavītarāgasyo parya vītarāgasya<sup>(5+)</sup> niḥsaraṇasaṃjñāpūrvakeṇa manasikāreṇāsthāvarāṇām
- p.10,21 cittacaitasikānām dharmāṇām<sup>(6+)</sup> nirodhe asaṃjñīsamāpattir itī prajñaptiḥ //

[AS(Tib) §8B: D 52a4-52b1; P 60a5-60b2]

sems dang ldan pa ma yin pa'i 'du byed rnamz gang zhe na / 'thob pa dang / 'du shes med pa'i snyoms par 'jug pa dang / 'gog pa'i  
snyoms par 'jug pa dang / 'du shes med pa pa dang / srog gi dbang po dang / ris mthun pa dang / skye ba dang / rga ba dang / gnas pa  
dang / mi rtag pa nyid dang / ming gi tshogs dang / tshig gi tshogs dang / ye ge'i tshogs dang / so so'i skye bo nyid dang / 'jug pa  
dang / so sor nges pa dang / 'byor 'brel pa dang / mgyogs pa dang / go rims dang / dus dang / yul dang / grangs dang tshogs pa'o //  
'thob pa gang zhe na / dge ba dang mi dge ba dang / lung du ma bstan pa'i chos rnamz kyi 'phel ba dang / 'grib pa la 'thob pa dang [P  
60b] rnyed pa dang ldan pa zhes gang gus so // 'du shes med pa'i snyoms par 'jug pa gang zhe na / dge rgyas kyi 'dod chags dang bral  
la / steng ma'i 'dod chags dang ma bral ba'i [D 52b] 'byung ba'i 'du shes sngon du btang ba'i yid la byed pas sems dang sems las  
byung ba'i chos brtan pa ma yin pa rnamz 'gog pa la 'du shes med pa'i snyoms par 'jug pa zhes gdags so //

[集論 §8B: T31.665b28-665c05]

何等名為心不相應行。[Ch 665c]謂得無想定滅盡定無想異熟命根衆同分生老住無常名身句身文身異生性流轉定  
異相應勢速次第時方數和合等。

何等為得謂於善不善無記法。若增若減假立獲得成就。

何等無想定。謂已離遍淨欲未離上欲出離想。作意為先故。於不恒行心心所滅。假立無想定。

<sup>209</sup> Go: sācayāpacaye.